

318.1  
N77  
㊦



0009060-001

318.1-N77ウ

地方制度法令集

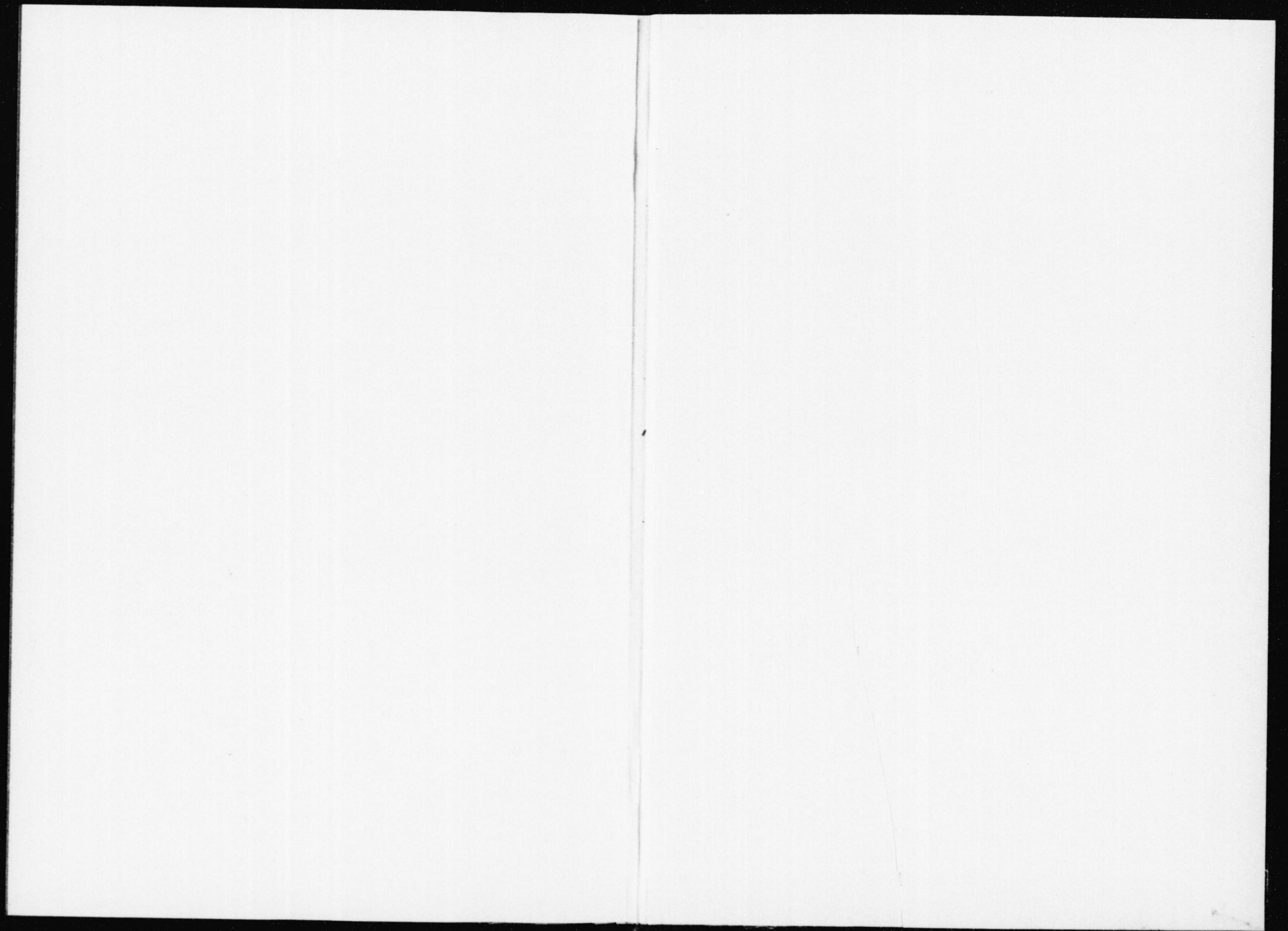
自治館編集局・編

自治館

第1-2輯

昭和18

ABI



911-37

318.1  
N77

內務省地方局行政課監修

地方制度法令集 第一輯

自治館發兌



凡例

- 一、本書ハ昭和十八年改正ノ市制町村制ノ新條文ト其ノ直前ニ於ケル舊條文トヲ對照シタルモノナリ
- 一、新舊對照ハ左記ノ要領ニ依レリ
  - (1) 普通ノ文字ヲ以テ示ス箇所ハ改正ナキ部分ナリ
  - (2) 太文字ヲ以テ示ス箇所ハ改正後ノ新條文ナリ
  - (3) 線ノ旁ニ小文字ヲ以テ示ス箇所ハ改正前ノ舊條文ナリ
- 一、新舊對照ハ改正法律ノ條文ニ從ヒ成ルベク原文ノ通り表示スルコトトセリ

例

(1) 一部改正ノ例

「府縣參事會」ヲ「府縣知事」ニ改ム  
府縣參事會 府縣知事

凡例

凡例

(2) 一部追加ノ例

「町村ハ」ノ下ニ「町村會ノ議決ヲ經テ」ヲ加フル町村ハ町村會ノ議決ヲ經テ

(3) 一部削除ノ例

「府縣參事會ノ議決ヲ經」ヲ削ル  
府縣參事會ノ議決ヲ經

(4) 項又ハ條ノ全文改正

項又ハ條ノ全文ニ付新條文ハ太文字ヲ以テ示シ、舊條文ハ線ノ旁ニ小文字ヲ以テ示ス

(5) 項又ハ條ノ新設

項又ハ條ノ全文ヲ太文字ヲ以テ示ス

(6) 項又ハ條ノ全文ヲ削除

項又ハ條ノ舊條文ヲ線ノ旁ニ小文字ヲ以テ示ス

一、1 2 3 等ハ項ノ順序ヲ示シ之ガ順序ハ總テ改正後ニ於ケル新條文ノ項ノ順序ニ依レリ

凡例

新舊對照 地方制度法令集 第一輯 目次

市制

●市制

第一章 總 則	一
第一款 市及其ノ區域	一
第二款 市住民及其ノ權利義務	四
第三款 市條例及市規則	六
第二章 市 會	七
第一款 組織及選舉	七
第二款 職務權限	三
第三章 市參事會	四
目 次	一

第一款 組織及選舉……………四三  
 第二款 職務權限……………四六  
 第四章 市吏員……………四九  
 第一款 組織選舉及任免……………四九  
 第二款 職務權限……………五七  
 第五章 給料及給與……………六六  
 第六章 市ノ財務……………六七  
 第一款 財産營造物及市稅……………六七  
 第二款 歲入出豫算及決算……………七四  
 第七章 市ノ一部ノ事務……………七六  
 第八章 市町村組合……………七八  
 第九章 市ノ監督……………八二  
 第十章 雜則……………八七

改正附則……………八九

### 町村制

#### ●町村制

第一章 總則……………九五  
 第一款 町村及其ノ區域……………九五  
 第二款 町村住民及其ノ權利義務……………九七  
 第三款 町村條例及町村規則……………一〇〇  
 第二章 町村會……………一〇〇  
 第一款 組織及選舉……………一〇〇  
 第二款 職務權限……………一〇四  
 第三章 町、村吏員……………一〇三  
 第一款 組織選舉及任免……………一〇三

第二款 職務權限	一三
第四章 給料及給與	一四
第五章 町村ノ財務	一五
第一款 財産營造物及町村稅	一五
第二款 歳入出豫算及決算	一五
第六章 町村ノ一部ノ事務	一五
第七章 町村組合	一五
第八章 町村ノ監督	一六
第九章 雜則	一六
附則	一六
改正附則	一六

新舊  
對照  
~~~~~  
**地方制度法令集 第一輯** (町村制編)

行政課 監修

● **市制** (明治四十四年四月七日  
法律第六十八號)

改正 (大正十年四月法律第五十八號、大正十五年六月法律第七十四號、  
昭和四年四月法律第五十六號、昭和十五年三月法律第四十五號、  
昭和十五年三月法律第六十三號、昭和十八年三月法律第八十號、昭)

第一章 總則

- 第一款 市及其ノ區域
- 第二款 市住民及其ノ權利義務
- 第三款 市條例及市規則



第二章 市議會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限

第三章 市參事會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限

第四章 市吏員

第一款 組織選舉及任免

第二款 職務權限

第五章 給料及給與

第六章 市ノ財務

第一款 財產營造物及市稅

第二款 歲入出豫算及決算

第七章 市ノ一部ノ事務

第八章 市町村組合

第九章 市ノ監督

第十章 雜則

市制

第一章 總 則

第一款 市及其ノ區域

第一條 市ハ從來ノ區域ニ依ル

第二條 市ハ法人トス官ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務及法令又ハ

從來ノ慣例ニ依リ……市ニ屬スル事務ヲ處理ス

第三條 市ノ廢置分合ヲ爲サムトスルトキハ關係アル市町村會……ノ意見ヲ

徵シテ內務大臣之ヲ定ム

前項ノ場合ニ於テ財產アルトキハ其ノ處分ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シ……

……テ府縣知事之ヲ定ム

第四條 市ノ境界變更ヲ爲サムトスルトキハ府縣知事ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ

市制 第一章 總則 第一款 市及其ノ區域

徵シ……………内務大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム所屬未定地ヲ市ノ區域ニ編

府縣參事會ノ議決ヲ經

入セムトスルトキ亦同シ

2 前項ノ場合ニ於テ財産アルトキ其ノ處分ニ關シテハ前條第二項ノ例ニ依ル

第四條ノ二 府縣ノ境界ニ涉リテ市ノ境界ノ變更ヲ爲サントスルトキハ關係アル市

町村會及府縣參事會ノ意見ヲ徵シテ内務大臣之ヲ定ム

2 前項ノ場合ニ於テ財産アルトキハ其ノ處分ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シテ内務大臣之ヲ定ム

第五條 市ノ境界ニ關スル爭論ハ府縣知事之ヲ裁定ス其ノ裁定ニ不服アル市町村ハ

府縣參事會

内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

行政裁判所ニ出訴

2 市ノ境界判明ナラサル場合ニ於テ前項ノ爭論ナキトキハ府縣知事之ヲ決定スベシ

府縣知事ハ府縣參事會ノ決定ニ

……………其ノ決定ニ不服アル市町村ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

付スヘシ

行政裁判所ニ出訴

3 府縣ノ境界ニ涉リテ前二項ノ場合ヲ生ジタルトキハ關係アル府縣知事ニ於テ協

議ノ上之ヲ裁定又ハ決定スベシ協議調ハザルトキハ内務大臣之ヲ裁定又ハ決定ス

4 前三項ノ裁定及決定……………ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ關係市町村ニ交

第一項ノ裁定及前項ノ決定

付スヘシ

4 第一項ノ裁定及第二項ノ決定ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第六條 勅令ヲ以テ指定スル市ノ區ハ之ヲ法人トス其ノ財産及營造物ニ關スル事務

其ノ他法令ニ依リ區ニ屬スル事務ヲ處理ス

2 區ノ廢置分合又ハ境界變更其ノ他區ノ境界ニ關シテハ第四條及前條ノ規定ヲ準用

前二條

ス但シ第四條ノ規定ヲ準用スル場合ニ於テハ關係アル市會ノ意見ヲモ徵スヘシ

3 本法ニ定ムルモノノ外第一項ノ區ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 市ハ其ノ名稱ヲ變更セムトスルトキハ市會ノ議決ヲ經テ内務大臣ノ許可ヲ

受クヘシ

2 市役所ノ位置ヲ定メ又ハ之ヲ變更セントスルトキハ市ハ市會ノ議決ヲ經ベシ前條ノ市ガ其ノ區ノ名稱ヲ變更シ又ハ區役所ノ位置ヲ定メ若ハ之ヲ變更セントスルト

キ亦同シ

第二款 市住民及其ノ權利義務

第八條 市内ニ住所ヲ有スル者ハ其ノ市住民トス

2 市住民ハ本法ニ從ヒ市ノ財産及營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ市ノ負擔ヲ分任スル義務ヲ負フ

第九條 帝國臣民タル年齢二十五年以上ノ男子ニシテ二年以來市住民タル者ハ其ノ市公民トス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス

- 一 禁治産者及準禁治産者
- 二 破産者ニシテ復權ヲ得サル者
- 三 貧困ニ因リ生活ノ爲公私ノ救助ヲ受ケ又ハ扶助ヲ受クル者
- 四 一定ノ住居ヲ有セサル者
- 五 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
- 六 刑法第二編第一章、第三章、第九章、第十六章乃至第二十一章、第二十五章又ハ第三十六章乃至第三十九章ニ掲クル罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル後其ノ刑期ノ二倍ニ相

當スル期間ヲ經過スルニ至ル迄ノ者但シ其ノ期間五年ヨリ短キトキハ五年トス

七 六年未滿ノ禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ前號ニ掲クル罪以外ノ罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

2 市ハ市會ノ議決ヲ經テ前項二年ノ制限ヲ特免スルコトヲ得

3 第一項二年ノ期間ハ市町村ノ廢置分合又ハ境界變更ノ爲中斷セララルコトナシ

第十條 市公民ハ市ノ選舉ニ參與シ市ノ名譽職ニ就ク權利：ヲ有シ市ノ名譽職ヲ擔

任スル義務ヲ負フ

2 左ノ各號ノ一ニ該當セサル者ニシテ名譽職ニ就クコトヲ辭シ又ハ其ノ職ヲ辭シ若

名譽職ノ當選

ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セサルトキハ市ハ市會ノ議決ヲ經テ一年以上四年以下其ノ市公民權ヲ停止スルコトヲ得

- 一 疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサル者
- 二 業務ノ爲常ニ市内ニ居ルコトヲ得サル者
- 三 年齢六十一年以上ノ者
- 四 官公職ノ爲市ノ公務ヲ執ルコトヲ得サル者

五 四年以上名譽職市吏員、名譽職參事會員、市會議員又ハ區會議員ノ職ニ任シ爾後同一ノ期間ヲ經過セサル者

六 其ノ他市會ノ議決ニ依リ正當ノ理由アリト認ムル者

3 前項ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

府縣參事會

4 第二項ノ處分ハ其ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

5 第三項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ市長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

5 市公民租稅滯納處分中ハ市ノ名譽職ニ就クコトヲ得ズ

第十一條 陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者(未タ入營セサル者及歸休下士官兵ヲ除ク)及戰時若ハ事變ニ際シ又ハ兵役法第五十五條第二項ノ規定(志願ニ依リ兵籍ニ編入セラレタル者ニ付テハ之ニ該當スル勅令ノ規定ヲ含ム)ニ依リ召集中ノ者ハ市ノ公務ニ參與スルコトヲ得ス兵籍ニ編入セラレタル學生生徒(勅令ヲ以テ定ムル者ヲ除ク).....亦同シ

及志願ニ依リ國民軍ニ編入セラレタル者

第三款 市條例及市規則

第十二條 市ハ市住民ノ權利義務又ハ市ノ事務ニ關シ市條例ヲ設クルコトヲ得  
2 市ハ市ノ營造物又ハ市ノ事務ニ關シ市條例ヲ以テ規定スルモノノ外市規則ヲ設クルコトヲ得  
3 市條例及市規則ハ一定ノ公告式ニ依リ之ヲ告示スヘシ

第二章 市 會

第一款 組織及選舉

第十三條 市會議員ハ其ノ被選舉權アル者ニ就キ選舉人之ヲ選舉ス  
2 議員ノ定數左ノ如シ

- 一 人口五萬未滿ノ市 三十人
- 二 人口五萬以上十五萬未滿ノ市 三十六人
- 三 人口十五萬以上二十萬未滿ノ市 四十人
- 四 人口二十萬以上三十萬未滿ノ市 四十四人
- 五 人口三十萬以上ノ市 四十八人

3 人口三十萬ヲ超ユル市ニ於テハ人口十五萬、人口六十萬ヲ超ユル市ニ於テハ人口三十萬ヲ超ユル市ニ於テハ人口十萬、人口五十萬ヲ超ユル市ニ於テハ人口二十萬ヲ加フル毎ニ議員四人ヲ増加シ八十人ヲ以テ定限トス

4 議員ノ定數ハ市條例ヲ以テ特ニ之ヲ増減スルコトヲ得但シ前項ノ定限ヲ超ユルコトヲ得ズ

5 議員ノ定數ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非サレハ之ヲ増減セス但シ著シク人口ノ増減アリタルトキハ市會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ増減スルコトヲ得

但シ著シク人口ノ増減アリタル

場合ニ於テ内務大臣ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十四條 市公民ハ總テ選舉權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者又ハ第十一條ノ規定ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 削除

第十六條 市ハ市條例ヲ以テ選舉區ヲ設クルコトヲ得

2 選舉區ノ數及其ノ區域竝各選舉區ヨリ選出スル議員數ハ前項ノ市條例中ニ之ヲ規定スヘシ

3 第六條ノ市ニ於テハ區ヲ以テ選舉區トス其ノ各選舉區ヨリ選出スル議員數ハ市條例

例ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

4 選舉人ハ住所ニ依リ所屬ノ選舉區ヲ定ム第七十六條又ハ第七十九條第三項ノ規定

第二項

ニ依リ市公民タル者ニシテ市内ニ住所ヲ有セサル者ニ付テハ市長ハ本人ノ申出ニ依リ其ノ申出ナキトキハ職權ニ依リ其ノ選舉區ヲ定ムヘシ

5 被選舉人ハ各選舉區ニ通シテ選舉セラルルコトヲ得

第十七條 必要アルトキハ市ハ區劃ヲ定メテ投票分會ヲ設クルコトヲ得

第十八條 選舉權ヲ有スル市公民ハ被選舉權ヲ有ス

2 在職ノ檢事、警察官吏及收稅官吏ハ被選舉權ヲ有セス

3 選舉事務ニ關係アル官吏及市ノ有給吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選舉權ヲ有セス

4 市ノ有給ノ吏員教員其ノ他ノ職員ニシテ在職中ノ者ハ其ノ市ノ市會議員ト相兼スルコトヲ得ス

第十九條 市會議員ハ名譽職トス

2 議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス

3 議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ市長抽籤シテ之ヲ定ム

但シ關員アルトキハ其ノ關員ヲ以テ之ニ充ツヘシ

4 前項但書ノ場合ニ於テ關員ノ數解任ヲ要スル者ノ數ニ滿チサルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付市長抽籤シテ解任スヘキ者ヲ定メ關員ノ數解任ヲ要スル者ノ數ヲ超ユルトキハ解任ヲ要スル者ニ充ツヘキ關員ハ最モ先ニ關員ト爲リタル者ヨリ順次之ニ充テ關員ト爲リタル時同シキトキハ市長抽籤シテ之ヲ定ム

5 議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲解任ヲ要スル者アル場合ニ於テ選舉區アルトキハ第十六條ノ市條例中ニ其ノ解任ヲ要スル者ノ選舉區ヲ規定シ市長抽籤シテ之ヲ定ム但シ解任ヲ要スル者ノ選舉區ニ關員アリタルトキハ其ノ關員ヲ以テ之ニ充ツヘシ此ノ場合ニ於テハ前項ノ例ニ依ル

6 當選者中第三十三條第一項ノ事由ニ該當スル者アルトキハ前三項ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ議員ノ關員ト看做ス

7 議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲ニ新ニ選舉セラレタル議員ハ總選舉ニ依リ選舉セラレタル議員ノ任期滿了ノ日迄在任ス

8 選舉區又ハ其ノ配當議員數ノ變更アリタル場合ニ於テ之ニ關シ必要ナル事項ハ第十六條ノ市條例中ニ之ヲ規定スヘシ

### 第二十條

市會議員中關員ヲ生ジタルトキハ其ノ關員ト爲リタル議員ガ選舉ノ期日ヨリ一年以内ニ關員ト爲リタル者ナル場合ニ於テ第三十條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者アルトキ又ハ選舉ノ期日ヨリ一年經過後ニ於テ關員ト爲リタル者ナル場合ニ於テ第三十條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者アルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ其ノ者ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムベシ此ノ場合ニ於テハ第三十三條第四項及第五項ノ規定ヲ準用ス

2 前項ノ規定ノ適用ヲ受ケル者ナク若ハ前項ノ規定ノ適用ニ依リ當選者ヲ定ムルモ前項ノ規定ノ適用ヲ受ケル者ナク若ハ前項ノ規定ノ適用ニ依リ當選者ヲ定ムルモ仍其ノ關員ノ數ガ第三十三條第一項ニ謂フ當選者ノ不足數ト過ジテ議員定數ノ六分ノ一ヲ超ユルニ至リタルトキ又ハ市長若ハ市會ニ於テ必要ト認ムルトキハ補關

選舉ヲ行フベシ此ノ場合ニ於テハ第三十三條第六項ノ規定ヲ準用ス

3 議員ノ關員ノ數第三十三條第一項ニ謂フ當選者ノ不足數ト過ジテ議員定數ノ六分ノ一ヲ超ユルニ至ラザルモ第三十七條第一項又ハ第三項ノ選舉ノ行ハルル場合ニ於テハ其ノ選舉ト同時ニ補關選舉ヲ行フベシ但シ第三十七條第一項又ハ第三項ノ

選舉ノ告示アリタル後議員中開員ヲ生ジタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

4 第三十三條第八項ノ規定ハ前項ノ補選選舉ニ之ヲ準用ス

5 補選議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

6 選舉區アル場合ニ於テハ補選議員ハ前任者ノ選舉セラレタル選舉區ニ於テ之ヲ選舉スヘシ

第二十條ノ二 市會議員ノ選舉ハ其ノ市ニ於ケル衆議院議員選舉人名簿中其ノ名簿調製期日ニ於テ市會議員ノ選舉權ヲ有スル者ニ關スル部分（以下衆議院議員選舉人名簿中關係部分ト稱ス）及補充選舉人名簿ニ依リ之ヲ行フ

2 市會議員ノ選舉權ヲ有スル者ノ年齢ハ前項ノ選舉人名簿確定ノ期日ニ依リ之ヲ算定ス

第二十一條 市長（第六條ノ市ニ於テハ區長）ハ毎年九月十五日ノ現在ニ依リ補充

市長ハ毎年九月十五日ノ現在ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スヘシ但シ選舉區アルトキハ選舉區

選舉人名簿ヲ調製スヘシ但シ選舉區アルトキハ選舉區毎ニ之ヲ調製スヘシ  
毎ニ之ヲ調製スヘシ

2 補充選舉人名簿ニハ市會議員ノ選舉權ヲ有スル者ニシテ其ノ市ニ於ケル衆議院議員選舉人ノ年齢ハ選舉人名簿確定ノ期日ニ依リ之ヲ算定ス

員選舉人名簿ニ登録セラルルコトヲ得ザルモノヲ登録スベシ

3 第六條ノ市ニ於テハ市長ハ區長ヲシテ前二項ノ例ニ依リ選舉人名簿ヲ調製セシムヘシ

3 補充選舉人名簿ニハ選舉人ノ氏名、住所及生年月日等ヲ記載スヘシ  
選舉人名簿

第二十一條ノ二 市長（第六條ノ市ニ於テハ區長）ハ十一月五日ヨリ十五日間市役所（第六條ノ市ニ於テハ區役所）又ハ其ノ指定シタル場所ニ於テ補充選舉人名簿ヲ關

選舉人名簿

係者ノ縦覽ニ供スヘシ

2 市長（第六條ノ市ニ於テハ區長）ハ縦覽開始ノ日前三日目迄ニ縦覽ノ場所ヲ告示スヘシ

第二十一條ノ三

補充選舉人名簿ニ脱漏又ハ誤載アリト認ムルトキハ關係者ハ其ノ

選舉人名簿ニ關シ關係者ニ於テ異議アルトキハ縦覽期間内ニ之ヲ市長（第六條ノ市ニ於テハ區長ヲ經テ）ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ市長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ衆議院議員選舉人名簿中關係部分ニ脱漏又ハ誤載アリト認ムルトキ亦同ジ

2 前項ノ場合ニ於テ市長（第六條ノ市ニ於テハ區長）ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ二

前項ノ決定ニ不服アル者ハ府縣選舉會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得



十日以内ニ之ヲ決定スベシ

3 前項ノ規定ニ依リ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ市長(第六條ノ市ニ於テハ區長)ハ補充選舉人名簿ノ修正ヲ要スルトキハ直ニ之ヲ修正シ衆議院議員選舉人名簿中關係部分ニ脱漏アリトスルトキハ補充選舉人名簿ニ登錄シ(其ノ名簿ナキトキハ其ノ者ニ關シ其ノ名簿ヲ作製シ)誤載アリトスルトキハ衆議院議員選舉人名簿中關係部分ニ其ノ旨ヲ表示スベシ

4 第二項ノ決定ニ不服アル者ハ決定アリタル日ヨリ七日以内ニ府縣知事ニ訴願シ其第一項ノ規定ニ依リ決定ヲ爲シタルトキハ市長ハ直ニ其ノ要領ヲ告示シ第六條ノ市ニ於テハ區長ヲシテ之ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
 又告示セシムベシ同項ノ規定ニ依リ名簿ヲ修正シタルトキ亦同ジ

5 第二項ノ規定ニ依リ決定ヲ爲シタルトキハ市長(第六條ノ市ニ於テハ區長)ハ直ニ其ノ要領ヲ告示スベシ第三項ノ規定ニ依リ處置ヲ爲シタルトキ亦同ジ

第二十一條ノ四 補充選舉人名簿ハ十二月二十日ヲ以テ確定ス

選舉人名簿ハ十二月二十五日ヲ以テ確定ス

2 補充選舉人名簿ハ次年ノ十二月十九日迄之ヲ据置クベシ  
 選舉人名簿ハ次年ノ十二月二十四日迄之ヲ据置クベシ

3 前條第四項ノ場合ニ於テ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ補充選舉人名簿ノ修正ヲ要スルトキハ市長(第六條ノ市ニ於テハ區長)ハ直ニ之ヲ修正シ衆議院議員選舉人名簿中關係部分ニ關シ處置ヲ要スルトキハ市長(第六條ノ市ニ於テハ區長)ハ直ニ前條第三項ノ規定ニ準ジ處置スベシ

4 前項ノ規定ニ依リ修正又ハ處置ヲ爲シタルトキハ市長(第六條ノ市ニ於テハ區長)前項ノ規定ニ依リ名簿ヲ修正シタルトキハ市長ハ直ニ其ノ要領ヲ告示シ第六條ノ市ニ於テハ區長ヲシテ之ハ直ニ其ノ要領ヲ告示スベシ  
 又告示セシムベシ

5 投票分會ヲ設クル場合ニ於テ必要アルトキハ市長(第六條ノ市ニ於テハ區長)ハ確定名稱ニ依リ分會ノ區劃毎ニ名簿ノ抄本ヲ調製スベシ  
 六條ノ市ニ於テハ區長ヲシテ之ヲ調製セシムベシ

第二十一條ノ五 天災事變等ノ爲必要アルトキハ更ニ名簿ヲ調製スヘシ(註、舊第二項) 第二十一條ノ三ノ場合ニ於テ決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ選舉人名簿

無效ト爲リタルトキハ更ニ名簿ヲ調製スヘシ

2 前項ノ名簿ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

前二項ノ規定ニ依ル名簿ノ調製、縦覽、確定及異議ノ決定ニ關スル期日及期間ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依ル  
3 市ノ廢置分合又ハ境界變更アリタル場合ニ於テ名簿ニ關シ其ノ分合其ノ他必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條 市長ハ選舉ノ期日前二十日迄ニ選舉會場（投票分會場ヲ含ム以下之ニ同シ）、投票ノ日時及選舉スヘキ議員數（選舉區アル場合ニ於テハ各選舉區ニ於テ選舉スヘキ議員數）ヲ告示スヘシ投票分會ヲ設クル場合ニ於テハ併セテ其ノ區劃ヲ告示スヘシ

2 總選舉ニ於ケル各選舉區ノ投票ハ同日時ニ之ヲ行フ

3 投票分會ノ投票ハ選舉會ト同日時ニ之ヲ行フ

4 天災事變等ノ爲投票ヲ行フコト能ハサルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ市長ハ其ノ投票ヲ行フヘキ選舉會又ハ投票分會ノミニ付更ニ期日ヲ定メ投票ヲ行ハシムヘシ此ノ場合ニ於テ選舉會場及投票ノ日時ハ選舉ノ期日前五日迄ニ之ヲ告示スヘシ

第二十二條ノ二 議員候補者タラントスル者ハ選舉ノ期日ノ告示アリタル日ヨリ選舉ノ期日前七日目迄ニ其ノ旨ヲ市長（第六條ノ市ニ於テハ區長）ニ届出ヅベシ

2 選舉人名簿ニ登録セラレタル者他人ヲ議員候補者ト爲サントスルトキハ前項ノ期間内ニ其ノ推薦ノ届出ヲ爲スコトヲ得

3 前二項ノ期間内ニ届出アリタル議員候補者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ヲ超ユル場合ニ於テ其ノ期間ヲ經過シタ後議員候補者死亡シ又ハ議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ前二項ノ例ニ依リ選舉ノ期日前二日目迄議員候補者ノ届出又ハ推薦届出ヲ爲スコトヲ得

4 議員候補者ハ市長（第六條ノ市ニ於テハ區長）ニ届出ヲ爲スニ非ザレバ議員候補者タルコトヲ辭スルコトヲ得ズ

5 前四項ノ届出アリタルトキ又ハ議員候補者ノ死亡シタルコトヲ知リタルトキハ市長（第六條ノ市ニ於テハ區長）ハ直ニ其ノ旨ヲ告示スベシ

第二十二條ノ三 議員候補者ノ届出又ハ推薦届出ヲ爲サントスル者ハ議員候補者一人ニ付二百圓又ハ之ニ相當スル額面ノ國債證書ヲ供託スルコトヲ要ス

2 議員候補者ノ得票數議員ノ定數（選舉區アル場合ニ於テハ其ノ選舉區ノ配當議員數）ヲ以テ有效投票ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ十分ノ一ニ達セザルトキハ前項ノ供託物ハ市ニ歸屬ス

3 議員候補者選舉ノ期日前十日以内ニ議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ前項ノ規定ヲ準用ス但シ被選舉權ヲ有セザルニ至リタル爲議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十三條 市長ハ選舉長ト爲リ選舉會ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス

2 各選舉區ノ選舉會ハ市長又ハ其ノ指名シタル吏員(第六條ノ市ニ於テハ區長)選舉長ト爲リ之ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス

3 投票分會ハ市長ノ指名シタル吏員投票分會長ト爲リ之ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス  
第二十三條ノ二 議員候補者ハ選舉人名簿(選舉區アル場合ニ於テハ其ノ選舉區ノ選舉人名簿)ニ登録セラレタル者ノ中ヨリ本人ノ承諾ヲ得テ選舉立會人タルベキ者一人ヲ定メ選舉ノ期日前二日目迄ニ市長(第六條ノ市ニ於テハ區長)ニ届出ヅルコトヲ得

2 前項ノ規定ニ依リ届出アリタル者(議員候補者死亡シ又ハ議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ其ノ届出ニ係ル者ヲ除ク)十人ヲ超エザルトキハ直ニ其ノ者ヲ以テ選舉立會人トシ十人ヲ超ユルトキハ市長(第六條ノ市ニ於テハ區長)ハ其ノ者ノ中ニ就キ抽籤ニ依リ選舉立會人十人ヲ定ムベシ

3 前項ノ抽籤ハ選舉ノ期日ノ前日之ヲ行フ第一項ノ届出ヲ爲シタル議員候補者ハ之ニ立會フコトヲ得

4 前項ノ抽籤ヲ行フベキ場所及日時ハ市長(第六條ノ市ニ於テハ區長)ニ於テ豫メ之ヲ告示スベシ

5 第二項ノ規定ニ依リ選舉立會人定マリタルトキハ市長(第六條ノ市ニ於テハ區長)ハ直ニ之ヲ本人ニ通知シ選舉ニ立會ハシムベシ

6 議員候補者死亡シ又ハ議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ其ノ届出ニ係ル選舉立會人ハ其ノ職ヲ失フ

7 第二項ノ規定ニ依ル選舉立會人三人ニ達セザルトキ若ハ三人ニ達セザルニ至リタルトキ又ハ選舉立會人ニシテ參會スル者選舉會ヲ開クベキ時刻ニ至リ三人ニ達セザルトキ若ハ其ノ後三人ニ達セザルニ至リタルトキハ市長(第六條ノ市ニ於テハ區長)ハ選舉人名簿(選舉區アルトキハ其ノ選舉區ノ選舉人名簿)ニ登録セラレタル者ノ中ヨリ三人ニ達スル迄ノ選舉立會人ヲ選任シ直ニ之ヲ本人ニ通知シ選舉ニ立會ハシムベシ

8 選舉立會人ハ名譽職トス

9 前八項ノ規定ハ投票立會人ニ之ヲ準用ス但シ選舉人名簿ニ登録セラレタル者トアルハ投票分會ノ區劃内ニ於ケル選舉人名簿ニ登録セラレタル者トス

第二十四條 選舉人ニ非サル者ハ選舉會場ニ入ルコトヲ得ス但シ選舉會場ノ事務ニ從事スル者、選舉會場ヲ監視スル職權ヲ有スル者又ハ警察官吏ハ此ノ限ニ在ラス

2 選舉會場ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他選舉會場ノ秩序ヲ紊ス者アルトキハ選舉長又ハ投票分會長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ選舉會場外ニ退出セシムヘシ

3 前項ノ規定ニ依リ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ選舉長又ハ投票分會長會場ノ秩序ヲ紊スノ虞ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲ爲サシムルヲ妨ケス

第二十五條 選舉ハ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ

2 投票ハ一人一票ニ限ル

3 選舉人ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ選舉會場ニ到リ選舉人名簿又ハ其ノ抄本ノ對照ヲ經テ投票ヲ爲スヘシ

4 投票時間内ニ選舉會場ニ入りタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過クルモ投票ヲ爲スコトヲ

得

5 選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ議員候補者一人ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ

6 投票ニ關スル記載ニ付テハ勅令ヲ以テ定ムル點字ハ之ヲ文字ト看做ス

7 自ラ議員候補者ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

8 投票用紙ハ市長ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用ウヘシ

9 選舉區アル場合ニ於テ選舉人名簿ノ調製後選舉人ノ所屬ニ異動ヲ生スルコトアルモ其ノ選舉人ハ前所屬ノ選舉區ニ於テ投票ヲ爲スヘシ

10 投票分會ニ於テ爲シタル投票ハ投票分會長少クトモ一人ノ投票立會人ト共ニ投票函ノ儘之ヲ選舉長ニ送致スヘシ

第二十五條ノ二 確定名簿ニ登録セラレサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ登録セラレヘキ確定裁決書又ハ判決書ヲ所持シ選舉ノ當日選舉會場ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラス

2 確定名簿ニ登録セラレタル者選舉人名簿ニ登録セララルコトヲ得サル者ナルトキハ投票ヲ爲スコトヲ得ス選舉ノ當日選舉權ヲ有セサル者ナルトキ亦同シ

第二十五條ノ三 投票ノ拒否ハ選舉立會人又ハ投票立會人ノ意見ヲ聽キ選舉長又ハ投票分會長之ヲ決定スベシ

2 投票分會ニ於テ投票拒否ノ決定ヲ受ケタル選舉人不服アルトキハ投票分會長ハ假ニ投票ヲ爲サシムヘシ

3 前項ノ投票ハ選舉人ヲシテ之ヲ封筒ニ入レ封緘シ表面ニ自ラ其ノ氏名ヲ記載シ投函セシムヘシ

4 投票立會人ニ於テ異議アル選舉人ニ對シテモ亦前二項ニ同シ

第二十五條ノ四 選舉人ニシテ勅令ノ定ムル事由ニ因リ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ選舉會場ニ到リ投票ヲ爲シ能ハザルベキコトヲ證スル者ノ投票ニ關シテハ第二十五條第三項及第五項、第二十五條ノ二第一項但書竝ニ前條ノ規定ニ拘ラズ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第二十六條 第三十三條若ハ第三十七條ノ選舉、増員選舉又ハ補闕選舉ヲ同時ニ行フ場合ニ於テハ一ノ選舉ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ

第二十七條 市長ハ豫メ開票ノ日時ヲ告示スヘシ

第二十七條ノ二 開票ハ投票ノ日又ハ其ノ翌日(投票分會ヲ設ケタルトキハ總テノ選舉長ハ投票ノ日又ハ其ノ翌日(投票分會ヲ設ケタルトキハ總テノ投票函ノ送致ヲ受

投票函ノ送致ヲ受ケタル日又ハ其ノ翌日)之ヲ行フ

ケタル日又ハ其ノ翌日)選舉立會人立會ノ上投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スヘシ

2 選舉長ハ選舉立會人立會ノ上投票函ヲ開キ先ヅ第二十五條ノ三第二項及第四項ノ前項ノ計算終リタルトキハ選舉長ハ

投票ヲ調査シ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ其ノ受理如何ヲ決定スベシ

3 選舉長ハ選舉立會人ト共ニ投票ヲ點檢スヘシ

4 天災事變等ノ爲開票ヲ行フコト能ハサルトキハ市長ハ更ニ開票ノ期日ヲ定ムヘシ此ノ場合ニ於テ選舉會場ノ變更ヲ要スルトキハ豫メ更ニ其ノ場所ヲ告示スヘシ

第二十七條ノ三 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條ノ四 特別ノ事情アルトキハ市ハ府縣知事ノ許可ヲ得區劃ヲ定メテ開票分會ヲ設クルコトヲ得

2 前項ノ規定ニ依リ開票分會ヲ設クル場合ニ於テ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十八條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス  
一 成規ノ用紙ヲ用ヒザルモノ

- 二 議員候補者ニ非ザル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
  - 三 一投票中二人以上ノ議員候補者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
  - 四 被選舉權ナキ議員候補者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
  - 五 議員候補者ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタルモノ但シ爵位、職業、身分、住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ
  - 六 議員候補者ノ氏名ヲ自書セザルモノ
  - 七 議員候補者ノ何人ヲ記載シタルカヲ確認シ難キモノ
  - 八 市會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 第二十九條 投票ノ效力ハ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ選舉長之ヲ決定スベシ
- 第三十條 市會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ議員ノ定數(選舉區アル場合ニ於テハ其ノ選舉區ノ配當議員數)ヲ以テ有效投票ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ六分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス
- 2 前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同シキトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ムヘシ
- 第三十條ノ二 當選者選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セサルニ至リタルトキハ當

選ヲ失フ

- 第三十條ノ三 第二十二條ノ二第一項乃至第三項ノ規定ニ依ル届出アリタル議員候補者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ヲ超エザルトキハ投票ヲ行ハズ選舉區アル場合其ノ選舉區ニ付亦同シ
- 2 前項ノ規定ニ依リ投票ヲ行フコトヲ要セザルトキハ市長(第六條ノ市ニ於テハ區長)ハ直ニ其ノ旨ヲ告示スベシ
  - 3 第一項ノ場合ニ於テハ選舉長ハ選舉ノ期日ヨリ五日以内ニ選舉會ヲ開キ議員候補者ヲ以テ當選者ト定ムベシ
  - 4 前項ノ場合ニ於テ議員候補者ノ被選舉權ノ有無ハ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ選舉長之ヲ決定スベシ
  - 5 第三項ノ場合ニ於テハ市長(第六條ノ市ニ於テハ區長)ハ豫メ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スベシ
- 第三十一條 選舉長ハ選舉錄ヲ作り選舉會ニ關スル顛末ヲ記載シ……………二人以上ノ選舉立會人ト共ニ之ニ署名スヘシ
- 2 各選舉區ノ選舉長ハ選舉錄(第六條ノ市ニ於テハ其ノ寫)ヲ添へ當選者ノ住所氏名

ヲ市長ニ報告スヘシ

3 投票分會長ハ投票録ヲ作り投票ニ關スル顛末ヲ記載シ……………二人以上ノ投票立

之ヲ朗讀シ

會人ト共ニ之ニ署名スヘシ

4 投票分會長ハ投票函ト同時ニ投票録ヲ選舉長ニ送致スヘシ

5 選舉録及投票録ハ投票、選舉人名簿其ノ他ノ關係書類ト共ニ議員ノ任期間市長(第

六條ノ市ニ於テハ區長)ニ於テ之ヲ保存スヘシ

第三十二條 當選者定マリタルトキハ市長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ(第六

條ノ市ニ於テハ區長ヲシテ之ヲ告知セシメ)同時ニ當選者ノ住所氏名ヲ告示シ且

選舉録ノ寫(投票録アルトキハ併セテ投票録ノ寫)ヲ添ヘ之ヲ府縣知事ニ報告ス

ヘシ當選者ナキトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且選舉録ノ寫(投票録アルトキハ併セ

テ投票録ノ寫)ヲ添ヘ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

2 當選者當選ヲ辭セムトスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ市

長ニ申立ツヘシ

3 一人ニシテ數選舉區ニ於テ當選シタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ

五日以内ニ何レノ當選ニ應スヘキカラ市長ニ申立ツヘシ其ノ期間内ニ之ヲ申立テ

タルトキハ市長抽籤シテ之ヲ定ム

4 官吏ニシテ當選シタル者ハ所屬長官ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ニ應スルコトヲ

得ス

5 前項ノ官吏ハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ニ應スヘキ旨ヲ市長ニ

申立テタルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス第三項ノ場合ニ於テ何レノ當

選ニ應スヘキカラ申立テタルトキハ總テ之ヲ辭シタルモノト看做ス

6 市ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ市ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付市長若ハ其ノ委任ヲ受

ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者若ハ其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人

ノ無限責任社員、役員若ハ支配人ニシテ當選シタル者ハ其ノ請負ヲ罷メ又ハ請負

ヲ爲ス者ノ支配人若ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ

支配人タルコトナキニ至ルニ非サレハ當選ニ應スルコトヲ得ス第二項又ハ第三項

ノ期限前ニ其ノ旨ヲ市長ニ申立テタルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス前

項ノ役員トハ取締役、監査役及之ニ準スヘキ者並清算人ヲ謂フ

第三十三條 當選者左ニ掲クル事由ノ一ニ該當スル場合ニ於テ第二項若ハ第三項ノ

該當スルトキハ三月以内ニ更ニ選舉ヲ行フヘシ但シ

規定ノ適用ヲ受クル者ナク又ハ第二項若ハ第三項ノ規定ノ適用ニ依リ當選者ヲ定ムルモ仍當選者ノ不足數ガ第二十條第二項ニ謂フ議員ノ數ト通ジテ議員定數ノ六分ノ一ヲ超ユルニ至リタルトキ又ハ市長若ハ市會ニ於テ必要ト認ムルトキハ更ニ選舉ヲ行フベシ

一 當選ヲ辭シタルトキ

二 數選舉區ニ於テ當選シタル場合ニ於テ前條第三項ノ規定ニ依リ一ノ選舉區ノ當選ニ應シ又ハ抽籤ニ依リ一ノ選舉區ノ當選者ト定マリタル爲他ノ選舉區ニ於テ當選者タラサルニ至リタルトキ

三 第三十條ノ二ノ規定ニ依リ當選ヲ失ヒタルトキ

四 死亡者ナルトキ

五 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ當選無効ト爲リタルトキ但シ同一人ニ關シ前各號ノ事由ニ依ル選舉又ハ補闕選舉ノ告示ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

六 第三十六條ノ二ノ規定ニ依ル訴訟ノ結果當選無効ト爲リタルトキ

2 前項第一號乃至第四號ノ事由ヲ生ジタル場合ニ於テ第三十條第一項但書ノ得票者

ニシテ當選者ト爲ラザリシ者アルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ其ノ者ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムベシ

3 第一項第五號又ハ第六號ノ事由ヲ生ジタルトキハ其ノ選舉ノ期日ヨリ一年以内ナル場合ニ於テ第三十條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者アルトキ又ハ其ノ選舉ノ期日ヨリ一年經過後ナル場合ニ於テ第三十條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者アルトキハ前項ノ規定ヲ準用ス

4 前二項ノ場合ニ於テ第三十條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セサルニ至リタルトキハ之ヲ當選者ト定ムルコトヲ得ス

5 第二項及第三項ノ場合ニ於テハ市長ハ豫メ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スヘシ

6 第一項ノ期間ハ第三十六條第八項ノ規定ノ適用アル場合ニ於テハ選舉ヲ行フコトヲ得サル事由已ミタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス

6 第一項ノ事由議員ノ任期滿了前六月以内ニ生ジタルトキハ第一項ノ選舉ハ之ヲ行ハス但シ議員ノ數其ノ定數ノ三分ノ二ニ滿チサルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラス



7 當選者ノ不足數第二十條第二項ニ謂フ議員ノ闕員ノ數ト通ジテ議員定數ノ六分ノ一ヲ超ユルニ至ラザルモ第三十七條第一項又ハ第三項ノ選舉ノ行ハルル場合ニ於テハ其ノ選舉ト同時ニ更ニ選舉ヲ行フベシ但シ第三十七條第一項又ハ第三項ノ選舉ノ告示アリタル後第一項ノ事由ヲ生シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

8 前項ノ規定ニ依リ行フ選舉ノ期日ハ第三十七條第一項又ハ第三項ノ選舉ノ期日ニ依ル

第三十四條 第三十二條第二項ノ期間ヲ經過シタルトキ、同條第三項若ハ第五項ノ申立アリタルトキ又ハ同條第三項ノ規定ニ依リ抽籤ヲ爲シタルトキハ市長ハ直ニ當選者ノ住所氏名ヲ告示シ併セテ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

2 當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルニ至リタルトキハ市長ハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ併セテ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

第三十五條 選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞アル場合ニ限り其ノ選舉ノ全部又ハ一部ヲ無効トス但シ當選ニ異動ヲ生スルノ虞ナキ者ヲ區分シ得ルトキハ其ノ者ニ限り當選ヲ失フコトナシ

第三十六條 選舉人又ハ議員候補者選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選

舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ當選ニ關シテハ第三十二條第一項又ハ第三十四條第二項ノ告示ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ市長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ市長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スベシ

市長ハ七日以内ニ市會ノ決定ニ付スヘシ市會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ

2 前項ノ決定ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願スルコトヲ得

府縣參事會

3 府縣知事ハ選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ第三十二條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ當選ニ關シテハ第三十二條第一項又ハ第三十四條第二項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ決定スルコトヲ得

府縣參事會ノ決定ニ付スルコトヲ得

4 前項ノ決定アリタルトキハ同一事件ニ付爲シタル異議ノ申立及市長ノ決定ハ無効

トス

5 第二項……………ノ裁決又ハ第三項ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

若ハ第六項

6 第一項ノ決定ニ付テハ市長ヨリモ訴願ヲ提起スルコトヲ得

7 第二項若ハ前項ノ裁決又ハ第三項ノ決定ニ付テハ府縣知事又ハ市長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

6 第二十條、第三十三條、第三十七條第一項若ハ第三項又ハ第三十七條ノ二ノ選舉

又ハ第三十七條第一項若ハ第三項

ハ之ニ關係アル選舉又ハ當選ニ關スル異議申立期間、異議ノ決定若ハ訴訟ノ裁決確定セサル間又ハ訴訟ノ繫屬スル間之ヲ行フコトヲ得ス

7 市會議員ハ選舉又ハ當選ニ關スル決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第三十六條ノ二 衆議院議員選舉法第一百條ノ規定ノ準用ニ依リ當選ヲ無効ナリト

認ムルトキハ選舉人又ハ議員候補者ハ當選者ヲ被告トシ第三十二條第一項告示ノ日ヨリ三十日以内ニ控訴院ニ出訴スルコトヲ得

2 前項控訴院ノ判決ニ不服アル者ハ大審院ニ上告スルコトヲ得

3 檢事ハ衆議院議員選舉法第一百十二條乃至第一百十三條ノ規定ノ準用ニ依ル罪ニ該ル事件ノ被告人ガ選舉事務長又ハ選舉事務長ニ非ズシテ事實上選舉運動ヲ總括主宰シタル者ナルニ因リ同法第三百三十六條ノ規定ノ準用ニ依リ當選ヲ無効ナリト認ムルトキハ公訴ニ附帶シ當選者ヲ被告トシテ訴訟ヲ提起スルコトヲ要ス

4 衆議院議員選舉法第八十五條、第八十七條、第一百四十一條及第一百四十一條ノ三ノ

規定ハ第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル訴訟ニ、同法第一百四十一條ノ二及第一百四十一條ノ三ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル訴訟ニ之ヲ準用ス

5 前條第七項ノ規定ハ第一項乃至第三項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九項

第三十七條 選舉無効ト確定シタルトキハ三月以内ニ更ニ選舉ヲ行フヘシ

2 當選無効ト確定シタルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ更ニ當選者ヲ定ムヘシ此ノ場合ニ於テハ第三十三條第四項及第五項ノ規定ヲ準用ス

3 當選者ナキトキ、當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルトキ若ハ定數ニ達セサルニ至リタルトキハ三月以内ニ更ニ選舉ヲ行フヘシ

4 第三十三條第六項……ノ規定ハ第一項及前項ノ選舉ニ之ヲ準用ス

及第七項

5 第一項及第三項ノ期間ハ第三十六條第六項ノ規定ノ適用アル場合ニ於テハ選舉ヲ行フコトヲ得サル事由已ミタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス

第三十七條ノ二 左ニ掲グル事由アル場合ニ於テ議員又ハ當選者總テナキトキハ第

二十條、第三十三條又ハ前條第一項若ハ第三項ノ規定ニ拘ラズ總選舉ヲ行フ但シ左ニ掲グル事由ニ關シ此等ノ規定ニ依ル選舉ノ告示又ハ第三十三條第五項若ハ第二十條第一項ノ規定ニ依ル告示ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一 議員中關員ヲ生ジタルトキ

二 當選者中第三十三條第一項ノ事由ニ該當スル者アルトキ

三 前條第一項又ハ第三項ノ規定ニ該當スル事由アルトキ

2 前項ノ選舉ハ其ノ事由生ジタル日ヨリ三月以内ニ之ヲ行フベシ此ノ場合ニ於テハ前條第五項ノ規定ヲ準用ス

第三十八條

市會議員被選舉權ヲ有セサル者ナルトキ又ハ第三十二條第六項ニ掲クル者ナルトキハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ノ有無又ハ第三十二條第六項ニ掲クル者ニ該當スルヤ否ハ市會議員カ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ因リ被選舉權ヲ有セサル場合ヲ除クノ外市會之ヲ決定ス

一 禁治產者又ハ準禁治產者ト爲リタルトキ

二 破產者ト爲リタルトキ

三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

四 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ罰金ノ刑ニ處セラレタルトキ

2 市長ハ市會議員中被選舉權ヲ有セサル者又ハ第三十二條第六項ニ掲クル者アリト認ムルトキハ之ヲ市會ノ決定ニ付スヘシ市會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ

3 第一項ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第四項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

府縣知事

4 第一項ノ決定……………ニ付テハ市長ヨリモ訴願……………ヲ提起スルコトヲ得

及前項ノ裁決

又ハ訴訟

5 前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

5 第三十六條第七項ノ規定ハ第一項及前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九項

前三項

6 第一項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スヘシ

第三十九條 第二十一條ノ三ノ場合ニ於テ府縣知事裁決ヲ爲シタルトキ又ハ第三十

第二十一條ノ三及第三十六條ノ場合ニ於テ府縣參事會ノ決定及裁決ハ府縣知事、市會ノ決

定ハ市長直ニ之ヲ告示スヘシ  
六條ノ場合ニ於テ市長決定ヲ爲シ若ハ府縣知事裁決若ハ決定ヲ爲シタルトキハ直

ニ其ノ要領ヲ告示スベシ

第三十九條ノ二 市會議員(第六條ノ市ノ區ノ區會議員ヲ含ム)ノ選舉ニ付テハ衆議院議員選舉法第十章及第十一章並ニ第四百十條第二項、第四百十二條及第四百十七條ノ規定ヲ準用ス但シ議員候補者一人ニ付定ムベキ選舉委員ノ數、選舉運動ノ爲使用スル勞務者ノ數及選舉運動ノ費用ノ額ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第二款 職務權限

第四十一條 削除

市會ハ市ニ關スル事件及法律勅令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事件ヲ議決ス

第四十二條

市會ノ議決スベキ事件左ノ如シ  
市會ノ議決スヘキ事件ノ概目左ノ如シ

一 市條例ヲ設ケ又ハ改廢スルコト

市條例及市規則ヲ設ケ又ハ改廢スルコト

二 歳入出豫算ヲ定ムルコト

市費ヲ以テ支辨スヘキ事業ニ關スル事但シ第九十三條ノ事務及法律勅令ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

三 決算報告ヲ認定スルコト

歳入出豫算ヲ定ムル事

四 法令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手数料、加入金、市税、分擔金又ハ夫役現品ノ賦課徵收ニ關スルコト

決算報告ヲ認定スル事

五 財産ノ取得、管理及處分並ニ市費ヲ以テ支辨スベキ工事ノ執行ニ關スル市規

法令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手数料、加入金、市税、分擔金又ハ夫役現品ノ賦課徵收ニ關スル事

六 基本財産及積立金數等ノ設置及處分ニ關スルコト

不動産ノ管理處分及取得ニ關スル事

七 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲スコト

基本財産及積立金數等ノ設置管理及處分ニ關スル事

八 財産及營造物ノ管理ニ關スル市規則ヲ設ケ又ハ改廢スルコト但シ法令ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲ス事

九 其ノ他法令ニ依リ市會ノ權限ニ屬スル事項

九 財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事但シ法律勅令ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

十 市吏員ノ身元保證ニ關スル事

十一 市ニ係ル訴訟訴訟及和解ニ關スル事

第四十三條 市會ハ其ノ權限ニ屬スル事項ノ一部ヲ市參事會ニ委任スルコトヲ得

第四十四條 市會ハ法令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル選舉ヲ行フヘシ

法律勅令

第四十五條 市會ハ市ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ市長ノ報告ヲ請求シテ事務ノ管理、議決ノ執行及出納ヲ檢査スルコトヲ得

2 市會ハ議員中ヨリ委員ヲ選舉シ市長又ハ其ノ指名シタル吏員立會ノ上實地ニ就キ前項市會ノ權限ニ屬スル事件ヲ行ハシムルコトヲ得

第四十六條 市會ハ市ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ關係行政廳ニ提出スルコトヲ得

第四十七條 市會ハ行政廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

2 市會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スヘキ場合ニ於テ市會成立セス、招集ニ應セス若ハ意見ヲ提出セス又ハ市會ヲ招集スルコト能ハサルトキハ當該行政廳ハ其ノ意見ヲ

俟タスシテ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十八條 市會ハ議員中ヨリ議長及副議長一人ヲ選舉スヘシ

2 議長及副議長ノ任期ハ議員ノ任期ニ依ル

第四十九條 議長故障アルトキハ副議長之ニ代ハリ議長及副議長共ニ故障アルトキハ臨時ニ議員中ヨリ假議長ヲ選舉スヘシ

2 前項假議長ノ選舉ニ付テハ年長ノ議員議長ノ職務ヲ代理ス年齢同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第五十條 市長及其ノ委任又ハ囑託ヲ受ケタル者ハ會議ニ列席シテ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ス

2 前項ノ列席者發言ヲ求ムルトキハ議長ハ直ニ之ヲ許スヘシ但シ之カ爲議員ノ演說ヲ中止セシムルコトヲ得ス

第五十條ノ二 市會ハ通常會及臨時會トス

2 通常會ハ毎年一回之ヲ開ク其ノ會期ハ二十日（第六條及第八十二條第三項ノ市ニ於テハ三十日）以内トス

3 臨時會ハ必要アル場合ニ於テ其ノ事件ニ限り之ヲ開ク其ノ會期ハ五日以内トス但

シ場合ニ依リ市長ハ五日以内ニ於テ別ニ會期ヲ定ムルコトヲ得

4 前項但書ノ規定ニ依リ會期ヲ定メタル場合ニ於テハ市長ハ第五十一條第二項ノ規定ニ依ル告知ト共ニ其ノ會期ヲ告知スベシ

5 臨時會ニ付スベキ事件ハ市長第五十一條第二項ノ規定ニ依ル告知ト共ニ之ヲ告知スベシ

6 臨時會開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ第三項及前項ノ規定ニ拘ラズ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得

7 市長必要アリト認ムルトキハ通ジテ三日以内ニ於テ市會ノ會期ヲ延長スルコトヲ得

8 前項ノ規定ニ依リ市會ノ會期ヲ延長シタルトキハ市長ハ直ニ之ヲ告知スベシ

第五十一條 市會ハ市長之ヲ招集ス議員定數ノ三分ノ一以上ヨリ會議ニ付スベキ事件ヲ示シテ臨時會招集ノ請求アルトキハ市長ハ之ヲ招集スベシ

市會招集ノ請求

2 市長ハ會期ヲ定メテ市會ヲ招集スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ市長ハ更ニ期限ヲ定メ市會ノ會期ヲ延長スルコトヲ得

2 招集……………ハ開會ノ日前七日目迄ニ之ヲ告知スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此及會議ノ事件 三日目迄

ノ限ニ在ラス

4 市會開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ市長ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得會議ニ付スル日前三日目迄ニ告知ヲ爲シタル事件ニ付亦同シ

3 市會ハ市長之ヲ開閉ス

第五十二條 市會ハ議員定數ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ第五十四條ノ除席ノ爲半數ニ滿タサルトキ、同一事件ニ付招集再回ニ至ルモ仍半數ニ滿タサルトキ又ハ招集ニ應スルモ出席議員定數ヲ闕キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ仍半數ニ滿タサルトキ若ハ半數ニ滿ツルモ其ノ後半數ニ滿タザルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十三條 市會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

2 議長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲議員トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハス  
第五十四條 議長及議員ハ自己又ハ父母、祖父母、妻、子孫、兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス但シ市會ノ同意ヲ得タルトキ

ハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

**第五十五條**

法令ニ依リ市會ニ於テ行フ選舉ニ付テハ第二十五條、第二十八條及法律勅令

第三十條第一項ノ規定ヲ準用ス其ノ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ市會之ヲ決定ス

2 前項ノ選舉ニ於テ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同ジキトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム

3 市會ハ議員中異議ナキトキハ第一項ノ選舉ニ付指名推選ノ法ヲ用フルコトヲ得

4 指名推選ノ法ヲ用フル場合ニ於テハ被指名者ヲ以テ當選者ト定ムベキヤ否ヲ會議ニ付シ議員全員ノ同意ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス

5 一ノ選舉ヲ以テ二人以上ヲ選舉スル場合ニ於テハ被指名者ヲ區分シテ前項ノ規定ヲ適用スルコトヲ得ズ

**第五十六條** 市會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 市長ヨリ傍聽禁止ノ要求ヲ受ケタルトキ

二 議長又ハ議員三人以上ノ發議ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ

2 前項議長又ハ議員ノ發議ハ討論ヲ須キス其ノ可否ヲ決スヘシ

**第五十七條**

議長ハ會議ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

2 議員定數ノ半數以上ヨリ請求アルトキハ議長ハ其ノ日ノ會議ヲ開クコトヲ要ス此ノ場合ニ於テ議長仍會議ヲ開カサルトキハ第四十九條ノ例ニ依ル

3 前項議員ノ請求ニ依リ會議ヲ開キタルトキ又ハ議員中異議アルトキハ議長ハ會議ノ議決ニ依ルニ非サレハ其ノ日ノ會議ヲ閉チ又ハ中止スルコトヲ得ス

**第五十七條ノ二** 市會議員ハ市會ノ議決スベキ事件ニ付市會ニ議案ヲ發スルコトヲ得但シ歳入出豫算ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

2 前項ノ規定ニ依ル發案ハ議員三人以上ヨリ文書ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

**第五十七條ノ三** 市會ハ歳入出豫算ニ付増額シテ之ヲ議決スルコトヲ得ズ

**第五十八條** 議員ハ選舉人ノ指示又ハ委囑ヲ受クヘカラス

2 議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用キ又ハ他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ス

**第五十九條** 會議中本法又ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ス議員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ又ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハサルトキハ當日ノ會議ヲ終ル迄發言ヲ禁止シ又ハ議場外ニ退去セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ

求ムルコトヲ得

2 議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉ツルコトヲ得

第六十條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騒ニ涉リ其ノ他會議ノ妨害ヲ爲ストキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

2 傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第六十一條 市會ニ書記ヲ置キ議長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ處理セシム

2 書記ハ第八十五條ノ吏員ノ中ニ就キ市長之ヲ命ズ

議長ニ隸屬シテ

第六十二條 議長ハ書記ヲシテ會議錄ヲ調製シ會議ノ顛末及出席議員ノ氏名ヲ記載セシムヘシ

2 會議錄ハ議長及議員二人以上之ニ署名スルコトヲ要ス其ノ議員ハ市會ニ於テ之ヲ定ムヘシ

3 議長ハ會議錄ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ市長ニ報告スヘシ

第六十三條 市會ハ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設クヘシ

2 會議規則ニハ本法及會議規則ニ違反シタル議員ニ對シ市會ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止スル規定ヲ設クルコトヲ得

### 第三章 市參事會

#### 第一款 組織及選舉

第六十四條 市ニ市參事會ヲ置キ議長及名譽職參事會員ヲ以テ之ヲ組織ス

第六十五條 名譽職參事會員ノ定數ハ十人トス但シ勅令ヲ以テ指定スル市ニ於テハ市條例ヲ以テ十五人迄之ヲ增加スルコトヲ得

2 名譽職參事會員ハ市會ニ於テ其ノ議員中ヨリ之ヲ選舉スベシ

3 市會ハ名譽職參事會員ト同數ノ補充員ヲ選舉スベシ

4 名譽職參事會員中關員アルトキハ市長ハ補充員ノ中ニ就キ之ヲ補闕ス其ノ順序ハ名譽職參事會員中關員アルトキハ直ニ補闕選舉ヲ行フヘシ

選舉ノ時ヲ異ニスルトキハ選舉ノ前後ニ依リ選舉同時ナルトキハ得票數ニ依リ得票同數ナルトキハ八年長者ヲ取り年齡同ジキトキハ抽籤ニ依ル仍關員アル場合ニ於



テハ臨時補闕選舉ヲ行フベシ

5 名譽職參事會員及其ノ補充員ハ隔年之ヲ選舉スヘシ

6 名譽職參事會員ハ後任者ノ就任スルニ至ル迄在任ス市會議員ノ任期滿了シタルトキ亦同シ

7 名譽職參事會員ハ其ノ選舉ニ關シ第九十條ノ處分確定シ又ハ判決アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第六十六條 市參事會ハ市長ヲ以テ議長トス市長故障アルトキハ市長代理者之ヲ代理ス

第二款 職務權限

第六十七條 市參事會ノ職務權限左ノ如シ

一 市會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事

二 市會閉會中重要事件ヲ除クノ外市會ノ權限ニ屬スル事件ヲ市會ニ代ハリテ議決スルコト

決スルコト

三 市會成立セザルトキ、第五十二條但書ノ場合ニ於テ仍會議ヲ開クコト能ハザ

ルトキ又ハ市長ニ於テ市會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキ市會ノ權限ニ屬スル事件ヲ市會ニ代リテ議決スルコト

四 市吏員ノ身元保證ニ關スル事項ヲ議決スルコト

五 市ニ係ル訴願、訴訟及和解等ニ關スル事項ヲ議決スルコト

六 其ノ他法令ニ依リ市參事會ノ權限ニ屬スル事件

2 前項第二號ノ重要事件ハ市會ノ議決ヲ經テ市長之ヲ定ムベシ

前項第二號ノ規定ニ依リ市參事會ニ於テ議決スベキ事件ハ市會ノ議決ヲ經テ市長之ヲ定ム

第六十八條 市參事會ハ市長之ヲ招集ス名譽職參事會員定數ノ半數以上ヨリ會議ニ付スベキ事件ヲ示シテ市參事會招集ノ請求アルトキハ市長ハ之ヲ招集スヘシ

2 市參事會ノ會期ハ市長之ヲ定ム

第六十九條 市參事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サス

第七十條 市參事會ハ議長又ハ其ノ代理者及名譽職參事會員定數ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ………

………同一ノ事件ニ付招集再回ニ至ルモ仍名譽職參事會員其ノ半數ニ滿タサルトキルトキ

又ハ招集ニ應スルモ出席名譽職參事會員定數ヲ闕キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ仍半數ニ滿タサルトキ若ハ半數ニ滿ツルモ其ノ後半數ニ滿タザルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

2 第四項ノ規定ニ依リ名譽職參事會員ノ數減少シテ前項ノ數ヲ得ザルトキハ市長ハ補充員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキモノヲ以テ第六十五條第四項ノ順序ニ依リ臨時之ニ充テ仍其ノ數ヲ得ザルトキハ市會議員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキモノヲ臨時ニ指名シ其ノ闕員ヲ補充スベシ

3 市參事會ノ議事ハ名譽職參事會員ノ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

4 議長、其ノ代理者及參事會員ハ自己又ハ父母、祖父母、妻、子孫、兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス但シ市參事會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

5 議長及其ノ代理者共ニ前項ノ場合ニ當ルトキハ年長ノ名譽職參事會員議長ノ職務

ヲ代理ス

第七十一條 第四十六條第四十七條第五十條第五十一條第三項……第五十三條第二

第五十一條第二項及第五項第五十三條

項第五十五條第五十七條乃至第五十九條第六十一條第六十二條第一項及第二項並

並第六十二條第一項及第二項

ニ第六十三條第一項ノ規定ハ市參事會ニ之ヲ準用ス

#### 第四章 市吏員

##### 第一款 組織選舉及任免

第七十二條 市ニ市長及助役一人ヲ置ク

2 助役ノ定數ハ市條例ヲ以テ之ヲ増加スルコトヲ得

特別ノ必要アル市ニ於テハ市條例ヲ以テ市參與ヲ置クコトヲ得其ノ定數ハ其ノ市條例中ニ之ヲ規定スベシ

第七十三條 市長ハ有給吏員トス但シ市條例ヲ以テ名譽職ト爲スコトヲ得

2 市長ノ任期ハ四年トス

3 市長ハ内務大臣市會ヲシテ其ノ候補者ヲ推薦セシメ其ノ者ニ就キ勅裁ヲ經テ之ヲ選任ス  
市長ハ市會ニ於テ之ヲ選舉ス

4 市會内務大臣ノ指定スル期日迄ニ前項ノ規定ニ依ル推薦ヲ爲サザルトキハ内務大臣ノ在職中ニ於テ行フ後任市長ノ選舉ハ現任市長ノ任期満了ノ日前二十日以内又ハ現任市長ノ退職ノ申立アリタル場合ニ於テ其ノ退職スベキ日前二十日以内ニ非ザレバ之ヲ行フコトヲ得

5 第三項ノ選舉ニ於テ當選者定マリタルトキハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知スベシ

6 市長ニ當選シタル者當選ノ告知ヲ受ケタルトキハ其ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ其ノ當選ニ應ズルヤ否ヲ申立ツベシ其ノ期間内ニ當選ニ應ズル旨ヲ申立ラ爲サザルトキハ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

7 第三十二條第四項ノ規定ハ市長ニ當選シタル者ニ之ヲ準用ス

5 名譽職市長ハ市公民中選舉權ヲ有スル者ニ限ル

6 市長ハ其ノ退職セントスル日前三十日迄ニ内務大臣ニ申立ツルニ非ザレバ任期中退職スルコトヲ得ズ但シ内務大臣ノ認可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第七十四條 削除

市會ノ承認

市參與ハ名譽職トス但シ定數ノ全部又ハ一部ヲ有給吏員ト爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ

第七十二條第三項ノ市條例中ニ之ヲ規定スヘシ

2 市參與ハ市長ノ推薦ニ依リ市會之ヲ定ム

3 前條第四項乃至第七項ノ規定ハ市參與ニ之ヲ準用ス

4 名譽職市參與ハ市公民中選舉權ヲ有スル者ニ限ル

第七十五條 助役ハ有給吏員トシ其ノ任期ハ四年トス

2 助役ハ府縣知事ノ認可ヲ得テ市長之ヲ選任ス

助役ハ市長ノ推薦ニ依リ市會之ヲ定メ市長職ニ在ラザルトキハ市會ニ於テ之ヲ選舉ス

3 市長ハ助役ニ付著シク其ノ在職ヲ不適當トスル事由アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ府縣知事ノ認可ヲ得テ之ヲ解職スルコトヲ得

第七十三條第四項乃至第七項及第九項ノ規定ハ助役ニ之ヲ準用ス

4 市長ノ職務ヲ代理スル助役ハ其ノ退職セントスル日前三十日迄ニ府縣知事ニ申立ツルニ非ザレバ任期中退職スルコトヲ得ズ但シ府縣知事ノ認可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラズ

5 前項ニ規定スルモノノ外助役ハ其ノ退職セントスル日前三十日迄ニ市長ニ申立ツルニ非ザレバ任期中退職スルコトヲ得ズ但シ市長ノ承認ヲ得タルトキハ此限ニ

在ラズ

第七十五條ノ二 第六條及第八十二條第三項ノ市其ノ他内務大臣ノ指定スル市ニ考査役一人ヲ置ク

2 考査役ハ有給吏員トシ其ノ任期ハ四年トス

3 考査役ハ市會ニ諮リテ市長之ヲ選任ス

4 第一項ノ市以外ノ市ニ於テハ市長ハ市會ニ諮リテ第八十五條ノ吏員ノ中ニ就キ考査役ノ職務ヲ行フ者ヲ定ムベシ

第七十六條 有給市長、助役及考査役ハ第九條第一項ノ規定ニ拘ラス在職ノ間其ノ市ノ公民トス

有給市參與及助役

第七十七條 市長、助役及考査役ハ第十八條第二項又ハ第四項ニ掲ケタル職ト兼ヌルコトヲ得ヌ又其ノ市ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ其ノ市ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付市長若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、取締役監査役若ハ之ニ準スヘキ者、清算人及支配人タルコトヲ得ヌ

市參與及助役

第七十八條 有給市長ハ府縣知事ノ許可ヲ受クルニ非サレハ他ノ報償アル業務ニ從事スルコトヲ得ヌ

2 有給市長、助役及考査役ハ會社ノ取締役監査役若ハ之ニ準スヘキ者、清算人又ハ支配人其ノ他ノ事務員タルコトヲ得ヌ

有給市參與及助役

第七十九條 市ニ收入役一人ヲ置ク但シ市條例ヲ以テ副收入役ヲ置クコトヲ得

2 收入役及副收入役ハ市會ノ同意ヲ得テ市長之ヲ選任ス

3 第七十五條第一項、第七十六條、第七十七條及前條第二項ノ規定ハ收入役及副收入役ニ之ヲ準用ス

第七十三條第四項乃至第七項、第七十五條第一項及第二項、第七十六條、第七十七條並前條第二項ノ規定

ハ收入役及副收入役ニ之ヲ準用ス

4 市長、助役又ハ考査役ト父子兄弟タル緣故アル者ハ收入役又ハ副收入役ノ職ニ在ルコトヲ得ヌ又ハ助役

市參與又ハ助役

5 市ハ出納員ヲ置クコトヲ得

6 出納員ハ第八十五條ノ吏員ノ中ニ就キ市長之ヲ命ズ

第八十條 第六條ノ市ノ區ニ區長一人ヲ置キ市有給吏員トシ市長之ヲ任免ス

2 第七十七條及第七十八條第二項ノ規定ハ區長ニ之ヲ準用ス  
第七十七條第一項

第八十一條 第六條ノ市ノ區ニ區收入役一人又ハ區收入役及區副收入役各一人ヲ置ク

2 區收入役及區副收入役ハ第八十六條ノ吏員中市長、助役、考査役、市收入役、市副收入役又ハ區長トノ間及其ノ相互ノ間ニ父子兄弟タル緣故アラサル者ニ就キ市長之ヲ命ス

3 區收入役又ハ區副收入役ト爲リタル後市長、助役、考査役、市收入役、市副收入役又ハ區長トノ間ニ父子兄弟タル緣故生シタルトキハ區收入役又ハ區副收入役ハ其ノ職ヲ失フ

4 前項ノ規定ハ區收入役及區副收入役相互ノ間ニ於テ區副收入役ニ之ヲ準用ス

5 第六條ノ市ノ區ニ區出納員ヲ置クコトヲ得

6 區出納員ハ第八十六條ノ吏員ノ中ニ就キ市長之ヲ命ス

第八十二條 第六條ノ市ヲ除キ其ノ他ノ市ハ市會ノ議決ヲ經テ處務便宜ノ爲區ヲ劃

シ區長及其ノ代理者一人ヲ置クコトヲ得

2 前項ノ區長及其ノ代理者ハ名譽職トス市公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ市長之ヲ選任  
市長ノ推薦ニ

依リ市會之ヲ定ム此ノ場合ニ於テハ第七十三條第四項乃至第七項ノ規定ヲ準用ス

3 內務大臣ハ前項ノ規定ニ拘ラス區長ヲ有給吏員ト爲スヘキ市ヲ指定スルコトヲ得

4 前項ノ區ニ付テハ第八十條第八十一條第九十四條第二項第九十七條第四項第九十八條及第九十九條ノ規定ヲ準用スルノ外必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十二條ノ二 市ハ市條例ヲ以テ參與ヲ置クコトヲ得

2 參與ハ名譽職トス

3 參與ハ市公民中學識經驗アル者ヨリ市長之ヲ選任ス

4 本法ニ規定スルモノノ外參與ニ關シ必要ナル事項ハ第一項ノ市條例ヲ以テ之ヲ定ム

第八十三條 市ハ委員ヲ置クコトヲ得

市ハ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得

2 委員ハ名譽職トス

委員ハ名譽職トス市會議員、名譽職參事會員又ハ市公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ市長ノ推薦ニ依リ市會之

ヲ定ム但シ委員長ハ市長又ハ其ノ委任ヲ受ケタル市參事若ハ助役ヲ以テ之ニ充ツ

3 委員ハ學識經驗アル者ノ中ヨリ市長之ヲ選任ス

3 第七十三條第四項乃至第七項ノ規定ハ委員ニ之ヲ準用ス

4 委員ノ組織ニ關シテハ市條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第八十四條 市公民ニ限リテ擔任スヘキ職務ニ在ル吏員又ハ職ニ就キタルカ爲市公民タル者選舉權ヲ有セサルニ至リタルトキハ其ノ職ヲ失フ

2 前項ノ職務ニ在ル者ニシテ禁錮以上ノ刑ニ當ルヘキ罪ノ爲豫審又ハ公判ニ付セラレタルトキハ監督官廳ハ其ノ職務ノ執行ヲ停止スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ停止期間報酬又ハ給料ヲ支給スルコトヲ得ス

第八十五條 前數條ニ定ムル者ノ外市ニ必要ノ有給吏員ヲ置キ市長之ヲ任免ス

2 前項吏員ノ定數ハ市會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第八十六條 前數條ニ定ムル者ノ外第六條及第八十二條第三項ノ市ノ區ニ必要ノ市有給吏員ヲ置キ區長ノ申請ニ依リ市長之ヲ任免ス

2 前項吏員ノ定數ハ市會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第二款 職務權限

第八十七條 市長ハ市ヲ統轄シ市ヲ代表ス

2 市長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

一 市會及市參事會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發シ及其ノ議決ヲ執行スル事

二 財産及營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者ヲ置キタルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事

三 收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スル事

四 證書及公文書類ヲ保管スル事

五 法令又ハ市會ノ議決ニ依リ使用料、手数料、加入金、市税、分擔金又ハ夫役現品ヲ賦課徵收スル事

六 其ノ他法令ニ依リ市長ノ職權ニ屬スル事項

第八十八條 市長ハ市内ニ於ケル各種施策ノ綜合的運營ヲ圖ル爲必要アリト認ムル

削除

トキハ市内ノ團體等ニ對シ必要ナル指示ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ其ノ指示ニ從ハザルトキハ市長ハ當該團體等ノ監督官廳ノ措置ヲ申請スルコトヲ得

第八十八條ノ二 市長ハ町内會部落會及其ノ聯合會ノ財産及經費ノ管理並ニ區域ノ變更ニ關シ必要ナル措置ヲ講ズルコトヲ得

2 市長ノ許可ヲ得タル場合ニ於テハ町内會部落會及其ノ聯合會ハ自己ノ名ヲ以テ財産ヲ所有スルコトヲ得

第八十九條 市長ハ市吏員ヲ指揮監督シ之ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責及二十圓以下ノ過怠金トス

十圓以下

第九十條 市會又ハ市參事會ノ議決又ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ市長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ又ハ再選舉ヲ行ハシムベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ市長ハ議決ニ付テハ之ヲ再議ニ付セズシテ直ニ府縣知事ノ裁決ヲ請フコトヲ得

府縣參事會

2 前項ノ規定ニ依リ爲シタル市會又ハ市參事會ノ議決仍其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ市長ハ府縣知事ノ裁決ヲ請フベシ

府縣參事會

3 監督官廳ハ前二項ノ議決又ハ選舉ヲ取消スコトヲ得

4 第一項若ハ第二項ノ裁決又ハ前項ノ處分ニ不服アル市長 市會又ハ市參事會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

5 第一項又ハ第二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十條ノ二 市會又ハ市參事會ノ議決明ニ公益ヲ害スト認ムルトキハ市長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ市長ハ之ヲ再議ニ付セズシテ直ニ府縣知事ノ指揮ヲ請フコトヲ得

2 前項ノ規定ニ依リ爲シタル市會又ハ市參事會ノ議決仍明ニ公益ヲ害スト認ムルトキハ市長ハ府縣知事ノ指揮ヲ請フベシ

3 市會又ハ市參事會ノ議決收支ニ關シ執行スルコト能ハザルモノアリト認ムルトキハ前二項ノ例ニ依ル左ニ掲グル費用ヲ削除シ又ハ減額シタル場合ニ於テ其ノ費用及之ニ伴フ收入ニ付亦同ジ

一 法令ニ依リ負擔スル費用、當該官廳ノ職權ニ依リ命ズル費用其ノ他ノ市ノ義務ニ屬スル費用

二 非常ノ災害ニ因ル應急又ハ復舊ノ施設ノ爲ニ要スル費用、傳染病豫防ノ爲ニ

要スル費用其ノ他ノ緊急避クベカラザル費用

4 前三項ノ規定ニ依ル府縣知事ノ處分ニ不服アル市長、市會又ハ市參事會ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第九十一條 市會成立セサルトキ、第五十二條但書ノ場合ニ於テ仍會議ヲ開クコト能ハサルトキ又ハ市長ニ於テ市會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ市長ハ市會ノ權限ニ屬スル事件ヲ市參事會ノ議決ニ付スルコトヲ得

2 市參事會成立セサルトキ又ハ第七十條第一項但書ノ場合ニ於テ仍會議ヲ開クコト能ハサルトキハ市長ハ府縣知事ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スベキ事件ヲ處分スルコトヲ得

3 市會又ハ市參事會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セサルトキハ前項ノ例ニ依ル市會又ハ市參事會ノ決定スヘキ事件ニ關シテハ前三項ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於ケル

4 市會又ハ市參事會ノ決定スヘキ事件ニ關シテハ前三項ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於ケル市參事會ノ決定又ハ市長ノ處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

5 前四項ノ規定ニ依ル處置ニ付テハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ市會又ハ市參事會ニ報告

スヘシ

第九十二條 市參事會ニ於テ議決又ハ決定スヘキ事件ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ市參事會成立セサルトキ又ハ市長ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ市長ハ之ヲ專決シ次回ノ會議ニ於テ之ヲ市參事會ニ報告スヘシ

2 前項ノ規定ニ依リ市長ノ爲シタル處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十二條ノ二 市會及市參事會ノ權限ニ屬スル事項ノ一部ハ其ノ議決ニ依リ市長ニ於テ專決處分スルコトヲ得

第九十三條 市長其ノ他市吏員ハ法令………ノ定ムル所ニ依リ國府縣其ノ他公共團體ノ事務ヲ掌ル

從來法令又ハ將來法律勅令

2 前項ノ事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ市ノ負擔トス但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第九十四條 市長ハ其ノ事務ノ一部ヲ助役ニ分掌セシムルコトヲ得

2 第六條ノ市ノ市長ハ………其ノ事務ノ一部ヲ區長ニ分掌セシムルコトヲ得



- 3 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得
- 4 市長ハ町内會部若會及其ノ聯合會ノ長ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ援助セシムルコトヲ得

第九十五條 削除

市長ハ市長ノ指揮監督ヲ承ケ市ノ經營ニ屬スル特別ノ事業ヲ擔任ス

第九十六條 助役ハ市長ノ事務ヲ補助ス

- 2 助役ハ市長故障アルトキ之ヲ代理ス助役數人アルトキハ豫メ市長ノ定メタル順序ニ依リ之ヲ代理ス

第九十六條ノ二 考査役ハ市長ノ指揮監督ヲ承ケ市ノ經營ニ係ル事業ノ管理、市ノ出納其ノ他市吏員ノ掌理ニ屬スル事務ノ執行ヲ考査ス

- 2 市長ハ監督官廳ノ命令アルトキハ考査役ヲシテ前項ノ職務ヲ行ハシメ其ノ結果ヲ報告スベシ

- 3 市長ハ市會ニ諮リテ考査役故障アルトキ之ヲ代理スベキ者ヲ第八十五條ノ吏員ノ中ニ就キ定ムベシ

第九十七條 收入役ハ市ノ出納其ノ他ノ會計事務及第九十三條ノ事務ニ關スル國府

縣其ノ他公共團體ノ出納其ノ他ノ會計事務ヲ掌ル但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ左ラス

- 2 副收入役ハ收入役ノ事務ヲ補助シ收入役故障アルトキ之ヲ代理ス副收入役數人アルトキハ豫メ市長ノ定メタル順序ニ依リ之ヲ代理ス

- 3 市長ハ收入役ノ事務ノ一部ヲ副收入役ニ分掌セシムルコトヲ得但シ市ノ出納其ノ他ノ會計事務ニ付テハ豫メ市會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

- 4 第六條ノ市ノ市長ハ前項ノ例ニ依リ收入役ノ事務ノ一部ヲ區收入役ニ分掌セシムルコトヲ得

- 5 副收入役ヲ置カサル場合ニ於テハ市長ハ市會ノ同意ヲ得テ收入役故障アルトキ之ヲ代理スヘキ吏員ヲ定ムベシ

6 出納員ハ收入役ノ命ヲ承ケ出納事務ヲ掌ル

第九十八條 第六條ノ市ノ區長ハ市長ノ命ヲ承ケ又ハ法令ノ定ムル所ニ依リ區内ニ關スル市ノ事務及區ノ事務ヲ掌ル

- 3 市長ハ市吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得
- 4 市長ハ町内會部落會及其ノ聯合會ノ長ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ援助セシムルコトヲ得

第九十五條 削除

市會與ハ市長ノ指揮監督ヲ承ケ市ノ經營ニ屬スル特別ノ事業ヲ擔任ス

第九十六條 助役ハ市長ノ事務ヲ補助ス

- 2 助役ハ市長故障アルトキ之ヲ代理ス助役數人アルトキハ豫メ市長ノ定メタル順序ニ依リ之ヲ代理ス

第九十六條ノ二 考査役ハ市長ノ指揮監督ヲ承ケ市ノ經營ニ係ル事業ノ管理、市ノ

出納其ノ他市吏員ノ掌理ニ屬スル事務ノ執行ヲ考査ス

- 2 市長ハ監督官廳ノ命令アルトキハ考査役ヲシテ前項ノ職務ヲ行ハシメ其ノ結果ヲ報告スベシ

- 3 市長ハ市會ニ諮リテ考査役故障アルトキ之ヲ代理スベキ者ヲ第八十五條ノ吏員ノ中ニ就キ定ムベシ

第九十七條 收入役ハ市ノ出納其ノ他ノ會計事務及第九十三條ノ事務ニ關スル國府

縣其ノ他公共團體ノ出納其ノ他ノ會計事務ヲ掌ル但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ左ラス

- 2 副收入役ハ收入役ノ事務ヲ補助シ收入役故障アルトキ之ヲ代理ス副收入役數人アルトキハ豫メ市長ノ定メタル順序ニ依リ之ヲ代理ス

- 3 市長ハ收入役ノ事務ノ一部ヲ副收入役ニ分掌セシムルコトヲ得但シ市ノ出納其ノ他ノ會計事務ニ付テハ豫メ市會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

- 4 第六條ノ市ノ市長ハ前項ノ例ニ依リ收入役ノ事務ノ一部ヲ區收入役ニ分掌セシムルコトヲ得

- 5 副收入役ヲ置カサル場合ニ於テハ市長ハ市會ノ同意ヲ得テ收入役故障アルトキ之ヲ代理スヘキ吏員ヲ定ムヘシ

市會ハ市長ノ指揮ニ依リ

- 6 出納員ハ收入役ノ命ヲ承ケ出納事務ヲ掌ル

- 第九十八條 第六條ノ市ノ區長ハ市長ノ命ヲ承ケ又ハ法令ノ定ムル所ニ依リ區内ニ關スル市ノ事務及區ノ事務ヲ掌ル

2 區長其ノ他區所屬ノ吏員ハ市長ノ命ヲ承ケ又ハ法令……………ノ定ムル所ニ

從來法令若ハ將來法律勅令

依リ國府縣其ノ他公共團體ノ事務ヲ掌ル

3 區長故障アルトキハ區收入役及區副收入役ニ非サル區所屬ノ吏員中上席者ヨリ順次之ヲ代理ス

4 第一項及第二項ノ事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ市ノ負擔トス但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第九十九條 第六條ノ市ノ區收入役ハ市收入役ノ命ヲ承ケ又ハ法令ノ定ムル所ニ依

リ市及區ノ出納其ノ他ノ會計事務ヲ掌リ市收入役ノ命ヲ承ケ又ハ法令……………

從來法令若ハ將來法律勅令

……………ノ定ムル所ニ依リ國府縣其ノ他公共團體ノ出納其ノ他ノ會計事務ヲ掌ル

2 區長ハ市長ノ許可ヲ得テ區收入役ノ事務ノ一部ヲ區副收入役ニ分掌セシムルコト

ヲ得但シ區ノ出納其ノ他ノ會計事務ニ付テハ豫メ區會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

3 市長ハ市ノ出納其ノ他ノ會計事務ニ付前項ノ許可ヲ爲ス場合ニ於テハ豫メ市會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

4 區副收入役ヲ置カサル場合ニ於テハ市長ハ區收入役故障アルトキ之ヲ代理スヘキ吏員ヲ定ムヘシ

5 區收入役及區副收入役ノ職務權限ニ關シテハ前四項ニ規定スルモノノ外市收入役及市副收入役ニ關スル規定ヲ準用ス

6 區出納員ハ區收入役ノ命ヲ承ケ出納事務ヲ掌ル

第一百條 名譽職區長ハ市長ノ命ヲ承ケ市長ノ事務ニシテ區内ニ關スルモノヲ補助ス

2 名譽職區長代理者ハ區長ノ事務ヲ補助シ區長故障アルトキ之ヲ代理ス

第一百條ノ二 參與ハ市長ノ諮問ニ應ジ市内ニ於ケル各種施策ニ關スル重要事項ヲ審議ス

第一百一條 委員ハ市ノ事務及第九十三條ノ規定ニ依ル市長ノ事務ニ付委託ヲ受ケテ

委員ハ市長ノ指揮監督ヲ承ケ財産又ハ營造物ヲ管理シ其ノ他委託ヲ受ケタル市ノ事務ヲ調査

調査ス

シ又ハ之ヲ處辨ス

第一百二條 第八十五條ノ吏員ハ市長ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

第一百三條 第八十六條ノ吏員ハ區長ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

2 區長ハ前項ノ吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第五章 給料及給與

第百四條 名譽職市長、

名譽職市長、

市會議員、名譽職參事會員其ノ他ノ名譽職員ハ職

務ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

2 名譽職市長、

名譽職市長、

名譽職區長、名譽職區長代理者及委員ニハ費用辨償ノ外勤

務ニ相當スル報酬ヲ給スルコトヲ得

3 費用辨償額、報酬額及其ノ支給方法ハ市條例ヲ以テ之ヲ規定スベシ

第百五條 有給市長、

有給市長、

助役、考査役其ノ他ノ有給吏員ノ給料額、旅費額及其ノ支給

方法ハ市規則ヲ以テ之ヲ規定スベシ

市條例

2 前項ノ市規則ヲ設ケ又ハ改廢セントスルトキハ府縣知事ノ許可ヲ受クベシ

第百六條 有給吏員

有給吏員

ハ市條例ノ定ムル所ニ依リ退職料、退職給與金、死亡給與金

又ハ遺族扶助料ヲ給スルコトヲ得

第百七條 費用辨償、

報酬、給料、旅費、

退職料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶

助料ノ給與ニ付關係者ニ於テ異議アルトキハ之ヲ市長ニ申立ツルコトヲ得

2 前項ノ場合ニ於テ關係者市長ノ決定ニ不服アルトキハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決

前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ市長ハ七日以内ニ之ヲ市務事會ノ決定ニ付スベシ關係者其ノ決定ニ不服

ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

アルトキハ府縣知事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第三項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ

得

3 前項ノ……裁決ニ付テハ市長ヨリモ……訴訟ヲ提起スルコトヲ得

決定及

訴願又ハ

4 前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第百八條 費用辨償、報酬、給料、旅費、退職料、退職給與金、死亡給與金、遺族

扶助料其ノ他ノ給與ハ市ノ負擔トス

第六章 市ノ財務

第一款 財産營造物及市稅

第百九條 收益ノ爲ニスル市ノ財産ハ基本財産トシ之ヲ維持スベシ

2 市ハ特定ノ目的ノ爲特別ノ基本財産ヲ設ケ又ハ金穀等ヲ積立ツルコトヲ得

第百十條 舊來ノ慣行ニ依リ市住民中特ニ財産又ハ營造物ヲ使用スル權利ヲ有スル

者アルトキハ其ノ舊慣ニ依ル舊慣ヲ變更又ハ廢止セムトスルトキハ市會ノ議決ヲ經ヘシ

2 前項ノ財産又ハ營造物ヲ新ニ使用セムトスル者アルトキハ市會ノ議決ヲ經テ之ヲ許可スルコトヲ得

第百十一條 市ハ市會ノ議決ヲ經テ前條ニ規定スル財産ノ使用方法ニ關シ市規則ヲ設クルコトヲ得

第百十二條 市ハ第百十條第一項ノ使用者ヨリ使用料ヲ徵收シ同條第二項ノ使用ニ關シテハ使用料若ハ一時ノ加入金ヲ徵收シ又ハ使用料及加入金ヲ共ニ徵收スルコトヲ得

第百十三條 市ハ營造物ノ使用ニ付使用料ヲ徵收スルコトヲ得

2 市ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第百十四條 市ハ其ノ區域外ニ於テモ亦關係市町村トノ協議ニ依リ營造物ヲ設クル

財産の賣却貸與、工事ノ請負及物件勞力其ノ他ノ供給ハ競争入札ニ付スヘシ但シ臨時急遽

コトヲ得

ヲ要スルトキ、入札ノ價額其ノ費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ市會ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

2 前項ノ協議ニ付テハ市町村會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第百十四條ノ二 市ハ他ノ市町村トノ協議ニ依リ他ノ市町村ノ財産又ハ營造物ヲ自

己ノ住民ノ使用ニ供セシムルコトヲ得

2 前項ノ協議ニ付テハ市町村會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第百十四條ノ三 市ハ神社ノ經費ヲ供進スルコトヲ得

第百十五條 市ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附又ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第百十六條 市ハ其ノ必要ナル費用及從來法令ニ依リ又ハ將來法律勅令ニ依リ市ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

2 市長其ノ他市吏員ガ第九十三條又ハ第九十八條第一項及第二項若ハ之ヲ準用スル第八十二條第四項ノ事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ市ノ負擔トス但シ法令ニ別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

3 市又ハ市長其ノ他市吏員ヲシテ國ノ事務ヲ處理執行セシムル場合ニ於テハ之ガ爲要スル費用ノ財源ニ付必要ナル措置ヲ講ズベキモノトス  
第百十七條 市ハ其ノ支出ニ充ツル爲市税、分擔金及夫役現品ヲ賦課徵收スルコトヲ得

2 市税及其ノ賦課徴収ニ關シテハ地方税法ノ定ムル所ニ依ル  
第百十八條乃至第百二十一條 削除

第百二十二條 分擔金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ數人若ハ市ノ一部ヲ利スル財産若ハ營造物又ハ數人若ハ市ノ一部ニ對シ利益アル事件ニ關シ特ニ利益ヲ受クル者ヨリ之ヲ徴收ス

第百二十三條 削除

第百二十四條 夫役又ハ現品ハ直接市税ヲ準率ト爲シ且之ヲ金額ヲ算出シテ賦課スヘシ但シ第百六十七條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

2 學藝美術及手工ニ關スル勞務ニ付テハ夫役ヲ賦課スルコトヲ得ス

3 夫役ヲ賦課セラレタル者ハ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得

4 夫役又ハ現品ハ金錢ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

5 第一項及前項ノ規定ハ急迫ノ場合ニ賦課スル夫役ニ付テハ之ヲ適用セス

第百二十五條 數人若ハ市ノ一部ヲ利スル財産若ハ營造物又ハ數人若ハ市ノ一部ニ對シ利益アル事件ニ關シテハ市ハ夫役現品ニ付不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ市ノ一部ニ對シテ其ノ賦課ヲ爲スコトヲ得

第百二十六條

非常災害ノ爲必要アルトキハ市ハ他人ノ土地ヲ一時使用シ又ハ其ノ

土石竹木其ノ他ノ物品ヲ使用シ若ハ收用スルコトヲ得但シ其ノ損失ヲ補償スヘシ

2 前項ノ場合ニ於テ危險防止ノ爲必要アルトキハ市長、警察官吏又ハ監督官廳ハ市内ノ居住者ヲシテ防備ニ從事セシムルコトヲ得

3 第一項但書ノ規定ニ依リ補償スヘキ金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ府縣知事之ヲ決定ス決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

4 前項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スヘシ

5 第一項ノ規定ニ依リ土地ノ一時使用ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第百二十七條及第百二十八條 削除

第百二十九條 使用料、手数料及分擔金ニ關スル事項ニ付テハ市條例ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

2 詐僞其ノ他ノ不正ノ行爲ニ依リ使用料、手数料又ハ分擔金ノ徴收ヲ免レタル者ニ付テハ市條例ヲ以テ其ノ徴收ヲ免レタル金額ノ五倍ニ相當スル金額(其ノ金額十

圖未滿ナルトキハ十圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

3 前項ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手数料及分擔金ノ徵收ニ關シテハ市條例ヲ以テ二十圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得財産又ハ營造物ノ使用ニ關シ亦同シ

4 過料ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

5 前項ノ裁決ニ付テハ……市長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三百十條 使用料、手数料、加入金若ハ分擔金ノ徵收又ハ夫役現品ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ徵收又ハ賦課ニ付違法又ハ錯誤アリト認ムルトキハ其ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ市長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

2 財産又ハ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ之ヲ市長ニ申立ツルコトヲ得

3 前二項ノ場合ニ於テ市長ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

訴スルコトヲ得

4 前項ノ規定ニ依ル……裁決ニ付テハ市長ヨリモ……訴訟ヲ提起スルコトヲ得

5 前二項ノ規定ニ依ル裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三百十一條 使用料、手数料、加入金、分擔金、過料、過怠金其ノ他ノ市ノ收入

ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ市長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ

2 夫役現品ノ賦課ヲ受ケタル者定期内ニ其ノ履行ヲ爲サス又ハ夫役現品ニ代フル金

錢ヲ納メサルトキハ市長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ急迫ノ場合ニ賦課シタル夫役ニ付テハ更ニ之ヲ金額ニ算出シ期限ヲ指定シテ其ノ納付ヲ命スヘシ

3 前二項ノ場合ニ於テハ市條例ノ定ムル所ニ依リ手数料ヲ徵收スルコトヲ得

4 滯納者第一項又ハ第二項ノ督促又ハ命令ヲ受ケ其ノ指定ノ期限内ニ之ヲ完納セザルトキハ圖稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘシ

5 第一項乃至第三項ノ徵收金ハ府縣ノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徵還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

判所ニ出訴スルコトヲ得

7 前項ノ裁決ニ付テハ……市長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

府縣知事又ハ

8 第四項ノ處分中差押物件ノ公賣ハ處分ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

9 第四項ノ處分ハ其ノ市ノ區域外ニ於テモ亦之ヲ爲スコトヲ得

第三百三十二條 市ハ其ノ負債ヲ償還スル爲メ、市ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ爲ス

爲又ハ天災事變等ノ爲必要ナル場合ニ限リ市會ノ議決ヲ經テ市債ヲ起スコトヲ得

2 市債ヲ起スル付市會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ

方法ニ付議決ヲ經ヘシ

3 市長ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲メ市參事會ノ議決ヲ經テ一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得

4 前項ノ借入金ハ其ノ會計年度内ノ收入ヲ以テ償還スヘシ

第二款 歳入出豫算及決算

第三百三十三條 市長ハ毎會計年度歳入出豫算ヲ調製シ遅クトモ年度開始ノ一月前ニ

市會ノ議決ヲ經ヘシ

2 市ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

3 豫算ヲ市會ニ提出スルトキハ市長ハ併セテ事務報告書及財産表ヲ提出スヘシ

第三百三十四條 市長ハ市會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得

第三百三十五條 市費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキ

モノハ市會ノ議決ヲ經テ其ノ年各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第三百三十六條 市ハ豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲メ豫備費ヲ設クヘシ

2 特別會計ニハ豫備費ヲ設ケサルコトヲ得

3 豫備費ハ市會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第三百三十七條 豫算ハ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ府縣知事ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示

スヘシ

第三百三十八條 市ハ市會ノ議決ヲ經テ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第三百三十九條 市會ニ於テ豫算ヲ議決シタルトキハ市長ヨリ其ノ謄本ヲ收入役ニ交

付スヘシ

2 收入役ハ市長又ハ監督官廳ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス命令ヲ受

タルモ支出ノ豫算ナク且豫備費支出、費目流用其ノ他財務ニ關スル規定ニ依リ支

出ヲ爲スコトヲ得サルトキ亦同シ

第四百十條 市ノ支拂金ニ關スル時効ニ付テハ政府ノ支拂金ノ例ニ依ル



第四百一十一條 市ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ之ヲ検査シ且毎會計年度少クトモ二回臨時検査ヲ爲スヘシ

2 検査ハ市長考査役ヲシテ之ヲ審査セシメ其ノ臨時検査ニハ名譽職參事會員ニ於テ之ヲ爲シ

互選シタル參事會員二人以上ノ立會ヲ要ス

第四百一十二條 市ノ出納ハ翌年度五月三十一日ヲ以テ閉鎖ス

2 決算ハ出納閉鎖後一月以内ニ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之ヲ市長ニ提出スヘシ市長ハ考査役ヲシテ之ヲ審査セシメ其ノ意見ヲ附シテ次ノ通常豫算ヲ議スル會議迄之ヲ審査シ

ニ之ヲ市會ノ認定ニ付スヘシ

第四百一十三條 豫算調製ノ式、費目流用其ノ他財務ニ關シ必要ナル規定ハ内務大臣之ヲ定ム

第七章 市ノ一部ノ事務

第四百一十四條 市ノ一部ニシテ財産ヲ有シ又ハ營造物ヲ設ケタルモノアルトキハ其ノ財産又ハ營造物ノ管理及處分ニ付テハ本法中市ノ財産又ハ營造物ニ關スル規定ニ依ル但シ法律勅令中別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

2 前項ノ財産又ハ營造物ニ關シ特ニ要スル費用ハ其ノ財産又ハ營造物ノ屬スル市ノ

一部ノ負擔トス

3 前二項ノ場合ニ於テハ市ノ一部ハ其ノ會計ヲ分別スヘシ

第四百一十五條 前條ノ財産又ハ營造物ニ關シ必要アリト認ムルトキハ府縣知事ハ市會ノ意見ヲ徵シ

府縣參事會ノ議決ヲ經

キ事項ヲ議決セシムルコトヲ得

第四百一十六條 區會議員ハ市ノ名譽職トス其ノ定數、任期、選舉權及被選舉權ニ關スル事項ハ前條ノ市條例中ニ之ヲ規定スヘシ

2 區會議員ノ選舉ニ付テハ町村制中町村會議員ニ關スル規定ヲ準用ス但シ

選舉若ハ當

選ノ效力ニ關スル異議ノ決定及

3 區會ニ關シテハ町村制中町村會ニ關スル規定ヲ準用ス

第四百一十七條 第四百一十四條ノ場合ニ於テ市ノ一部府縣知事ノ處分ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第四百一十八條 第四百一十四條ノ市ノ一部ノ事務ニ關シテハ本法ニ規定スルモノノ外

勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八章 市町村組合

第四百四十九條 市町村ハ其ノ事務ノ一部ヲ共同處理スル爲其ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ得テ市町村組合ヲ設クルコトヲ得

2 公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ市町村組合ヲ設クルコトヲ得  
公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經テ前項ノ市町村組合ヲ設クルコトヲ得

3 前項ノ市町村組合ニ關シテハ本法ニ拘ラス勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

4 市町村組合ハ法人トス

第五百十條 市町村組合ニシテ其ノ組合市町村ノ數ヲ増減シ又ハ共同事務ノ變更ヲ爲サムトスルトキハ關係市町村ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

2 公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シ  
府縣參事會ノ議決ヲ經テ組合市町村ノ數ヲ増減シ又ハ共同事務ノ變更ヲ爲スコトヲ得

.....  
府縣參事會ノ議決ヲ經

第五百一十一條 市町村組合ヲ設クルトキハ關係市町村ノ協議ニ依リ組合規約ヲ定メ

府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ組合規約ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

2 公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シ  
府縣參事會ノ議決ヲ經テ組合規約ヲ.....變更スルコトヲ得

.....  
府縣參事會ノ議決ヲ經

第五百一十二條 組合規約ニハ組合ノ名稱、組合ヲ組織スル市町村、組合ノ共同事務、組合役場ノ位置、組合會ノ組織及組合會議員ノ選舉、組合吏員ノ組織及選任並組合費用ノ支辨方法ニ付規定ヲ設クヘシ

第五百一十三條 市町村組合ヲ解カムトスルトキハ關係市町村ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

2 公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シ  
府縣參事會ノ議決ヲ經テ市町村組合ヲ解クコトヲ得

.....  
府縣參事會ノ議決ヲ經

第五百一十四條 第五百十條第一項及前條第一項ノ場合ニ於テ財産ノ處分ニ關スル事項ハ關係市町村ノ協議ニ依リ之ヲ定ム

2 第五百十條第二項及前條第二項ノ場合ニ於テ財産ノ處分ニ關スル事項ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シ……………テ府縣知事之ヲ定ム

府縣知事會ノ議決ヲ經

第五百十四條ノ二 第四百十九條第一項、第五百十條第一項、第五百一十一條第一項、第五百十三條第一項及前條第一項ノ協議ニ付テハ市町村會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第五百十五條 第四百十九條第一項、第五百十條第一項、第五百一十一條第一項、第五百十三條第一項及第五百十四條第二項ノ規定ニ依ル府縣知事ノ處分ニ不服アル市町村又ハ市町村組合ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

2 組合費ノ分賦ニ關シ違法又ハ錯誤アリト認ムル市町村ハ其ノ告知アリタル日ヨリ三十日以内ニ組合ノ管理者ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

3 前項ノ場合ニ於テ組合ノ管理者ノ決定ヲ受ケタル市町村其ノ決定ニ不服アルトキハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ組合ノ管理者ハ七日以内ニ之ヲ組合會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル市町村ハ府縣知事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第四項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

4 前項ノ決定及裁決ニ付テハ組合ノ管理者ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得  
5 前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第五百十六條 市町村組合ニ關シテハ法律勅令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外市ニ關スル規定ヲ準用ス

第九章 市ノ監督

第五百十七條 市ハ第一次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第二次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス

第五百十八條 本法中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外市ノ監督ニ關スル府縣知事ノ處分ニ不服アル市ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第五百十九條 本法中行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

第六十條 異議ノ申立又ハ訴願ノ提起ハ處分、決定又ハ裁決アリタル日ヨリ二十一日以内ニ之ヲ爲スヘシ但シ本法中別ニ期間ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス  
2 行政訴訟ノ提起ハ處分、決定、裁定又ハ裁決アリタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スヘシ

3 決定書又ハ裁決書ノ交付ヲ受ケサル者ニ關シテハ前二項ノ期間ハ告示ノ日ヨリ起算ス

4 異議ノ申立ニ關スル期間ノ計算ニ付テハ訴願法ノ規定ニ依ル

5 異議ノ申立ハ期限經過後ニ於テモ宥恕スヘキ事由アリト認ムルトキハ仍之ヲ受理スルコトヲ得

6 異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ申立人ニ交付スヘシ

7 異議ノ申立アルモ處分ノ執行ハ之ヲ停止セス但シ行政廳ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係者ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ之ヲ停止スルコトヲ得

第六十條ノ二 異議ノ決定ハ本法中別ニ期間ヲ定メタルモノヲ除ク外其ノ申立

ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スヘシ

其ノ決定ニ

付セラレタル日ヨリ三月以内

2 府縣知事訴願ヲ受理シタルトキハ其ノ日ヨリ三十日以内ニ之ヲ裁決スヘシ

府縣參事會

三月以内

第六十一條 監督官廳ハ市ノ監督上必要アル場合ニ於テハ事務ノ報告ヲ爲サシ

メ、書類帳簿ヲ徴シ及實地ニ就キ事務ヲ視察シ又ハ出納ヲ檢閲スルコトヲ得

2 監督官廳ハ市ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

3 上級監督官廳ハ下級監督官廳ノ市ノ監督ニ關シテ爲シタル命令又ハ處分ヲ停止シ又ハ取消スコトヲ得

第六十二條 內務大臣ハ市會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

2 市會解散ノ場合ニ於テハ三月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

3 解散後初テ市會ヲ招集スルトキハ市長ハ第五十條ノ二第二項及第三項ノ規定ニ拘ラズ別ニ會期ヲ定ムルコトヲ得

4 第五十條ノ二第四項、第七項及第八項ノ規定ハ前項ノ市會ニ之ヲ準用ス

第六十三條 市ニ於テ法令ニ依リ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依リ命スル費用ヲ豫算ニ載セサルトキハ府縣知事ハ理由ヲ示シテ其ノ費用ヲ豫算ニ加フルコトヲ得

2 市長其ノ他ノ吏員其ノ執行スヘキ事件ヲ執行セサルトキハ府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員之ヲ執行スルコトヲ得但シ其ノ費用ハ市ノ負擔トス

3 前二項ノ處分ニ不服アル市又ハ市長其ノ他ノ吏員ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第六十四條 市長、助役、收入役又ハ副收入役ニ故障アルトキハ監督官廳ハ臨時代理者ヲ選任シ又ハ官吏ヲ派遣シ其ノ職務ヲ管掌セシムルコトヲ得但シ官吏ヲ派

遺シタル場合ニ於テハ其ノ旅費ハ市費ヲ以テ辨償セシムヘシ

2 臨時代理者ハ有給ノ市吏員トシ其ノ給料額、旅費額等ハ監督官廳之ヲ定ム

第百六十五條

内務大臣ハ市長ニ付著シク其ノ在職ヲ不適當トスル事由アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ之ヲ解職スルコトヲ得

第百六十六條

削除

第百六十七條

左ニ掲グル事件ハ府縣知事ノ許可ヲ受クベシ但シ第一號及第七號：  
ニ掲グル事件ニシテ勅令ヲ以テ指定スルモノハ其ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受クベシ

一 市條例ヲ設ケ又ハ改廢スルコト

二 基本財産及特別基本財産ノ處分ニ關スルコト

三 第百十條ノ規定ニ依リ舊慣ヲ變更シ又ハ廢止スルコト

四 使用料ヲ新設シ又ハ變更スルコト

五 分擔金ヲ新設シ又ハ變更スルコト

第百二十四條ノ準率ニ依ラズシテ夫役現品ヲ賦課スルコト但シ急迫ノ場合ニ賦課スル夫役ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第百二十五條ノ規定ニ依リ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ市ノ一部ニ對シ賦課ヲ爲スコト

八 繼續費ヲ定メ又ハ變更スルコト

九 市債ヲ起シ竝ニ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スルコト但シ第百三十二條第三項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラズ

第百六十八條 監督官廳ノ許可ヲ要スル事件ニ付テハ監督官廳ハ許可申請ノ趣旨ニ反セスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ與フルコトヲ得

第百六十九條 監督官廳ノ許可ヲ要スル事件ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ許可ノ職權ヲ下級監督官廳ニ委任シ又ハ輕易ナル事件ニ限り許可ヲ受ケシメサルコトヲ得

第百七十條 府縣知事ハ市長、助役、考査役、收入役、副收入役、區長、區長代理

府縣知事ハ市長、市參事、助役、收入役、副收入役、區長、區長代理者、委員其ノ他ノ市

市制 第九章 市ノ監督

八五

者並ニ第八十五條及第八十六條ノ吏員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ  
 吏員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トス但シ市長、市參事、  
 譴責、五十圓以下ノ過怠金及解職トス但シ市長、助役、考查役、收入役、副收入  
 助役、收入役、副收入役及第六條又ハ第八十二條第三項ノ市ノ區長ニ對スル解職ハ懲戒審査會ノ議決ヲ經  
 役及第六條又ハ第八十二條第三項ノ市ノ區長ニ對スル解職ハ懲戒審査會ノ議決ヲ  
 ルコトヲ要ス  
 經市長ニ付テハ勅裁ヲ經ルコトヲ要ス

2 懲戒審査會ハ内務大臣ノ指定スル職ニ在ル府縣高等官三人及府縣名譽職參事會員  
内務大臣ノ命シタル

ニ於テ互選シタル者三人ヲ以テ其ノ會員トシ府縣知事ヲ以テ會長トス知事故障ア  
 ルトキハ其ノ代理者會長ノ職務ヲ行フ

3 府縣名譽職參事會員ノ互選スヘキ會員ノ選舉補闕及任期並懲戒審査會ノ招集及會  
 議ニ付テハ府縣制中名譽職參事會員及府縣參事會ニ關スル規定ヲ準用ス但シ補充  
 員ハ之ヲ設クルノ限ニ在ラス

4 解職ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得  
 5 府縣知事ハ市長、………助役、考查役、收入役、副收入役及第六條又ハ第八十二  
市參事、

條第三項ノ市ノ區長ノ解職ヲ行ハムトスル前其ノ停職ヲ命スルコトヲ得此ノ場合  
 ニ於テハ其ノ停職期間報酬又ハ給料ヲ支給スルコトヲ得ス

6 懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間北海道府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモ  
 ノノ公職ニ就クコトヲ得ズ

第七十一條 市吏員ノ服務規律、賠償責任、身元保證及事務引繼ニ關スル規定ハ  
 命令ヲ以テ之ヲ定ム

2 前項ノ命令ニハ事務引繼ヲ拒ミタル者ニ對シ二十五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ  
 設クルコトヲ得

第十章 雜 則

第七十二條 府縣知事………ノ權限ニ屬スル事件ニシテ數府縣ニ涉ルモノア  
又ハ府縣參事會

ルトキハ内務大臣ハ關係府縣知事ノ具狀ニ依リ其ノ事件ヲ管理スヘキ府縣知事……  
 ……ヲ指定スヘシ  
又

ハ府縣參事會

第七十三條 本法ニ規定スルモノノ外有給吏員ノ組織、任用、分限、給料等ニ關  
本法ニ規定スルモノノ外第六條ノ市ノ有給吏員ノ組織任用分限及其ノ區ニ關シ必要ナル

シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十四條 第十三條ノ人口ハ内務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第七十五條 本法ニ於ケル直接税及間接税ノ種類ハ内務大臣及大藏大臣之ヲ定ム

第七十六條 市又ハ市町村組合ノ廢置分合又ハ境界變更アリタル場合ニ於テ市ノ事務ニ付必要ナル事項ハ本法ニ規定スルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十七條 本法中府縣、府縣制、府縣知事、府縣參事會、府縣名譽職參事會員

又ハ府縣高等官

府縣高等官、所屬府縣ノ官吏若ハ有給吏員、府縣稅又ハ直接府縣稅

ハ各地方費、道會法、道廳長官、道參事會、道名譽職參事會員又ハ道廳高等官ニ

道廳高等官、道廳ノ官

吏若ハ地方費ノ有給吏員、北海道地方稅又ハ直接北海道地方稅ニ、町村又ハ町村會ニ關スル規定ハ北海道

ニ付テハ各町村又ハ町村會ニ該當スルモノニ關シ之ヲ適用ス

第七十七條ノ二 本法中官吏ニ關スル規定ハ待遇官吏ニ之ヲ適用ス

第七十七條ノ三 樺太ニ於ケル市ニ付テハ本法ニ拘ラズ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ

設クルコトヲ得

附 則

第七十八條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム (明治四十四年勅令第二百三十八號ヲ

以テ明治四十四年十一月一日ヨリ施行)

第七十九條 本法施行ノ際現ニ市會議員又ハ區會議員ノ職ニ在ル者ハ從前ノ規定

ニ依ル最近ノ定期改選期ニ於テ總テ其ノ職ヲ失フ

2 本法施行ノ際現ニ市長助役又ハ收入役ノ職ニ在ル者ハ從前ノ規定ニ依ル任期滿了ノ日ニ於テ其ノ職ヲ失フ

第八十條 舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ本法ノ適用ニ付テハ六年ノ懲役又

ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス但シ復權ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス

2 舊刑法ノ禁錮以上ノ刑ハ本法ノ適用ニ付テハ禁錮以上ノ刑ト看做ス

第八十一條 本法施行ノ際必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

1 本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

2 第七十三條、第七十五條又ハ第七十九條ノ改正規定施行ノ際現ニ在職スル市長、

助役、収入役又ハ副収入役ハ此等ノ規定ニ依リ其ノ職ヲ失フコトナシ  
地方税法中左ノ通改正ス

第一條第三項乃至第五項ヲ左ノ如ク改ム

本法中府縣ニ關スル規定ハ北海道地方費ニ之ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テハ府縣稅、府縣知事、府縣吏員、府縣參事會又ハ府縣條例トアルハ夫々北海道地方稅、北海道廳長官、北海道地方費吏員、北海道參事會又ハ北海道條例トス

本法中市町村ニ關スル規定ヲ北海道ノ市町村ニ適用スル場合ニ於テハ府縣知事トアルハ北海道廳長官トス

第十六條第二項中「三月以内」ヲ「三十日以内」ニ改ム

第二十條第四項ヲ左ノ如ク改ム

前二項ノ場合ニ於テ府縣知事又ハ市町村長ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ府縣稅ニ付テハ行政裁判所ニ出訴シ市町村稅ニ付テハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
同條第七項ヲ左ノ如ク改ム

第三項ノ裁決ニ付テハ市町村長又ハ其ノ委任ヲ受ケタル市町村吏員ヨリモ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

同條第八項中「前七項」ヲ「前四項」ニ改メ同條第三項、第五項及第六項ヲ削ル

第二十三條第二項中「府縣參事會」ヲ「府縣知事」ニ改メ同條第三項ヲ左ノ如ク改ム

市町村稅ニ關スル前項ノ裁決ニ付テハ市町村長又ハ其ノ委任ヲ受ケタル市町村吏員ヨリモ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第三十六條第二項中「三月以内」ヲ「三十日以内」ニ改メ「府縣參事會」ヲ「府縣知事」ニ改メ同條第三項中「又ハ府縣知事」ヲ削ル

第四十條第二項中「三月以内」ヲ「三十日以内」ニ改メ「府縣參事會」ヲ「府縣知事」ニ改メ同條第三項中「又ハ府縣知事」ヲ削ル

第八十條第四項中「府縣參事會」ヲ「府縣知事」ニ改メ同條第五項中「又ハ府縣知事」ヲ削ル

登錄税法中左ノ通改正ス

第十九條第四號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

四ノ二 町内會部落會(町内會部落會ノ聯合會ヲ含ム以下同ジ)ノ區域ノ變更ニ因



凡町内會部落會ノ權利ノ取得又ハ其ノ町内會部落會ニ所有權ヲ移スニ付爲ス所有權ノ保存ノ登記又ハ登録

同條第五號ヲ左ノ如ク改ム

五 町内會部落會若ハ市町村ノ一部ニ屬スル財産ヲ其ノ市町村ニ移ス場合又ハ市町村ノ一部ニ屬スル財産ヲ町内會部落會ニ移ス場合ニ於ケル市町村若ハ町内會部落會ノ權利ノ取得又ハ其ノ市町村若ハ町内會部落會ニ所有權ヲ移スニ付爲ス所有權ノ保存ノ登記又ハ登録

同條第五號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

五ノ二 町内會部落會ノ財産ニシテ個人名義若ハ共有名義ノモノヲ町内會部落會ノ名義ニ移ス場合ニ於ケル町内會部落會ノ權利ノ取得又ハ其ノ町内會部落會ノ名義ニ移スニ付爲ス所有權ノ保存ノ登記又ハ登録

同條第六號中「市町村若ハ市町村ノ一部」及「市町村又ハ其ノ一部」ヲ各「市町村、町内會部落會又ハ市町村ノ一部」ニ改ム

樺太市制ハ之ヲ廢止ス但シ同法廢止前同法第三條第六項中罰則ニ關スル規定ヲ適用スベカリシ行爲ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

本法施行ニ關シ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

### ●町村制

(明治四十四年四月七日法律第六十九號)

改正 大正十年四月法律第五十九號、大正十五年六月法律第七十五號、昭和四年四月法律第五十七號、昭和十年七月法律第四十六號、昭和十五年三月法律第六十四號、昭和十八年三月法律第八十一號

#### 第一章 總 則

第一款 町村及其ノ區域

第二款 町村住民及其ノ權利義務

第三款 町村條例及町村規則

#### 第二章 町 村 會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限

#### 第三章 町村吏員

第一款 組織選舉及任免

第二款 職務權限

第四章 給料及給與

第五章 町村ノ財務

    第一款 財産營造物及町村稅

    第二款 歳入出豫算及決算

第六章 町村ノ一部ノ事務

第七章 町村組合

第八章 町村ノ監督

第九章 雜則

町村制

第一章 總則

第一款 町村及其ノ區域

第一條 町村ハ從來ノ區域ニ依ル

第二條 町村ハ法人トス官ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務及法令並從來法令又

ハ從來ノ慣例ニ依リ……………町村ニ屬スル事務ヲ處理ス

又ハ慣例ニ依リ及將來法律勅令ニ依リ

第三條 町村ノ廢置分合又ハ境界變更ヲ爲サムトスルトキハ府縣知事ハ關係アル市

町村會ノ意見ヲ徵シ……………内務大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム所屬未定地ヲ

府縣參事會ノ議決ヲ經

町村ノ區域ニ編入セムトスルトキ亦同シ

2 前項ノ場合ニ於テ財産アルトキハ其ノ處分ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シ……………

府縣參

……………テ府縣知事之ヲ定ム

事會ノ議決ヲ經

町村制 第一章 總則 第一款 町村及其ノ區域

3 府縣ノ境界ニ涉リテ町村ノ境界ノ變更ヲ爲サントスルトキハ關係アル市町村會及府縣參事會ノ意見ヲ徵シテ內務大臣之ヲ定ム

4 前項ノ場合ニ於テ財產アルトキハ其ノ處分ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シテ內務大臣之ヲ定ム

5 第一項ノ場合ニ於テ市ノ廢置分合ヲ伴フトキハ市制第三條ノ規定ニ依ル

第四條 町村ノ境界ニ關スル爭論ハ府縣知事之ヲ裁定ス其ノ裁定ニ不服アル町村ハ

內務大臣ニ訴願スルコトヲ得  
行政裁判所ニ出訴

2 町村ノ境界判明ナラサル場合ニ於テ前項ノ爭論ナキトキハ府縣知事之ヲ決定スベシ  
其ノ決定ニ不服アル町村ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得  
行政裁判所ニ出訴

3 府縣ノ境界ニ涉リテ前二項ノ場合ヲ生ジタルトキハ關係アル府縣知事ニ於テ協議ノ上之ヲ裁定又ハ決定スベシ協議調ハザルトキハ內務大臣之ヲ裁定又ハ決定ス

4 前三項ノ裁定及決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ關係町村ニ交付ス  
第一項ノ裁定及前項ノ決定

ヘシ

4 第一項ノ裁定及第二項ノ決定ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第五條 町村ノ名稱ヲ變更セムトスルトキ、村ヲ町ト爲シ若ハ町ヲ村ト爲サムトスルトキ又ハ町村役場ノ位置ヲ定メ若ハ之ヲ變更セムトスルトキハ町村ハ町村會ノ議決ヲ經テ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

第二款 町村住民及其ノ權利義務

第六條 町村内ニ住所ヲ有スル者ハ其ノ町村住民トス

2 町村住民ハ本法ニ從ヒ町村ノ財產及營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ町村ノ負擔ヲ分任スル義務ヲ負フ

第七條 帝國臣民タル年齡二十五年以上ノ男子ニシテ二年以來町村住民タル者ハ其ノ町村公民トス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス

- 一 禁治產者及準禁治產者
- 二 破產者ニシテ復權ヲ得サル者
- 三 貧困ニ因リ生活ノ爲公私ノ救助ヲ受ケ又ハ扶助ヲ受クル者
- 四 一定ノ住居ヲ有セサル者

- 五 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
- 六 刑法第二編第一章、第三章、第九章、第十六章乃至第二十一章、第二十五章又ハ第三十六章乃至第三十九章ニ掲クル罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル後其ノ刑期ノ二倍ニ相當スル期間ヲ經過スルニ至ル迄ノ者但シ其ノ期間五年ヨリ短キトキハ五年トス
- 七 六年未滿ノ禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ前號ニ掲クル罪以外ノ罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者
- 2 町村ハ町村會ノ議決ヲ經テ前項二年ノ制限ヲ特免スルコトヲ得
- 3 第一項二年ノ期間ハ市町村ノ廢置分合又ハ境界變更ノ爲中斷セラルルコトナシ
- 第八條 町村公民ハ町村ノ選舉ニ參與シ町村ノ名譽職ニ就ク權利：ヲ有シ町村ノ名譽職ヲ擔任スル義務ヲ負フ
- 2 左ノ各號ノ一ニ該當セサル者ニシテ名譽職ニ就クコトヲ辭シ又ハ其ノ職ヲ辭シ若ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セサルトキハ町村ハ町村會ノ議決ヲ經テ一年以上四年以下其ノ町村公民權ヲ停止スルコトヲ得

名譽職ニ選舉セラルル權利

名譽職ノ當選

- 一 疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサル者
- 二 業務ノ爲常ニ町村内ニ居ルコトヲ得サル者
- 三 年齡六十年以上ノ者
- 四 官公職ノ爲町村ノ公務ヲ執ルコトヲ得サル者
- 五 四年以上名譽職町村吏員、町村會議員又ハ區會議員ノ職ニ任シ爾後同一ノ期間ヲ經過セサル者
- 六 其ノ他町村會ノ議決ニ依リ正當ノ理由アリト認ムル者
- 3 前項ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 4 第二項ノ處分ハ其ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス
- 5 第三項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得
- 5 町村公民租稅滯納處分中ハ町村ノ名譽職ニ就クコトヲ得ズ
- 第九條 陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者(未タ入營セサル者及歸休下士官兵ヲ除ク)及戰時若ハ事變ニ際シ又ハ兵役法第五十五條第二項ノ規定(志願ニ依リ兵籍ニ編入セラレタル者ニ付テハ之ニ該當スル勅令ノ規定ヲ含ム)ニ依リ召集中ノ者ハ町村

ノ公務ニ參與スルコトヲ得ス兵籍ニ編入セラレタル學生生徒（勅令ヲ以テ定ムル者ヲ除ク）

及志願ニ依リ國民軍ニ編入セラレタル者

亦同シ

第三款 町村條例及町村規則

第十條 町村ハ町村住民ノ權利義務又ハ町村ノ事務ニ關シ町村條例ヲ設クルコトヲ得

2 町村ハ町村ノ營造物又ハ町村ノ事務ニ關シ町村條例ヲ以テ規定スルモノノ外町村規則ヲ設クルコトヲ得

3 町村條例及町村規則ハ一定ノ公告式ニ依リ之ヲ告示スヘシ

第二章 町村會

第一款 組織及選舉

第十一條 町村會議員ハ其ノ被選舉權アル者ニ就キ選舉人之ヲ選舉ス

2 議員ノ定數左ノ如シ

一 削除

十二人

- 三 人口五千以上一萬未滿ノ町村 十八人
- 四 人口一萬以上二萬未滿ノ町村 二十四人
- 五 人口二萬以上ノ町村 三十人

3 議員ノ定數ハ町村條例ヲ以テ特ニ之ヲ増減スルコトヲ得

4 議員ノ定數ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非サレハ之ヲ増減セス但シ著シク人口ノ増減アリタル

但シ著シク人口ノ増減アリタル

リタルトキハ町村ハ町村會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ得テ之ヲ増減スルコトヲ得

得

第十二條 町村公民ハ總テ選舉權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者又ハ第九條ノ規定ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 削除

第十四條 必要アルトキハ町村ハ區劃ヲ定メテ投票分會ヲ設クルコトヲ得

第十五條 選舉權ヲ有スル町村公民ハ被選舉權ヲ有ス

2 在職ノ檢事、警察官吏及收稅官吏ハ被選舉權ヲ有セス

3 選舉事務ニ關係アル官吏及町村ノ有給吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選舉權ヲ有

セス

4 町村ノ有給ノ吏員教員其ノ他ノ職員ニシテ在職中ノ者ハ其ノ町村ノ町村會議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

**第十六條** 町村會議員ハ名譽職トス

2 議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス

3 議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ町村長抽籤シテ之ヲ定ム但シ闕員アルトキハ其ノ闕員ヲ以テ之ニ充ツヘシ

4 前項但書ノ場合ニ於テ闕員ノ數解任ヲ要スル者ノ數ニ滿チサルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付町村長抽籤シテ解任スヘキ者ヲ定メ闕員ノ數解任ヲ要スル者ノ數ヲ超ユルトキハ解任ヲ要スル者ニ充ツヘキ闕員ハ最モ先ニ闕員ト爲リタル者ヨリ順次之ニ充テ闕員ト爲リタル時同シキトキハ町村長抽籤シテ之ヲ定ム

5 當選者中**第三十條第一項ノ事由ニ該當スル者アルトキハ前二項ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ議員ノ闕員ト看做ス**

6 議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲新ニ選舉セラレタル議員ハ總選舉ニ依リ選舉セラレタル議員ノ任期滿了ノ日迄在任ス

**第十七條**

町村會議員中闕員ヲ生ジタルトキハ其ノ闕員ト爲リタル議員ガ選舉ノ期日ヨリ一年以内ニ闕員ト爲リタル者ナル場合ニ於テ**第二十七條第一項**但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者アルトキ又ハ選舉ノ期日ヨリ一年經過後ニ於テ闕員ト爲リタル者ナル場合ニ於テ**第二十七條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者アルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ其ノ者ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムベシ**此ノ場合ニ於テハ**第三十條第四項及第五項ノ規定ヲ準用ス**

2 前項ノ規定ノ適用ヲ受クル者ナク若ハ前項ノ規定ノ適用ニ依リ當選者ヲ定ムルモ仍其ノ闕員ノ數ガ**第三十條第一項ニ謂フ當選者ノ不足數ト通ジテ議員定數ノ六分**分ノ一ヲ超ユルニ至リタルトキ又ハ町村長若ハ町村會ニ於テ必要ト認ムルトキハ補闕選舉ヲ行フベシ

ノ一ヲ超ユルニ至リタルトキ又ハ町村長若ハ町村會ニ於テ必要ト認ムルトキハ補闕選舉ヲ行フベシ此ノ場合ニ於テハ**第三十條第六項ノ規定ヲ準用ス**

3 議員ノ闕員ノ數**第三十條第一項ニ謂フ當選者ノ不足數ト通ジテ議員定數ノ六分ノ**第三十條第七項ノ規定ハ補闕選舉ニ之ヲ準用ス

一ヲ超ユルニ至ラザルモ**第三十四條第一項又ハ第三項ノ選舉ノ行ハルル場合ニ於テハ其ノ選舉ト同時ニ補闕選舉ヲ行フベシ**但シ**第三十四條第一項又ハ第三項ノ選**

舉ノ告示アリタル後議員中關員ヲ生ジタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

4 第三十條第八項ノ規定ハ前項ノ補闕選舉ニ之ヲ準用ス

5 補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

第十七條ノ二 町村會議員ノ選舉ハ其ノ町村ニ於ケル衆議院議員選舉人名簿中其ノ名簿調製期日ニ於テ町村會議員ノ選舉權ヲ有スル者ニ關スル部分（以下衆議院議員選舉人名簿中關係部分ト稱ス）及補充選舉人名簿ニ依リ之ヲ行フ

2 町村會議員ノ選舉權ヲ有スル者ノ年齢ハ前項ノ選舉人名簿確定ノ期日ニ依リ之ヲ算定ス

第十八條 町村長ハ毎年九月十五日ノ現在ニ依リ補充選舉人名簿ヲ調製スヘシ

選舉人名簿

2 補充選舉人名簿ニハ町村會議員ノ選舉權ヲ有スル者ニシテ其ノ町村ニ於ケル衆議院議員選舉人名簿ニ登錄セラルルコトヲ得ザルモノヲ登錄スベシ

選舉人ノ年齢ハ選舉人名簿確定ノ期日ニ依リ之ヲ算定ス

3 補充選舉人名簿ニハ選舉人ノ氏名、住所及生年月日等ヲ記載スヘシ

選舉人名簿

第十八條ノ二 町村長ハ十一月五日ヨリ十五日間町村役場又ハ其ノ指定シタル場所

ニ於テ補充選舉人名簿ヲ關係者ノ縦覽ニ供スヘシ

選舉人名簿

2 町村長ハ縦覽開始ノ日前三日目迄ニ縦覽ノ場所ヲ告示スヘシ

第十八條ノ三 補充選舉人名簿ニ脱漏又ハ誤載アリト認ムルトキハ關係者ハ其ノ名

選舉人名簿ニ關シ關係者ニ於テ異議アルトキハ縦覽期間内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコト

簿ノ縦覽期間内ニ町村長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得衆議院議員選舉人名簿中關

チ得此ノ場合ニ於テハ町村長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定シ名簿ノ修正ヲ要スルトキ

係部分ニ脱漏又ハ誤載アリト認ムルトキ亦同ジ

ハ直ニ之ヲ修正スベシ

2 前項ノ場合ニ於テハ町村長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ決定ス

前項ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

ベシ

3 前項ノ規定ニ依リ決定ヲ爲シタル場合ニ於テ町村長ハ補充選舉人名簿ノ修正ヲ要

前項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

スルトキハ直ニ之ヲ修正シ衆議院議員選舉人名簿中關係部分ニ脱漏アリトスルトキハ補充選舉人名簿ニ登錄シ（其ノ名簿ナキトキハ其ノ者ニ關シ其ノ名簿ヲ作製シ）誤載アリトスルトキハ衆議院議員選舉人名簿中關係部分ニ其ノ旨ヲ表示スベシ

シ

4 第二項ノ決定ニ不服アル者ハ決定アリタル日ヨリ七日以内ニ府縣知事ニ訴願シ其第一項ノ規定ニ依リ決定ヲ爲シタルトキハ町村長ハ直ニ其ノ要領ヲ告示スベシ同項ノ規定ニ依リ名簿ヲ修正ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得シタルトキ亦同シ

5 第二項ノ規定ニ依リ決定ヲ爲シタルトキハ町村長ハ直ニ其ノ要領ヲ告示スベシ第三項ノ規定ニ依リ處置ヲ爲シタルトキ亦同シ

第十八條ノ四 補充選舉人名簿ハ十二月二十日ヲ以テ確定ス

選舉人名簿ハ十二月二十五日ヲ以テ確定ス

2 補充選舉人名簿ハ次年ノ十二月十九日迄之ヲ据置クベシ

選舉人名簿ハ次年ノ十二月二十四日迄之ヲ据置クベシ

3 前條第四項ノ場合ニ於テ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ補充選舉人名簿ノ修正ヲ要スルトキハ町村長ハ直ニ其ノ要領ヲ告示スベシ又ハ町村長ハ直ニ其ノ要領ヲ告示スベシ

シ處置ヲ要スルトキハ町村長ハ直ニ前條第三項ノ規定ニ準ジ處置スベシ

4 前項ノ規定ニ依リ修正又ハ處置ヲ爲シタルトキハ町村長ハ直ニ其ノ要領ヲ告示ス前項ノ規定ニ依リ名簿ヲ修正シタルトキハ町村長ハ直ニ其ノ要領ヲ告示スベシ

ベシ

5 投票分會ヲ設クル場合ニ於テ必要アルトキハ町村長ハ確定名簿ニ依リ分會ノ區劃投票分會ヲ設クル場合ニ於テ必要アルトキハ町村長ハ確定名簿ニ依リ分會ノ區劃毎ニ名簿ノ抄本ヲ調製スベシ

第十八條ノ五

天災事變等ノ爲必要アルトキハ更ニ名簿ヲ調製スベシ(舊二項)

第十八條ノ三ノ場合ニ於テ決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ選舉人名簿無效ト

爲リタルトキハ更ニ名簿ヲ調製スベシ

2 前項ノ名簿ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

前二項ノ規定ニ依リ名簿ノ調製、變更、確定及異議ノ決定ニ關スル期日及期間ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依ル

3 町村ノ廢置分合又ハ境界變更アリタル場合ニ於テ名簿ニ關シ其ノ分合其ノ他必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十九條 町村長ハ選舉ノ期日前七日目迄ニ選舉會場(投票分會場ヲ含ム以下之ニ

同シ)、投票ノ日時及選舉スヘキ議員數ヲ告示スヘシ投票分會ヲ設クル場合ニ於テハ併セテ其ノ區劃ヲ告示スヘシ

2 投票分會ノ投票ハ選舉會ト同日時ニ之ヲ行フ



3 天災事變等ノ爲投票ヲ行フコト能ハサルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ町村長ハ其ノ投票ヲ行フヘキ選舉會又ハ投票分會ノミニ付更ニ期日ヲ定メ投票ヲ行ハシムヘシ此ノ場合ニ於テ選舉會場及投票ノ日時ハ選舉ノ期日前五日目迄ニ之ヲ告示スヘシ

第十九條ノ二 議員候補者タラントスル者ハ選舉ノ期日ノ告示アリタル日ヨリ選舉ノ期日前二日目迄ニ其ノ旨ヲ町村長ニ届出ツベシ

2 選舉人名簿ニ登録セラレタル者他人ヲ議員候補者ト爲サントスルトキハ前項ノ期間内ニ其ノ推薦ノ届出ヲ爲スコトヲ得

3 議員候補者ハ町村長ニ届出ヲ爲スニ非ザレバ議員候補者タルコトヲ辭スルコトヲ得ズ

4 前三項ノ届出アリタルトキ又ハ議員候補者ノ死亡シタルコトヲ知りタルトキハ町村長ハ直ニ其ノ旨ヲ告示スベシ

第二十條 町村長ハ選舉長ト爲リ選舉會ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス

2 町村長ハ選舉人名簿ニ登録セラレタル者ノ中ヨリ二人乃至四人ノ選舉立會人ヲ選任スヘシ

3 投票分會ハ町村長ノ指名シタル吏員投票分會長ト爲リ之ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス

4 町村長ハ分會ノ區劃内ニ於ケル選舉人名簿ニ登録セラレタル者ノ中ヨリ二人乃至四人ノ投票立會人ヲ選任スヘシ

5 選舉立會人及投票立會人ハ名譽職トス

第二十一條 選舉人ニ非サル者ハ選舉會場ニ入ルコトヲ得ス但シ選舉會場ノ事務ニ従事スル者、選舉會場ヲ監視スル職權ヲ有スル者又ハ警察官吏ハ此ノ限ニ在ラス

2 選舉會場ニ於テ演説討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他選舉會場ノ秩序ヲ紊ス者アルトキハ選舉長又ハ投票分會長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ選舉會場外ニ退出セシムヘシ

3 前項ノ規定ニ依リ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ選舉長又ハ投票分會長會場ノ秩序ヲ紊スノ虞ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲ爲サシムルヲ妨ケス

第二十二條 選舉ハ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ

2 投票ハ一人一票ニ限ル

3 選舉人ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ選舉會場ニ到リ選舉人名簿又ハ其ノ抄本ノ

對照ヲ經テ投票ヲ爲スヘシ

4 投票時間内ニ選舉會場ニ入りタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過クルモ投票ヲ爲スコトヲ得

5 選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ議員候補者一人ノ氏名ヲ記載シテ投函ス

被選舉人

ヘシ

6 投票ニ關スル記載ニ付テハ勅令ヲ以テ定ムル點字ハ之ヲ文字ト看做ス

7 自ラ議員候補者ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

被選舉人

8 投票用紙ハ町村長ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用ウヘシ

9 投票分會ニ於テ爲シタル投票ハ投票分會長少クトモ一人ノ投票立會人ト共ニ投票函ノ儘之ヲ選舉長ニ送致スヘシ

第二十二條ノ二 確定名簿ニ登録セラレサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ登録セラレヘキ確定裁決書又ハ判決書ヲ所持シ選舉ノ當日選舉會場ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラス

2 確定名簿ニ登録セラレタル者選舉人名簿ニ登録セラレルコトヲ得サル者ナルトキ

ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス選舉ノ當日選舉權ヲ有セサル者ナルトキ亦同シ

第二十二條ノ三 投票ノ拒否ハ選舉立會人又ハ投票立會人之ヲ決定ス可否同數ナル

トキハ選舉長又ハ投票分會長之ヲ決スヘシ

2 投票分會ニ於テ投票拒否ノ決定ヲ受ケタル選舉人不服アルトキハ投票分會長ハ假ニ投票ヲ爲サシムヘシ

3 前項ノ投票ハ選舉人ヲシテ之ヲ封筒ニ入レ封緘シ表面ニ自ラ其ノ氏名ヲ記載シ投函セシムヘシ

4 投票分會長又ハ投票立會人ニ於テ異議アル選舉人ニ對シテモ亦前二項ニ同シ

第二十二條ノ四 選舉人ニシテ勅令ノ定ムル事由ニ因リ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ選舉會場ニ到リ投票ヲ爲シ能ハザルベキコトヲ證スル者ノ投票ニ關シテハ第二十二條第三項及第五項、第二十二條ノ二第一項但書並ニ前條ノ規定ニ拘ラズ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第二十三條 第三十條若ハ第三十四條ノ選舉、増員選舉又ハ補闕選舉ヲ同時ニ行フ場合ニ於テハ一ノ選舉ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ

第二十四條 町村長ハ豫メ開票ノ日時ヲ告示スヘシ

第二十四條ノ二

開票ハ投票ノ日又ハ其ノ翌日（投票分會ヲ設ケタルトキハ總テノ選舉長ハ投票ノ日又ハ其ノ翌日（投票分會ヲ設ケタルトキハ總テノ投票函ノ送致ヲ受

投票函ノ送致ヲ受ケタル日又ハ其ノ翌日）之ヲ行フ

ケタル日又ハ其ノ翌日）選舉立會人立會ノ上投票函ヲ開キ投票ノ總數ト計算スヘシ

2 選舉長ハ選舉立會人立會ノ上投票函ヲ開キ先ツ第二十二條ノ三第二項及第四項ノ前項ノ計算終リタルトキハ選舉長ハ

投票ヲ調査スヘシ其ノ投票ノ受理如何ハ選舉立會人之ヲ決ス可否同數ナルトキハ選舉長之ヲ決スヘシ

3 選舉長ハ選舉立會人ト共ニ投票ヲ點檢スヘシ

4 天災事變等ノ爲開票ヲ行フコト能ハサルトキハ町村長ハ更ニ開票ノ期日ヲ定ムヘシ此ノ場合ニ於テ選舉會場ノ變更ヲ要スルトキハ豫メ更ニ其ノ場所ヲ告示スヘシ

第二十四條ノ三 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得但シ開票開始前ハ此ノ限ニ在ラス

第二十四條ノ四 特別ノ事情アルトキハ町村ハ府縣知事ノ許可ヲ得區劃ヲ定メテ開票分會ヲ設クルコトヲ得

2 前項ノ規定ニ依リ開票分會ヲ設クル場合ニ於テ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定

第二十五條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

左ノ投票ハ之ヲ無効トス

一 成規ノ用紙ヲ用ヒザルモノ

二 議員候補者ニ非ザル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ  
現ニ町村會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

三 一投票中二人以上ノ議員候補者ノ氏名ヲ記載シタルモノ  
一投票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ

四 被選舉權ナキ議員候補者ノ氏名ヲ記載シタルモノ  
被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ

五 議員候補者ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタルモノ但シ爵位、職業、身分、住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

六 議員候補者ノ氏名ヲ自書セザルモノ  
被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

七 議員候補者ノ何人ヲ記載シタルカヲ確認シ難キモノ  
被選舉人ノ氏名ヲ自書セサルモノ

八 町村會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

第二十六條 投票ノ效力ハ選舉立會人之ヲ決定ス可否同數ナルトキハ選舉長之ヲ決  
スヘシ

第二十七條 町村會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但  
シ議員ノ定數ヲ以テ有效投票ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ六分ノ一以上ノ得票アル  
コトヲ要ス

2 前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同シキトキハ年長者ヲ取り年齡  
同シキトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ムヘシ

第二十七條ノ二 當選者選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セサルニ至リタルトキハ  
當選ヲ失フ

第二十七條ノ三 第十九條ノ二第一項及第二項ノ規定ニ依ル届出アリタル議員候補  
者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ヲ超エザルトキハ投票ヲ行ハズ

2 前項ノ規定ニ依リ投票ヲ行フコトヲ要セザルトキハ町村長ハ直ニ其ノ旨ヲ告示ス

ベシ

3 第一項ノ場合ニ於テハ選舉長ハ選舉ノ期日ヨリ五日以内ニ選舉會ヲ開キ議員候補  
者ヲ以テ當選者ト定ムベシ

4 前項ノ場合ニ於テ議員候補者ノ被選舉權ノ有無ハ選舉立會人之ヲ決定ス可否同數  
ナルトキハ選舉長之ヲ決スベシ

5 第三項ノ場合ニ於テハ町村長ハ豫メ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スベシ

第二十八條 選舉長ハ選舉錄ヲ作り選舉會ニ關スル顛末ヲ記載シ……………二人以上  
ノ選舉立會人ト共ニ之ニ署名スヘシ  
之ヲ朗讀シ

2 投票分會長ハ投票錄ヲ作り投票ニ關スル顛末ヲ記載シ……………二人以上ノ投票立  
會人ト共ニ之ニ署名スヘシ  
之ヲ朗讀シ

3 投票分會長ハ投票函ト同時ニ投票錄ヲ選舉長ニ送致スヘシ

4 選舉錄及投票錄ハ投票、選舉人名簿其ノ他ノ關係書類ト共ニ議員ノ任期間町村長  
ニ於テ之ヲ保存スヘシ

第二十九條 當選者定マリタルトキハ町村長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時  
ニ當選者ノ住所氏名ヲ告示シ且選舉錄ノ寫(投票錄アルトキハ併セテ投票錄ノ寫)

ヲ添へ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ當選者ナキトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且選舉錄ノ寫(投票錄アルトキハ併セテ投票錄ノ寫)ヲ添へ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

2 當選者當選ヲ辭セムトスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツヘシ

3 官吏ニシテ當選シタル者ハ所屬長官ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ニ應スルコトヲ得ス

4 前項ノ官吏ハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ニ應スヘキ旨ヲ町村長ニ申立テサルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

5 町村ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ町村ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付町村長若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者若ハ其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人ニシテ當選シタル者ハ其ノ請負ヲ罷メ又ハ請負ヲ爲ス者ノ支配人若ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員若ハ支配人タルコトナキニ至ルニ非サレハ當選ニ應スルコトヲ得ス第二項ノ期限前ニ其ノ旨ヲ町村長ニ申立テサルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

6 前項ノ役員トハ取締役、監查役及之ニ準スヘキ者並清算人ヲ謂フ

第三十條

當選者左ニ掲クル事由ノ一ニ該當スル場合ニ於テ第二項若ハ第三項ノ規定ノ適用ヲ受ケル者ナク又ハ第二項若ハ第三項ノ規定ノ適用ニ依リ當選者ヲ定ム

項又ハ第三項ノ規定ニ依リ更ニ選舉ヲ行フコトヲクシテ當選者ヲ定ム得ル場合ハ此ノ限ニ在ラス

ルモ仍當選者ノ不足數ガ第十七條第二項ニ謂フ議員ノ數ト通ジテ議員定數ノ六分ノ一ヲ超ユルニ至リタルトキ又ハ町村長若ハ町村會ニ於テ必要ト認ムルトキハ更ニ選舉ヲ行フベシ

一 當選ヲ辭シタルトキ

二 第二十七條ノ二ノ規定ニ依リ當選ヲ失ヒタルトキ

三 死亡者ナルトキ

四 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ當選無効ト爲リタルトキ但シ同一人ニ關シ前各號ノ事由ニ依ル選舉又ハ補闕選舉ノ告示ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

2 前項第一號乃至第三號ノ事由ヲ生ジタル場合ニ於テ第二十七條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者アルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ其ノ者ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムベシ

3 第一項第四號ノ事由ヲ生ジタルトキハ其ノ選舉ノ期日ヨリ一年以内ナル場合ニ於テ第二十七條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者アルトキ又ハ其ノ選舉ノ期日ヨリ一年經過後ナル場合ニ於テ第二十七條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者アルトキハ前項ノ規定ヲ準用ス

4 前二項ノ場合ニ於テ第二十七條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セサルニ至リタルトキハ之ヲ當選者ト定ムルコトヲ得ス

5 第二項及第三項ノ場合ニ於テハ町村長ハ豫メ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スヘシ

6 第一項ノ期間ハ第三十三條第八項ノ規定ノ適用アル場合ニ於テハ選舉ヲ行フコトヲ得サル事由已ミタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス

6 第一項ノ事由議員ノ任期滿了前六月以内ニ生ジタルトキハ第一項ノ選舉ハ之ヲ行ハス但シ議員ノ數其ノ定數ノ三分ノ二ニ滿チサルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

7 當選者ノ不足數第十七條第二項ニ謂フ議員ノ數ト通ジテ議員定數ノ六分ノ一ヲ超ユルニ至ラザルモ第三十四條第一項又ハ第三項ノ選舉ノ行ハルル場合ニ於テハ其ノ選舉ト同時ニ更ニ選舉ヲ行フベシ但シ第三十四條第一項又ハ第三項ノ選

舉ノ告示アリタル後第一項ノ事由ヲ生ジタルトキハ此ノ限ニ在ラス

8 前項ノ規定ニ依リ行フ選舉ノ期日ハ第三十四條第一項又ハ第三項ノ選舉ノ期日ニ依ル

第三十一條 第二十九條第二項ノ期間ヲ經過シタルトキ又ハ同條第四項ノ申立アリタルトキハ町村長ハ直ニ當選者ノ住所氏名ヲ告示シ併セテ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

2 當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルニ至リタルトキハ町村長ハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ併セテ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

第三十二條 選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞アル場合ニ限リ其ノ選舉ノ全部又ハ一部ヲ無効トス但シ當選ニ異動ヲ生スルノ虞ナキ者ヲ區分シ得ルトキハ其ノ者ニ限リ當選ヲ失フコトナシ

第三十三條 選舉人又ハ議員候補者選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ當選ニ關シテハ第二十九條第一項又ハ第三十一條第二項ノ告示ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スベシ

ハ七日以内ニ町村會ノ決定ニ付スヘシ町村會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ

2 前項ノ決定ニ不服アルトキハ府縣知事ニ訴願スルコトヲ得

府縣參事會

3 府縣知事ハ選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ第二十九條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ、當選ニ關シテハ第二十九條第一項又ハ第三十一條第二項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ決定スルコトヲ得

府縣參事會ノ決定ニ付スルコトヲ得

4 前項ノ決定アリタルトキハ同一事件ニ付爲シタル異議ノ申立及町村長ノ決定ハ無効トス

町村會

5 第二項…………ノ裁決又ハ第三項ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

若ハ第六項

6 第一項ノ決定ニ付テハ町村長ヨリモ訴願ヲ提起スルコトヲ得

7 第二項若ハ前項ノ裁決又ハ第三項ノ決定ニ付テハ府縣知事又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

6 第十七條、第三十條、第三十四條第一項若ハ第三項又ハ第三十四條ノ二ノ選舉ハ之ニ關係アル選舉又ハ當選ニ關スル異議申立期間、異議ノ決定若ハ訴願ノ裁決確

又ハ第三十四條第一項若ハ第三項

定セサル間又ハ訴訟ノ繫屬スル間之ヲ行フコトヲ得ス

7 町村會議員ハ選舉又ハ當選ニ關スル決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第三十四條 選舉無効ト確定シタルトキハ三月以内ニ更ニ選舉ヲ行フヘシ

2 當選無効ト確定シタルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ更ニ當選者ヲ定ムヘシ此ノ場合ニ於テハ第三十條第四項及第五項ノ規定ヲ準用ス

3 當選者ナキトキ、當選者ナキニ至リタルトキ又ハ當選者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルトキ若ハ定數ニ達セサルニ至リタルトキハ三月以内ニ更ニ選舉ヲ行フヘシ

4 第三十條第六項…………ノ規定ハ第一項及前項ノ選舉ニ之ヲ準用ス

及第七項

5 第一項及第三項ノ期間ハ前條第六項ノ規定ノ適用アル場合ニ於テハ選舉ヲ行フコトヲ得ザル事由已ミタル日ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス

第三十四條ノ二 左ニ掲グル事由アル場合ニ於テ議員又ハ當選者總テナキトキハ第十七條、第三十條又ハ前條第一項若ハ第三項ノ規定ニ拘ラズ總選舉ヲ行フ但シ左ニ掲グル事由ニ關シ此等ノ規定ニ依ル選舉ノ告示又ハ第三十條第五項若ハ第十七

條第一項ノ規定ニ依ル告示ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一 議員中關員ヲ生ジタルトキ

二 當選者中第三十條第一項ノ事由ニ該當スル者アルトキ

三 前條第一項又ハ第三項ノ規定ニ該當スル事由アルトキ

2 前項ノ選舉ハ其ノ事由ヲ生ジタル日ヨリ三月以内ニ之ヲ行フベシ此ノ場合ニ於テハ前條第五項ノ規定ヲ準用ス

第三十五條

町村會議員被選舉權ヲ有セサル者ナルトキ又ハ第二十九條第五項ニ掲クル者ナルトキハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ノ有無又ハ第二十九條第五項ニ掲クル者ニ該當スルヤ否ハ町村會議員カ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ因リ被選舉權ヲ有セサル場合ヲ除クノ外町村會之ヲ決定ス

一 禁治産者又ハ準禁治産者ト爲リタルトキ

二 破産者ト爲リタルトキ

三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

四 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ罰金ノ刑ニ處セラレタルトキ

2 町村長ハ町村會議員中被選舉權ヲ有セサル者又ハ第二十九條第五項ニ掲クル者ア

リト認ムルトキハ之ヲ町村會ノ決定ニ付スヘシ町村會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ

3 第一項ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決

府縣知事

又ハ第四項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

4 第一項ノ決定……………ニ付テハ町村長ヨリモ訴願……………ヲ提起スルコトヲ得

及前項ノ裁決

又ハ訴訟

5 前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

5 第三十三條第七項ノ規定ハ第一項及前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九項

前三項

6 第一項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スヘシ

第三十六條 第十八條ノ三ノ場合ニ於テ府縣知事裁決ヲ爲シタルトキ又ハ第三十三

第十八條ノ三及第三十三條ノ場合ニ於テ府縣知事會ノ決定及裁決ハ府縣知事、町村會ノ決定

條ノ場合ニ於テ町村長決定ヲ爲シ若ハ府縣知事裁決若ハ決定ヲ爲シタルトキハ直

ハ町村長直ニ之ヲ告示スヘシ

ニ其ノ要領ヲ告示スベシ

第三十六條ノ二 町村會議員ノ選舉ニ付テハ衆議院議員選舉法第九十一條、第九十



二條、第九十五條ノ二、第九十八條、第九十九條第二項、第百條、第百條ノ二、第百四十二條及第百四十七條ノ規定ヲ準用ス

第三十七條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル勅令ニ依リ設置スル議會ノ議員ノ選舉ニ付テハ衆議院議員選舉ニ關スル罰則ヲ準用ス

第三十八條 特別ノ事情アル町村ニ於テハ府縣知事ハ其ノ町村ヲシテ町村會ヲ設ケス選舉權ヲ有スル町村公民ノ總會ヲ以テ之ニ充テシムルコトヲ得

2 町村總會ニ關シテハ町村會ニ關スル規定ヲ準用ス

第二款 職務權限

第三十九條 削除

町村會ハ町村ニ關スル事件及法律勅令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事件ヲ議決ス

第四十條 町村會ノ議決スベキ事件左ノ如シ

町村會ノ議決スベキ事件ノ概目左ノ如シ

一 町村條例ヲ設ケ又ハ改廢スルコト

町村條例及町村規則ヲ設ケ又ハ改廢スル事

二 歳入出豫算ヲ定ムルコト

町村費ヲ以テ支辨スベキ事業ニ關スル事但シ第七十七條ノ事務及法律勅令ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

三 決算報告ヲ認定スルコト

歳入出豫算ヲ定ムル事

四 法令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手数料、加入金、町村税、分擔金又ハ夫役現品ノ賦課徴收ニ關スル事

決算報告ヲ認定スル事

夫役現品ノ賦課徴收ニ關スルコト

五 財産ノ取得、管理及處分並ニ町村費ヲ以テ支辨スベキ工事ノ執行ニ關スル町

村規則ヲ設ケ又ハ改廢スルコト但シ法令ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

スル事

六 基本財産及積立金穀等ノ設置及處分ニ關スルコト

六 不動産ノ管理處分及取得ニ關スル事

七 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄

基本財産及積立金穀等ノ設置管理及處分ニ關スル事

ヲ爲スコト

八 財産及營造物ノ管理ニ關スル町村規則ヲ設ケ又ハ改廢スルコト但シ法令ニ規

定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

九 町村吏員ノ身元保證ニ關スルコト

財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事但シ法律勅令ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

町村制 第二章 町村會 第二款 職務權限

十 町村ニ係ル訴訟、訴訟及和解ニ關スルコト

町村吏員ノ身元保證ニ關スル事

十一 其ノ他法令ニ依リ町村會ノ權限ニ屬スル事項

十一 町村ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事

第四十一條 町村會ハ法令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル選舉ヲ行フヘシ

法律勅令

第四十二條 町村會ハ町村ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ町村長ノ報告ヲ請求シテ事務ノ管理、議決ノ執行及出納ヲ檢査スルコトヲ得

2 町村會ハ職員中ヨリ委員ヲ選舉シ町村長又ハ其ノ指名シタル吏員立會ノ上實地ニ就キ前項町村會ノ權限ニ屬スル事件ヲ行ハシムルコトヲ得

第四十三條 町村會ハ町村ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ關係行政廳ニ提出スルコトヲ得

第四十四條 町村會ハ行政廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

2 町村會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スヘキ場合ニ於テ町村會成立セス、招集ニ應セス若ハ意見ヲ提出セス又ハ町村會ヲ招集スルコト能ハサルトキハ當該行政廳ハ其ノ意見ヲ俟タスシテ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十五條 町村會ハ町村長ヲ以テ議長トス町村長故障アルトキハ其ノ代理者議長ノ職務ヲ代理ス町村長及其ノ代理者共ニ故障アルトキハ臨時ニ職員中ヨリ假議長ヲ選舉スヘシ

2 前項假議長ノ選舉ニ付テハ年長ノ議員議長ノ職務ヲ代理ス年齢同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

3 特別ノ事情アル町村ニ於テハ第一項ノ規定ニ拘ラス町村條例ヲ以テ町村會ノ選舉ニ依ル議長及其ノ代理者一人ヲ置クコトヲ得此ノ場合ニ於テハ市制第四十八條及第四十九條ノ規定ヲ準用ス

第四十六條 町村長及其ノ委任又ハ囑託ヲ受ケタル者ハ會議ニ列席シテ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ス

2 前項ノ列席者發言ヲ求ムルトキハ議長ハ直ニ之ヲ許スヘシ但シ之カ爲議員ノ演說ヲ中止セシムルコトヲ得ス

第四十七條 町村會ハ町村長之ヲ招集ス議員定數ノ三分ノ一以上ヨリ會議ニ付スベキ事件ヲ示シテ町村會招集ノ請求アルトキハ町村長ハ之ヲ招集スヘシ

2 町村長ハ會期ヲ定メテ町村會ヲ招集スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ必要アリト認ム

ルトキハ町村長ハ更ニ期限ヲ定メ町村會ノ會期ヲ延長スルコトヲ得  
3 招集及會議ノ事件ハ開會ノ日前三日目迄ニ之ヲ告知スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

4 町村會開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ町村長ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得會議ニ付スル日前三日目迄ニ告知ヲ爲シタル事件ニ付亦同シ  
5 町村會ハ町村長之ヲ開閉ス

第四十八條 町村會ハ議員定數ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ第五十條ノ除斥ノ爲半數ニ滿タサルトキ、同一ノ事件ニ付招集再回ニ至ルモ仍半數ニ滿タサルトキ又ハ招集ニ應スルモ出席議員定數ヲ闕キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ仍半數ニ滿タサルトキ若ハ半數ニ滿ツルモ其ノ後半數ニ滿タザルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十九條 町村會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可非同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

2 議長ハ其ノ職務ヲ行フ場合ニ於テモ之カ爲議員トシテ議決ニ加ハルノ權ヲ失ハス  
第五十條 議長及議員ハ自己又ハ父母、祖父母、妻、子孫、兄弟姉妹ノ一身上ニ關

スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス但シ町村會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第五十一條 法令ニ依リ町村會ニ於テ行フ選舉ニ付テハ第二十二條、第二十五條及第二十七條第一項ノ規定ヲ準用ス其ノ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ町村會之ヲ決定ス

2 前項ノ選舉ニ於テ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同ジキトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム

3 町村會ハ議員中異議ナキトキハ第一項ノ選舉ニ付指名推選ノ法ヲ用フルコトヲ得  
4 指名推選ノ法ヲ用フル場合ニ於テハ被指名者ヲ以テ當選者ト定ムベキヤ否ヲ會議ニ付シ議員全員ノ同意ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス  
5 一ノ選舉ヲ以テ二人以上ヲ選舉スル場合ニ於テハ被指名者ヲ區分シテ前項ノ規定ヲ適用スルコトヲ得ズ

第五十二條 町村會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス  
一 議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁止シタルトキ  
二 議員二人以上ノ發議ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ

2 前項議員ノ發議ハ討論ヲ須キス其ノ可否ヲ決スヘシ

3 第四十五條第三項ノ町村ニ於ケル町村會ノ會議ニ付テハ前二項ノ規定ニ拘ラス市制第五十六條ノ規定ヲ準用ス

第五十三條 議長ハ會議ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

2 議員定數ノ半數以上ヨリ請求アルトキハ議長ハ其ノ日ノ會議ヲ開クコトヲ要ス此ノ場合ニ於テ議長仍會議ヲ開カサルトキハ第四十五條ノ例ニ依ル

3 前項議員ノ請求ニ依リ會議ヲ開キタルトキ又ハ議員中異議アルトキハ議長ハ會議ノ議決ニ依ルニ非サレハ其ノ日ノ會議ヲ閉チ又ハ中止スルコトヲ得ス

第五十三條ノ二 町村會議員ハ町村會ノ議決スベキ事件ニ付町村會ニ議案ヲ發スルコトヲ得但シ歳入出豫算ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

2 前項ノ規定ニ依ル發案ハ議員三人以上ヨリ文書ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第五十三條ノ三 町村會ハ歳入出豫算ニ付増額シテ之ヲ議決スルコトヲ得ズ

第五十四條 議員ハ選舉人ノ指示又ハ委囑ヲ受クヘカラス

2 議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用キ又ハ他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ス

第五十五條 會議中本法又ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ス議員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ又ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハサルトキハ當日ノ會議ヲ終ル迄發言ヲ禁止シ又ハ議場外ニ退去セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

2 議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉ツルコトヲ得

第五十六條

傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騒ニ涉リ其ノ他會議ノ妨害ヲ爲ストキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

2 傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第五十七條 町村會ニ書記ヲ置キ議長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ處理セシム

議長ニ隸屬シテ

2 書記ハ第七十一條ノ吏員ノ中ニ就キ町村長之ヲ命ズ

議長之ヲ任免ス

第五十八條 議長ハ書記ヲシテ會議錄ヲ調製シ會議ノ顛末及出席議員ノ氏名ヲ記載

セシムヘシ

2 會議録ハ議長及議員二人以上之ニ署名スルコトヲ要ス其ノ議員ハ町村會ニ於テ之ヲ定ムヘシ

3 第四十五條第三項ノ町村ニ於ケル町村會ノ會議ニ付テハ市制第六十二條第三項ノ規定ヲ準用ス

第五十九條 町村會ハ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設クヘシ

2 會議規則ニハ本法及會議規則ニ違反シタル議員ニ對シ町村會ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止スル規定ヲ設クルコトヲ得

### 第三章 町村吏員

#### 第一款 組織選舉及任免

第六十條 町村ニ町村長及助役一人ヲ置ク但シ町村條例ヲ以テ助役ノ定數ヲ増加スルコトヲ得

第六十一條 町村長及助役ハ名譽職トス

2 町村ハ町村條例ヲ以テ町村長又ハ助役ヲ有給ト爲スコトヲ得

第六十二條 町村長及助役ノ任期ハ四年トス

第六十三條 町村長ハ町村會ニ於テ之ヲ選舉シ府縣知事ノ認可ヲ受ケベシ

町村長ハ町村會ニ於テ之ヲ選舉ス

2 町村長ノ在職中ニ於テ行フ後任町村長ノ選舉ハ現任町村長ノ任期滿了ノ日前二十日以内又ハ現任町村長ノ退職ノ申立アリタル場合ニ於テ其ノ退職スベキ日前二十日以内ニ非ザレバ之ヲ行フコトヲ得ズ

3 第一項ノ選舉ニ於テ當選者定マリタルトキハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知スベシ  
4 町村長ニ當選シタル者當選ノ告知ヲ受ケタルトキハ其ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ其ノ當選ニ應ズルヤ否ヲ申立ツベシ其ノ期間内ニ當選ニ應ズル旨ノ申立ヲ爲サザルトキハ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

5 第二十九條第三項ノ規定ハ町村長ニ當選シタル者ニ之ヲ準用ス

6 助役ハ府縣知事ノ認可ヲ得テ町村長之ヲ選任ス

助役ハ町村長ノ推薦ニ依リ町村會之ヲ定ム町村長職ニ在ラザルトキハ第一項ノ例ニ依ル

7 町村長ハ助役ニ付著シク其ノ在職ヲ不適當トスル事由アリト認ムルトキハ任期中第二項乃至第五項ノ規定ハ助役ニ之ヲ準用ス

ト雖モ府縣知事ノ認可ヲ得テ之ヲ解職スルコトヲ得

8 名譽職町村長及名譽職助役ハ其ノ町村民中選舉權ヲ有スル者ニ限ル  
9 有給町村長及有給助役ハ第七條第一項ノ規定ニ拘ラス在職ノ間其ノ町村ノ公民ト  
ス

第六十四條 町村長ハ其ノ退職セントスル日前三十日目迄ニ府縣知事ニ申立ツルニ

有給町村長及有給助役ハ其ノ退職セントスル日前三十日目迄ニ申立ツルニ非サレハ任期中退  
非サレバ任期中退職スルコトヲ得ズ但シ府縣知事ノ認可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ  
職スルコトヲ得ス但シ町村會ノ承認ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス  
在ラス

2 町村長ノ職務ヲ代理スル助役退職セントスルトキ亦前項ニ同ジ

3 前項ニ規定スルモノノ外助役ハ其ノ退職セントスル日前三十日目迄ニ町村長ニ申  
立ツルニ非サレバ任期中退職スルコトヲ得ズ但シ町村長ノ承認ヲ得タルトキハ此  
ノ限ニ在ラス

第六十五條 町村長及助役ハ第十五條第二項又ハ第四項ニ掲ケタル職ト兼ヌルコト  
ヲ得ス又其ノ町村ニ對シ請負ヲ爲シ又ハ其ノ町村ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付  
町村長若ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ  
同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、取締役監査役若ハ之ニ準スヘキ者、清算

人及支配人タルコトヲ得ス

第六十六條 有給町村長ハ府縣知事ノ許可ヲ受クルニ非サレハ他ノ報償アル業務ニ  
従事スルコトヲ得ス

2 有給町村長及有給助役ハ會社ノ取締役監査役若ハ之ニ準スヘキ者、清算人又ハ支  
配人其ノ他ノ事務員タルコトヲ得ス

第六十七條 町村ニ收入役一人ヲ置ク但シ特別ノ事情アル町村ニ於テハ町村條例ヲ  
以テ副收入役一人ヲ置クコトヲ得

2 收入役及副收入役ハ有給吏員トシ其ノ任期ハ四年トス

3 收入役及副收入役ハ町村會ノ同意ヲ得テ町村長之ヲ選任ス

4 第六十三條第九項、第六十五條及前條第二項ノ規定ハ收入役及副收入役ニ之ヲ準  
第六十三條第二項乃至第六項及第九項、第六十五條並前條第二項ノ規定ハ收入役及副收入役ニ之ヲ準用ス  
用ス

5 町村長又ハ助役ト父子兄弟タル縁故アル者ハ收入役又ハ副收入役ノ職ニ在ルコト  
ヲ得ス收入役ト父子兄弟タル縁故アル者ハ副收入役ノ職ニ在ルコトヲ得ス

6 特別ノ事情アル町村ニ於テハ町村長ハ町村會ノ同意ヲ得府縣知事ノ許可ヲ得テ收  
特別ノ事情アル町村ニ於テハ府縣知事ノ許可ヲ得テ町村長又ハ助役ヲシテ收入役ノ事務ヲ兼掌セシムルコト

入役ノ事務ヲ兼掌シ又ハ助役ヲシテ之ヲ兼掌セシムルコトヲ得  
ヲ得

第六十八條 町村ハ町村會ノ議決ヲ經テ處務便宜ノ爲區ヲ劃シ區長及其ノ代理者一人ヲ置クコトヲ得

2 區長及其ノ代理者ハ名譽職トス町村公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ町村長之ヲ選任ス  
町村長ノ推薦ニ依リ

町村會之ヲ定ム此ノ場合ニ於テハ第六十三條第二項乃至第五項ノ規定ヲ準用ス

第六十八條ノ二 町村ニ參與ヲ置ク

2 參與ハ名譽職トス

3 參與ハ町村條例ノ定ムル所ニ依リ町村會議員、町村内ノ團體ノ長其ノ他學識經驗アル者ノ中ヨリ町村長之ヲ選任ス

4 本法ニ規定スルモノノ外參與ニ關シ必要ナル事項ハ前項ノ町村條例ヲ以テ之ヲ定ム

第六十九條 町村ハ委員ヲ置クコトヲ得

町村ハ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得

2 委員ハ名譽職トス

委員ハ名譽職トス町村會議員又ハ町村公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ町村長ノ推薦ニ依リ町村會之ヲ定ム但シ委員長ハ町村長又ハ其ノ委任ヲ受ケタル助役ヲ以テ之ニ充ツ

3 委員ハ町村公民其ノ他適當ナル者ノ中ヨリ町村長之ヲ選任ス  
第六十三條第二項乃至第五項ノ規定ハ委員ニ之ヲ準用ス

4 委員ノ組織ニ關シテハ町村條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第七十條 町村公民ニ限リテ擔任スヘキ職務ニ在ル吏員又ハ職ニ就キタルカ爲町村公民タル者選舉權ヲ有セサルニ至リタルトキハ其ノ職ヲ失フ

2 前項ノ職務ニ在ル者ニシテ禁錮以上ノ刑ニ當ルヘキ罪ノ爲豫審又ハ公判ニ付セラレタルトキハ監督官廳ハ其ノ職務ノ執行ヲ停止スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ停止期間報酬又ハ給料ヲ支給スルコトヲ得ス

第七十一條 前數條ニ定ムル者ノ外町村ニ必要ノ有給吏員ヲ置キ町村長之ヲ任免ス  
2 前項吏員ノ定數ハ町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第二款 職務權限

第七十二條 町村長ハ町村ヲ統轄シ町村ヲ代表ス

2 町村長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

- 一 町村會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發シ及其ノ議決ヲ執行スル事
- 二 財産及營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者ヲ置キタルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事

三 收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スル事

四 證書及公文書類ヲ保管スル事

五 法令又ハ町村會ノ議決ニ依リ使用料、手数料、加入金、町村税、分擔金又ハ夫役現品ヲ賦課徴收スル事

六 其ノ他法令ニ依リ町村長ノ職權ニ屬スル事項

第七十二條ノ二 町村長ハ町村内ニ於ケル各種施策ノ綜合的運營ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ町村内ノ團體等ニ對シ必要ナル指示ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ其ノ指示ニ從ハザルトキハ町村長ハ當該團體等ノ監督官廳ノ措置ヲ申請スルコトヲ得

第七十二條ノ三 町村長ハ町内會部落會及其ノ聯合會ノ財産及經費ノ管理並ニ區域ノ變更ニ關シ必要ナル措置ヲ講ズルコトヲ得

2 町村長ノ許可ヲ得タル場合ニ於テハ町内會部落會及其ノ聯合會ハ自己ノ名ヲ以テ財産ヲ所有スルコトヲ得

第七十三條 町村長ハ町村吏員ヲ指揮監督シ之ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責及十圓以下ノ過怠金トス

五圓以下

第七十四條 町村會ノ議決又ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ町村長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ又ハ再選舉ヲ行ハシムベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ町村長ハ議決ニ付テハ之ヲ再議ニ付セズシテ直ニ府縣知事ノ裁決ヲ請フコトヲ得

府縣知事會

2 前項ノ規定ニ依リ爲シタル町村會ノ議決仍其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ町村長ハ府縣知事ノ裁決ヲ請フベシ

府縣知事會

3 監督官廳ハ前二項ノ議決又ハ選舉ヲ取消スコトヲ得

4 第一項若ハ第二項ノ裁決又ハ前項ノ處分ニ不服アル町村長又ハ町村會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得



5 第一項又ハ第二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

**第七十四條ノ二** 町村會ノ議決明ニ公益ヲ害スト認ムルトキハ町村長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ町村長ハ之ヲ再議ニ付セズシテ直ニ府縣知事ノ指揮ヲ請フコトヲ得

2 前項ノ規定ニ依リ爲シタル町村會ノ議決仍明ニ公益ヲ害スト認ムルトキハ町村長ハ府縣知事ノ指揮ヲ請フベシ

3 町村會ノ議決收支ニ關シ執行スルコト能ハザルモノアリト認ムルトキハ前二項ノ例ニ依ル左ニ掲グル費用ヲ削除シ又ハ減額シタル場合ニ於テ其ノ費用及之ニ伴フ收入ニ付亦同ジ

一 法令ニ依リ負擔スル費用、當該官廳ノ職權ニ依リ命ズル費用其ノ他ノ町村ノ義務ニ屬スル費用

二 非常ノ災害ニ因ル應急又ハ復舊ノ施設ノ爲ニ要スル費用、傳染病豫防ノ爲ニ要スル費用其ノ他ノ緊急避クベカラザル費用

4 前三項ノ規定ニ依ル府縣知事ノ處分ニ不服アル町村長又ハ町村會ハ內務大臣ニ訴

願スルコトヲ得

**第七十五條** 町村會成立セサルトキ又ハ第四十八條但書ノ場合ニ於テ仍會議ヲ開クコト能ハサルトキハ町村長ハ府縣知事ニ具狀シテ指揮ヲ請ヒ町村會ノ議決スヘキ事件ヲ處置スルコトヲ得

2 町村會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セサルトキハ前項ノ例ニ依ル

3 町村會ノ決定スヘキ事件ニ關シテハ前二項ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於ケル町村長ノ處置ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

4 前三項ノ規定ニ依ル處置ニ付テハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ町村會ニ報告スヘシ

**第七十六條** 町村會ニ於テ議決又ハ決定スヘキ事件ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ町村會成立セサルトキ又ハ町村長ニ於テ之ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルトキハ町村長ハ之ヲ專決シ次回ノ會議ニ於テ之ヲ町村會ニ報告スヘシ

2 前項ノ規定ニ依リ町村長ノ爲シタル處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴訟又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

**第七十六條ノ二** 町村會ノ權限ニ屬スル事項ノ一部ハ其ノ議決ニ依リ町村長ニ於テ專決處分スルコトヲ得

第七十七條 町村長其ノ他町村吏員ハ法令……………ノ定ムル所ニ依リ國府縣

從來法令又ハ將來法律勅令

其ノ他公共團體ノ事務ヲ掌ル

2 前項ノ事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ町村ノ負擔トス但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第七十八條 町村長ハ其ノ事務ノ一部ヲ助役又ハ區長ニ分掌セシムルコトヲ得

村ノ事務ニ付テハ豫メ町村會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

但シ町

2 町村長ハ町村吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

3 町村長ハ町内會部落會及其ノ聯合會ノ長ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ援助セシムルコトヲ得

第七十九條 助役ハ町村長ノ事務ヲ補助ス

2 助役ハ町村長故障アルトキ之ヲ代理ス助役數人アルトキハ豫メ町村長ノ定メタル順序ニ依リ之ヲ代理ス

第八十條 收入役ハ町村ノ出納其ノ他ノ會計事務及第七十七條ノ事務ニ關スル國府縣其ノ他公共團體ノ出納其ノ他ノ會計事務ヲ掌ル但シ法令中別段ノ規定アルモノ

ハ此ノ限ニ在ラス

2 町村長ハ町村會ノ同意ヲ得テ收入役故障アルトキ之ヲ代理スヘキ吏員ヲ定ムヘシ

町村會ハ町村長ノ推薦ニ依リ

但シ副收入役ヲ置キタル町村ハ此ノ限ニ在ラス

3 副收入役ハ收入役ノ事務ヲ補助シ收入役故障アルトキ之ヲ代理ス

4 町村長ハ收入役ノ事務ノ一部ヲ副收入役ニ分掌セシムルコトヲ得但シ町村ノ出納其ノ他ノ會計事務ニ付テハ豫メ町村會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第八十一條 區長ハ町村長ノ命ヲ承ケ町村長ノ事務ニシテ區内ニ關スルモノヲ補助ス

2 區長代理者ハ區長ノ事務ヲ補助シ區長故障アルトキ之ヲ代理ス

第八十一條ノ二 參與ハ町村長ノ諮問ニ應ジ町村内ニ於ケル各種施策ニ關スル重要事項ヲ審議ス

第八十二條 委員ハ町村ノ事務及第七十七條ノ規定ニ依ル町村長ノ事務ニ付委託ヲ

委員ハ町村長ノ指揮監督ヲ承ケ財産又ハ營造物ヲ管理シ其ノ他委託ヲ受ケタル町村ノ事務ヲ

受ケテ調査シ又ハ町村長ヲ補助ス

調査シ又ハ之ヲ處辨ス

第八十三條 第七十一條ノ吏員ハ町村長ノ命ヲ承ケ事務ニ従事ス

第四章 給料及給與

第八十四條 名譽職町村長、名譽職助役、町村會議員其ノ他ノ名譽職員ハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

2 名譽職町村長、名譽職助役、區長、區長代理者及委員ニハ費用辨償ノ外勤務ニ相當スル報酬ヲ給スルコトヲ得

3 費用辨償額、報酬額及其ノ支給方法ハ町村條例ヲ以テ之ヲ規定スベシ

第八十五條 有給町村長、有給助役其ノ他ノ有給吏員ノ給料額、旅費額及其ノ支給方法ハ町村規則ヲ以テ之ヲ規定スベシ

町村條例

2 前項ノ町村規則ヲ設ケ又ハ改廢セントスルトキハ府縣知事ノ許可ヲ受ケベシ

第八十六條 有給吏員ニハ町村條例ノ定ムル所ニ依リ退隱料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助料ヲ給スルコトヲ得

第八十七條 費用辨償、報酬、給料、旅費、退隱料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶

助料ノ給與ニ付關係者ニ於テ異議アルトキハ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得

2 前項ノ場合ニ於テ關係者町村長ノ決定ニ不服アルトキハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁

決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ町村長ハ七日以内ニ之ヲ町村會ノ決定ニ付スヘシ關係者其ノ決定ニ不服アルトキハ府縣知事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第三項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

3 前項ノ裁決ニ付テハ町村長ヨリモ... 訴訟ヲ提起スルコトヲ得

決定及

訴願又ハ

4 前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十八條 費用辨償、報酬、給料、旅費、退隱料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料其ノ他ノ給與ハ町村ノ負擔トス

第五章 町村ノ財務

第一款 財産營造物及町村稅

第八十九條 收益ノ爲ニスル町村ノ財産ハ基本財産トシ之ヲ維持スヘシ

2 町村ハ特定ノ目的ノ爲特別ノ基本財産ヲ設ケ又ハ金穀等ヲ積立ツルコトヲ得

第九十條 舊來ノ慣行ニ依リ町村住民中特ニ財産又ハ營造物ヲ使用スル權利ヲ有スル者アルトキハ其ノ舊慣ニ依ル舊慣ヲ變更又ハ廢止セムトスルトキハ町村會ノ議

決ヲ經ヘシ

2 前項ノ財産又ハ營造物ヲ新ニ使用セムトスル者アルトキハ町村ハ町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ許可スルコトヲ得

第九十一條 町村ハ町村會ノ議決ヲ經テ前條ニ規定スル財産ノ使用方法ニ關シ町村規則ヲ設クルコトヲ得

第九十二條 町村ハ第九十條第一項ノ使用者ヨリ使用料ヲ徵收シ同條第二項ノ使用ニ關シテハ使用料若ハ一時ノ加入金ヲ徵收シ又ハ使用料及加入金ヲ共ニ徵收スルコトヲ得

第九十三條 町村ハ營造物ノ使用ニ付使用料ヲ徵收スルコトヲ得

2 町村ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第九十四條 町村ハ其ノ區域外ニ於テモ亦關係市町村トノ協議ニ依リ營造物ヲ設クルコトヲ得

財産ノ賣却貸與、工事ノ請負及物件勢力其ノ他ノ供給ハ競争入札ニ付スヘシ但シ臨時急施ヲ要スルトキ、入札ノ價格其ノ費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ町村會ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

2 前項ノ協議ニ付テハ市町村會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第九十四條ノ二 町村ハ他ノ市町村トノ協議ニ依リ他ノ市町村ノ財産又ハ營造物ヲ自己ノ住民ノ使用ニ供セシムルコトヲ得

2 前項ノ協議ニ付テハ市町村會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第九十四條ノ三 町村ハ神社ノ經費ヲ供進スルコトヲ得

第九十五條 町村ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附又ハ補助ヲ爲スコトヲ得  
第九十六條 町村ハ其ノ必要ナル費用及從來法令ニ依リ又ハ將來法律勅令ニ依リ町村ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

2 町村長其ノ他町村吏員ガ第七十七條ノ事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ町村ノ負擔トス但シ法令ニ別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラズ

3 町村又ハ町村長其ノ他町村吏員ヲシテ國ノ事務ヲ處理執行セシムル場合ニ於テハ之ガ爲要スル費用ノ財源ニ付必要ナル措置ヲ講ズベキモノトス

第九十七條 町村ハ其ノ支出ニ充ツル爲町村稅、分擔金及夫役現品ヲ賦課徵收スルコトヲ得

2 町村税及其ノ賦課徴收ニ關シテハ地方税法ノ定ムル所ニ依ル  
第九十八條乃至第一百一條 削除

第二百二條 分擔金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ數人若ハ町村ノ一部ヲ利スル財産者ハ營造物又ハ數人若ハ町村ノ一部ニ對シ利益アル事件ニ關シ特ニ利益ヲ受クル者ヨリ之ヲ徴收ス

第二百三條 削除

第二百四條

夫役又ハ現品ハ直接町村税ヲ準率ト爲シ直接町村税ヲ賦課セサル町村ニ

於テハ直接國税ヲ準率ト爲シ且之ヲ金額ニ算出シテ賦課スヘシ但シ第四百十七條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

2 學藝美術及手工ニ關スル勞務ニ付テハ夫役ヲ賦課スルコトヲ得ス

3 夫役ヲ賦課セラレタル者ハ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得

4 夫役又ハ現品ハ金錢ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

5 第一項及前項ノ規定ハ急迫ノ場合ニ賦課スル夫役ニ付テハ之ヲ適用セス

第二百五條 數人若ハ町村ノ一部ヲ利スル財産若ハ營造物又ハ數人若ハ町村ノ一部ニ對シ利益アル事件ニ關シテハ町村ハ夫役現品ニ付不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若

ハ町村ノ一部ニ對シテ其ノ賦課ヲ爲スコトヲ得

第二百六條 非常災害ノ爲必要アルトキハ町村ハ他人ノ土地ヲ一時使用シ又ハ其ノ土

石竹木其ノ他ノ物品ヲ使用シ若ハ收用スルコトヲ得但シ其ノ損失ヲ補償スヘシ

2 前項ノ場合ニ於テ危險防止ノ爲必要アルトキハ町村長、警察官吏又ハ監督官廳ハ町村内ノ居住者ヲシテ防禦ニ從事セシムルコトヲ得

3 第一項但書ノ規定ニ依リ補償スヘキ金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ府縣知事之ヲ決定ス決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

4 前項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スヘシ

5 第一項ノ規定ニ依リ土地ノ一時使用ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第二百七條及第二百八條 削除

第二百九條 使用料、手數料及分擔金ニ關スル事項ニ付テハ町村條例ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

2 詐僞其ノ他ノ不正ノ行爲ニ依リ使用料、手數料又ハ分擔金ノ徴收ヲ免レタル者ニ

付テハ町村條例ヲ以テ其ノ徵收ヲ免レタル金額ノ五倍ニ相當スル金額（其ノ金額十圓未満ナルトキハ十圓）以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

3 前項ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手數料及分擔金ノ徵收ニ關シテハ町村條例ヲ以テ二十圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得財産又ハ營造物ノ使用ニ關シ亦同シ

4 過料ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得  
府縣知事又ハ府縣參事會

5 前項ノ裁決ニ付テハ………町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第一百條 使用料、手數料、加入金若ハ分擔金ノ徵收又ハ夫役現品ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ徵收又ハ賦課ニ付違法又ハ錯誤アリト認ムルトキハ其ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ町村長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

2 財産又ハ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得

3 前二項ノ場合ニ於テ町村長ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

決定ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第四項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

4 前項ノ規定ニ依ル………裁決ニ付テハ町村長ヨリモ………訴訟ヲ提起スルコトヲ得

5 前二項ノ規定ニ依ル裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第一百一條 使用料、手數料、加入金、分擔金、過料、過怠金其ノ他ノ町村ノ收入

ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ町村長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ

2 夫役現品ノ賦課ヲ受ケタル者定期内ニ其ノ履行ヲ爲サス又ハ夫役現品ニ代フル金錢ヲ納メサルトキハ町村長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ急迫ノ場合ニ賦課シタル夫役ニ付テハ更ニ之ヲ金額ニ算出シ期限ヲ指定シテ其ノ納付ヲ命スヘシ

3 前二項ノ場合ニ於テハ町村條例ノ定ムル所ニ依リ手數料ヲ徵收スルコトヲ得

4 滯納者第一項又ハ第二項ノ督促又ハ命令ヲ受ケ其ノ指定ノ期限内ニ之ヲ完納セザルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘシ

5 第一項乃至第三項ノ徵收金ハ府縣ノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徵還付及

時効ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

6 前三項ノ處分ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁

府縣參事會

判所ニ出訴スルコトヲ得

7 前項ノ裁決ニ付テハ……町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

府縣知事又ハ

8 第四項ノ處分中差押物件ノ公賣ハ處分ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

9 第四項ノ處分ハ其ノ町村ノ區域外ニ於テモ亦之ヲ爲スコトヲ得

第一百十二條 町村ハ其ノ負債ヲ償還スル爲、町村ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ爲ス爲又ハ天災事變等ノ爲必要アル場合ニ限り町村會ノ議決ヲ經テ町村債ヲ起スコトヲ得

2 町村債ヲ起スニ付町村會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘシ

3 町村ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲町村會ノ議決ヲ經テ一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得  
4 前項ノ借入金ハ其ノ會計年度内ノ收入ヲ以テ償還スヘシ

第二款 歳入出豫算及決算

第一百十三條 町村長ハ毎會計年度歳入出豫算ヲ調製シ遅クトモ年度開始ノ一月前ニ

町村會ノ議決ヲ經ヘシ

2 町村ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

3 豫算ヲ町村會ニ提出スルトキハ町村長ハ併セテ事務報告書及財産表ヲ提出スヘシ  
第一百十四條 町村長ハ町村會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得

第一百十五條 町村費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ町村會ノ議決ヲ經テ其ノ年期間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第一百十六條 町村ハ豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クヘシ  
2 特別會計ニハ豫備費ヲ設ケサルコトヲ得

3 豫備費ハ町村會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第一百十七條 豫算ハ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ府縣知事ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スヘシ

第一百十八條 町村ハ町村會ノ議決ヲ經テ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第一百十九條 町村會ニ於テ豫算ヲ議決シタルトキハ町村長ヨリ其ノ謄本ヲ收入役ニ

交付スヘシ

2 収入役ハ町村長又ハ監督官廳ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス命令ヲ受クルモ支出ノ豫算ナク且豫備費支出、費目流用其ノ他財務ニ關スル規定ニ依リ支出ヲ爲スコトヲ得サルトキ亦同シ

3 前二項ノ規定ハ收入役ノ事務ヲ兼掌シタル町村長又ハ助役ニ之ヲ準用ス

第二百十條 町村ノ支拂金ニ關スル时效ニ付テハ政府ノ支拂金ノ例ニ依ル

第二百十一條 町村ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ之ヲ検査シ且毎會計年度少クモ二回臨時検査ヲ爲スヘシ

2 検査ハ町村長之ヲ爲シ臨時検査ニハ町村會ニ於テ選舉シタル議員二人以上ノ立會ヲ要ス

第二百十二條 町村ノ出納ハ翌年度五月三十一日ヲ以テ閉鎖ス

2 決算ハ出納閉鎖後一月以内ニ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之ヲ町村長ニ提出スヘシ町村長ハ之ヲ審査シ意見ヲ付シテ次ノ通常豫算ヲ議スル會議迄ニ之ヲ町村會ノ認定ニ付スヘシ

3 第六十七條第六項ノ場合ニ於テハ前項ノ例ニ依ル但シ町村長ニ於テ兼掌シタルト

第五項

キハ直ニ町村會ノ認定ニ付スヘシ

4 決算ハ其ノ認定ニ關スル町村會ノ議決ト共ニ之ヲ府縣知事ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スヘシ

5 決算ノ認定ニ關スル會議ニ於テハ町村長及助役共ニ議長ノ職務ヲ行フコトヲ得ス  
第二百十三條 豫算調製ノ式、費目流用其ノ他財務ニ關シ必要ナル規定ハ内務大臣之ヲ定ム

### 第六章 町村ノ一部ノ事務

第二百十四條 町村ノ一部ニシテ財産ヲ有シ又ハ營造物ヲ設ケタルモノアルトキハ其ノ財産又ハ營造物ノ管理及處分ニ付テハ本法中町村ノ財産又ハ營造物ニ關スル規定ニ依ル但シ法律勅令中別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

2 前項ノ財産又ハ營造物ニ關シ特ニ要スル費用ハ其ノ財産又ハ營造物ノ屬スル町村ノ一部ノ負擔トス

3 前二項ノ場合ニ於テハ町村ノ一部ハ其ノ會計ヲ分別スヘシ

第二百五條 前條ノ財産又ハ營造物ニ關シ必要アリト認ムルトキハ府縣知事ハ町村會ノ意見ヲ徴シテ町村條例ヲ設定シ區會又ハ區總會ヲ設ケテ町村會ノ議決スヘ



キ事項ヲ議決セシムルコトヲ得

**第二百二十六條** 區會議員ハ町村ノ名譽職トス其ノ定數、任期、選舉權及被選舉權ニ關スル事項ハ前條ノ町村條例中ニ之ヲ規定スヘシ區總會ノ組織ニ關スル事項ニ付亦同シ

**2 區會議員ノ選舉ニ付テハ町村會議員ニ關スル規定ヲ準用ス但シ**.....  
.....被選舉權ノ有無ノ決定ハ町村會ニ於テ之ヲ爲スヘシ  
.....選舉若ハ當選ノ效力ニ關スル異議ノ決定及

**3 區會又ハ區總會ニ關シテハ町村會ニ關スル規定ヲ準用ス**

**第二百二十一條** 第二百二十四條ノ場合ニ於テ町村ノ一部府縣知事ノ處分ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

**第二百二十八條** 第二百二十四條ノ町村ノ一部ノ事務ニ關シテハ本法ニ規定スルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ム

**第七章 町村組合**

**第二百二十九條** 町村ハ其ノ事務ノ一部ヲ共同處理スル爲其ノ協議ニ依リ府縣知事ノ

許可ヲ得テ町村組合ヲ設クルコトヲ得此ノ場合ニ於テ組合内各町村ノ町村會又ハ町村吏員ノ職務ニ屬スル事項ナキニ至リタルトキハ其ノ町村會又ハ町村吏員ハ組合成立ト同時ニ消滅ス

**2 町村ハ特別ノ必要アル場合ニ於テハ其ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ得テ其ノ事務ノ全部ヲ共同處理スル爲町村組合ヲ設クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ組合内各町村ノ町村會及町村吏員ハ組合成立ト同時ニ消滅ス**

**3 公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第一項ノ町村組合ヲ設クルコトヲ得**  
公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル町村會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經テ前二項ノ町村組合ヲ設クルコトヲ得

**4 前項ノ町村組合ニ關シテハ本法ニ拘ラズ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得**

**5 町村組合ハ法人トス**  
**第三百三十條** 前條第一項ノ町村組合ニシテ其ノ組合町村ノ數ヲ増減シ又ハ共同事務ノ變更ヲ爲サムトスルトキハ關係町村ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

**2 前條第二項ノ町村組合ニシテ其ノ組合町村ノ數ヲ減少セムトスルトキハ組合會ノ議決ニ依リ其ノ組合町村ノ數ヲ増加セムトスルトキハ其ノ町村組合ト新ニ加ハラ**

ムトスル町村トノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

3 公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル町村會又ハ組合會ノ意見ヲ徵シ

.....テ組合町村ノ數ヲ増減シ又ハ一部事務ノ爲設クル組合ノ共同事務  
府縣參事會ノ議決ヲ經

ノ變更ヲ爲スコトヲ得

第百三十一條 町村組合ヲ設クルトキハ關係町村ノ協議ニ依リ組合規約ヲ定メ府縣  
知事ノ許可ヲ受クヘシ

2 組合規約ヲ變更セムトスルトキハ一部事務ノ爲ニ設クル組合ニ在リテハ關係町村  
ノ協議ニ依リ全部事務ノ爲ニ設クル組合ニ在リテハ組合會ノ議決ヲ經府縣知事ノ  
許可ヲ受クヘシ

3 公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル町村會又ハ組合會ノ意見ヲ徵シ  
.....テ組合規約ヲ.....變更スルコトヲ得  
府縣參事會ノ議決ヲ經 定メ又ハ

第百三十二條 組合規約ニハ組合ノ名稱、組合ヲ組織スル町村、組合ノ共同事務及  
組合役場ノ位置ヲ定ムヘシ

2 一部事務ノ爲ニ設クル組合ノ組合規約ニハ前項ノ外組合會ノ組織及組合會議員ノ

選舉、組合吏員ノ組織及選任並組合費用ノ支辨方法ニ付規定ヲ設クヘシ但シ役場  
事務ヲ共同處理スル組合ノ吏員ノ組織及選任ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第百三十三條 町村組合ヲ解カムトスルトキハ一部事務ノ爲ニ設クル組合ニ於テハ  
關係町村ノ協議ニ依リ全部事務ノ爲ニ設クル組合ニ於テハ組合會ノ議決ニ依リ府  
縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

2 公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル町村會又ハ組合會ノ意見ヲ徵シ  
.....テ町村組合ヲ解クコトヲ得

府縣參事會ノ議決ヲ經  
第百三十四條 第百三十條第一項第二項及前條第一項ノ場合ニ於テ財產ノ處分ニ關  
スル事項ハ關係町村ノ協議、關係町村ト組合トノ協議又ハ組合會ノ議決ニ依リ之  
ヲ定ム

2 第百三十條第三項及前條第二項ノ場合ニ於テ財產ノ處分ニ關スル事項ハ關係アル  
町村會又ハ組合會ノ意見ヲ徵シ.....テ府縣知事之ヲ定ム  
府縣參事會ノ議決ヲ經

第百三十四條ノ二 第百二十九條第一項及第二項、第百三十條第一項及第二項、第  
百三十一條第一項及第二項、第百三十三條第一項並ニ前條第一項ノ協議ニ付テハ

町村ニ在リテハ町村會、組合ニ在リテハ組合會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第三百三十五條 第二百二十九條第一項及第二項第三百三十條第一項及第二項第三百三十一條第一項及第二項第三百三十三條第一項並第三百三十四條第二項ノ規定ニ依ル府縣知

前條第二項

事ノ處分ニ不服アル町村又ハ町村組合ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

2 組合費ノ分賦ニ關シ違法又ハ錯誤アリト認ムル町村ハ其ノ告知アリタル日ヨリ三十日以内ニ組合ノ管理者ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

3 前項ノ場合ニ於テ組合ノ管理者ノ決定ヲ受ケタル町村其ノ決定ニ不服アルトキハ

前項

異議ノ申立アリタルトキハ組合ノ管理者ハ七日以内ニ之ヲ組合會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル町村ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第四項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

4 前項ノ... 裁決ニ付テハ組合ノ管理者ヨリモ... 訴訟ヲ提起スルコトヲ得

決定及

訴願又ハ

5 前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三百三十六條 町村組合ニ關シテハ法律勅令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外町村ニ關スル規定ヲ準用ス

### 第八章 町村ノ監督

第三百三十七條 町村ハ第一次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第二次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス

第三百三十八條 本法中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外町村ノ監督ニ關スル府縣知事ノ處分ニ不服アル町村ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第三百三十九條 本法中行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

第四百十條 異議ノ申立又ハ訴願ノ提起ハ處分決定又ハ裁決アリタル日ヨリ二十一日以内ニ之ヲ爲スヘシ但シ本法中別ニ期間ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス  
2 行政訴訟ノ提起ハ處分決定又ハ裁決アリタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スヘシ

3 決定書又ハ裁決書ノ交付ヲ受ケサル者ニ關シテハ前二項ノ期間ハ告示ノ日ヨリ之ヲ起算ス

4 異議ノ申立ニ關スル期間ノ計算ニ付テハ訴願法ノ規定ニ依ル

5 異議ノ申立ハ期限經過後ニ於テモ宥恕スヘキ事由アリト認ムルトキハ仍之ヲ受理

スルコトヲ得

- 6 異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ申立人ニ交付スヘシ
- 7 異議ノ申立アルモ處分ノ執行ハ之ヲ停止セス但シ行政廳ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係者ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ之ヲ停止スルコトヲ得

第四百四十一條ノ二 異議ノ決定ハ本法中別ニ期間ヲ定メタルモノヲ除クノ外其ノ申立

ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スヘシ

付セラレタル日ヨリ三月以内

- 2 府縣知事訴願ヲ受理シタルトキハ其ノ日ヨリ三十日以内ニ之ヲ裁決スヘシ

府縣參事會

三月以内

第四百四十一條 監督官廳ハ町村ノ監督上必要アル場合ニ於テハ事務ノ報告ヲ爲サシ

メ、書類帳簿ヲ徴シ及實地ニ就キ事務ヲ視察シ又ハ出納ヲ檢閲スルコトヲ得

- 2 監督官廳ハ町村ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

- 3 上級監督官廳ハ下級監督官廳ノ町村ノ監督ニ關シテ爲シタル命令又ハ處分ヲ停止シ又ハ取消スコトヲ得

第四百四十二條 內務大臣ハ町村會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

- 2 町村會解散ノ場合ニ於テハ三月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

第四百四十三條 町村ニ於テ法令ニ依リ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依リ命スル費用

ヲ豫算ニ載セサルトキハ府縣知事ハ理由ヲ示シテ其ノ費用ヲ豫算ニ加フルコトヲ得

- 2 町村長其ノ他ノ吏員其ノ執行スヘキ事件ヲ執行セサルトキハ府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員之ヲ執行スルコトヲ得但シ其ノ費用ハ町村ノ負擔トス

- 3 前二項ノ處分ニ不服アル町村又ハ町村長其ノ他ノ吏員ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第四百四十四條 町村長、助役、收入役又ハ副收入役ニ故障アルトキハ監督官廳ハ臨

時代理者ヲ選任シ又ハ官吏ヲ派遣シ其ノ職務ヲ管掌セシムルコトヲ得但シ官吏ヲ派遣シタル場合ニ於テハ其ノ旅費ハ町村費ヲ以テ辨償セシムヘシ

- 2 臨時代理者ハ有給ノ町村吏員トシ其ノ給料額旅費額等ハ監督官廳之ヲ定ム

第四百四十五條 府縣知事ハ町村長、收入役又ハ副收入役ニ付著シク其ノ在職ヲ不適

削除

當トスル事由アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ之ヲ解職スルコトヲ得

第四百四十六條 削除

第四百四十七條

左ニ掲グル事件ハ府縣知事ノ許可ヲ受クベシ但シ第一號及第七號:

ニ掲グル事件ニシテ勅令ヲ以テ指定スルモノハ其ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ

許可ヲ受クベシ

一 町村條例ヲ設ケ又ハ改廢スルコト

二 基本財産及特別基本財産並ニ林野ノ處分ニ關スルコト

三 第九十條ノ規定ニ依リ舊慣ヲ變更シ又ハ廢止スルコト

四 使用料ヲ新設シ又ハ變更スルコト

五 分擔金ヲ新設シ又ハ變更スルコト

六 第四百四條ノ準率ニ依ラズシテ夫役現品ヲ賦課スルコト但シ急迫ノ場合ニ賦課

スル夫役ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

七 第六百五條ノ規定ニ依リ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ町村ノ一部ニ對シ賦

課ヲ爲スコト

八 繼續費ヲ定メ又ハ變更スルコト

九 七 町村債ヲ起シ並ニ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更

スルコト但シ第十二條第三項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラズ

第四百四十八條 監督官廳ノ許可ヲ要スル事件ニ付テハ監督官廳ハ許可申請ノ趣旨ニ

反セスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ與フルコトヲ得

第四百四十九條 監督官廳ノ許可ヲ要スル事件ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ許

可ノ職權ヲ下級監督官廳ニ委任シ又ハ輕易ナル事件ニ限り許可ヲ受ケシメサルコ

トヲ得

第五百五十條 府縣知事ハ町村長、助役、收入役、副收入役、區長、區長代理者及第

委員

七十一條ノ吏員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責、五十圓以下ノ過

其ノ他ノ町村吏員

二十五圓以下

怠金及解職トス但シ町村長、助役、收入役及副收入役ニ對スル解職ハ懲戒審査會

ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ行フ

2 懲戒審査會ハ内務大臣ノ指定スル職ニ在ル府縣高等官三人及府縣名譽職參事會員

内務大臣ノ命シタル

ニ於テ互選シタル者三人ヲ以テ其ノ會員トシ府縣知事ヲ以テ會長トス知事故障ア

ルトキハ其ノ代理者會長ノ職務ヲ行フ

3 府縣名譽職參事會員ノ互選スヘキ會員ノ選舉補闕及任期並懲戒審査會ノ招集及會議ニ付テハ府縣制中名譽職參事會員及府縣參事會ニ關スル規定ヲ準用ス但シ補充員ハ之ヲ設クルノ限ニ在ラス

4 解職ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得  
5 府縣知事ハ町村長、助役、收入役及副收入役ノ解職ヲ行ハムトスル前其ノ停職ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ停職期間報酬又ハ給料ヲ支給スルコトヲ得ス

6 懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間北海道府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ公職ニ就クコトヲ得ズ

第百五十一條 町村吏員ノ服務紀律、賠償責任、身元保證及事務引繼ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

2 前項ノ命令ニハ事務引繼ヲ拒ミタル者ニ對シ二十五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

第九章 雜 則

第百五十二條 削除

第百五十三條 府縣知事

又ハ府縣參事會

ノ職權ニ屬スル事件ニシテ數府縣ニ涉ルモノアルトキハ内務大臣ハ關係府縣知事ノ具狀ニ依リ其ノ事件ヲ管理スヘキ府縣知事

又ハ

府縣參事會  
………ヲ指定スヘシ

第百五十三條ノ二 本法ニ規定スルモノノ外有給吏員ノ組織、任用、分限、給料等

ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第百五十四條 第十一條ノ人口ハ内務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第百五十五條 本法ニ於ケル直接税及間接税ノ種類ハ内務大臣及大藏大臣之ヲ定ム

第百五十六條 町村又ハ町村組合ノ廢置分合又ハ境界變更アリタル場合ニ於テ町村ノ事務ニ付必要ナル事項ハ本法ニ規定スルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第百五十六條ノ二 本法中官吏ニ關スル規定ハ待遇官吏ニ之ヲ適用ス

第百五十六條ノ三 北海道及樺太ニ於ケル町村ニ付テハ本法ニ拘ラズ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第二百五十七條 本法ハ………勅令ヲ以テ指定スル島嶼ニ之ヲ施行セス

北海道其ノ他

2 前項ノ地域ニ付テハ勅令ヲ以テ別ニ本法ニ代ハルヘキ制ヲ定ムルコトヲ得

附 則

第二百五十八條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(明治四十四年勅令第二百三十八號ヲ

以テ明治四十四年十月一日ヨリ施行)

第二百五十九條 本法施行ノ際現ニ町村會議員、區會議員又ハ全部事務ノ爲ニ設クル

町村組合會議員ノ職ニ在ル者ハ從前ノ規定ニ依ル最近ノ定期改選期ニ於テ總テ其ノ職ヲ失フ

第六十條 舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ本法ノ適用ニ付テハ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス但シ復權ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス

2 舊刑法ノ禁錮以上ノ刑ハ本法ノ適用ニ付テハ禁錮以上ノ刑ト看做ス  
第六十一條 本法施行ノ際必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則 (昭和十八年法律第八十一號)

1 本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

2 第六十三條又ハ第六十七條ノ改正規定施行ノ際現ニ在職スル町村長、助役、收入役又ハ副收入役ハ此等ノ規定ニ依リ其ノ職ヲ失フコトナシ

3 樺太町村制ハ之ヲ廢止ス但シ同法廢止前同法第三條第四項ノ規定ヲ適用スベカリシ行爲ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

4 本法施行ニ關シ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

昭和十八年四月十日  
昭和十八年四月十三日

印刷發行

地方制度法令集 第一輯

定價 壹圓四拾錢

著者

自治館編輯局

發行者

東京市神田區神保町三丁目八番地  
金田東江

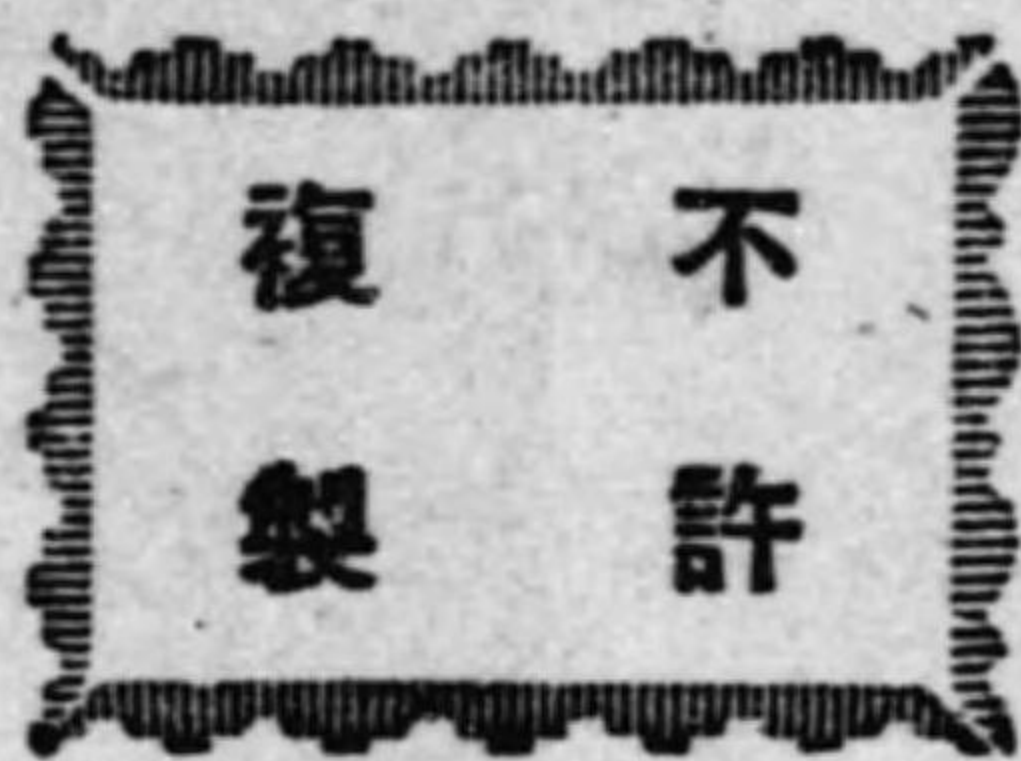
印刷者

東京市麴町區飯田町一丁目五番地  
須藤西壽

配給元

東京市神田區淡路町二丁目九番地  
日本出版配給株式會社

出文承認あ470019號  
發行部數 30000部



發行所

東京市神田區  
神保町三丁目

電話東京二八七  
九段三〇五

法律書出版

自治館

會員番號 一一二一一〇番



9M-37

内務省稅務課監修  
内務省稅務課長校閱

自治館編輯局編著

昭和十七年十一月發行

# 實例 地方稅法總覽 判例

A 5 判約五百頁

定價 四圓二拾錢

送料 { 内地金四拾五錢  
外地金八拾錢

## 新刊

去る昭和十五年地方稅制度の根本的大改正が斷行せられ新に地方稅法の制定を見爾來既に二年有半新稅制運營上の規範たる新實例も數多く且又元來稅に關する實例判例を專問的に一括集録したる書無く之が良參考書の出現が頻りに要望せられてゐた。仍つて茲に當館は内務省地方局稅務課協力の下に新實例判例は勿論從前の實例判例中地方稅制度改正に伴ひ消滅せるものを整理し現時參考に供し得るもの一切を網羅し之を逐條別に統一配列すると共に各法條毎に關係法令、訓令、通牒を併せ輯録し以て内容の豊富と使用の便を期した。地方稅に關する諸問題は本書一本に依り立ちどころに解決するものと信じて疑はない。

東京市神田區神保町三丁目 振替東京一八九八七 電話九段一五〇五 自治館



